

高校アーチェリー会報

第20号



(財) 全国高体連アーチェリー専門部

2006年4月

ULTIMA

BEYOND THE EXTREME



 **SHIBUYA**

The Choice of Medalists

www.shibuya-archery.com

渋谷アーチェリー

〒151-0053 渋谷区代々木1-58-1 石山ビル5F TEL. 03-3372-2360 FAX. 03-3372-2378 E-mail : archer@yasui.co.jp

目 次

1	卷頭言	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	部長	松崎 洋右	1
2	委員長挨拶	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	委員長	雨宮建次郎	2
3	沿革				3
4	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	役員名簿			5
5	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	ロック役員名簿			6
6	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	部長名簿			7
7	全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	委員名簿			8
8	学校登録一覧				9
9	全国高体連アーチェリー専門部登録状況一覧				19
10	2005 ヨーロッパグランプリ ブルガリア大会報告				20
11	インターハイ優勝校紹介				
	男子 神奈川県 東海大学付属相模高等学校				27
	女子 和歌山県 和歌山高等学校				31
12	学校紹介 秋田南高等学校（秋田県）				35
	米谷工業高等学校（宮城県）				37
	流山中央高等学校（千葉県）				39
	国際基督教大学高等学校（東京都）				41
13	全国指導者研修会報告 「クリッカーを落とすときに何が起きているか？」				44
	国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部研究員 岩本 陽子				
14	インターネット・ホームページについて				50
15	登録用紙について				51
16	登録費送金方法				52
17	全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届けの流れについて				53
18	会員届記入法				54
19	指定都道府県番号表				55
20	全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届用紙				56
21	インターハイ・全国選手権大会栄光のあゆみ 同大会記録				58
22	全国選抜大会栄光のあゆみ 同大会記録				61
23	日本高校記録				63
24	FITA世界記録・日本記録				65
25	記録収集について				68
26	高校公認記録規程				70
27	記録承認申請書様式				73
28	専門部競技会計画・大会開催地				74
29	インターハイの競技方法について				75
30	アーチェリー活動安全要領について				77
31	服装規程				79
32	得点記録の方法についての一部変更				80
33	全国高体連アーチェリー専門部規約				81
34	総務委員会規程				84
35	競技委員会規程				85
36	審判委員会規程				86
37	強化委員会規程				87
38	事務局規程				88
39	アーチェリー専門部表彰規程				89
40	アーチェリー専門部慶弔規程				90
41	連絡先および口座番号				91
42	高体連主催競技会の公認について				92
43	申請・報告用紙				97
44	あとがき				112

あ い さ つ

(財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

部 長 松 崎 洋 右



平成17年度の諸行事も、当初の計画通り立派な成果を収めて無事終了することができましたことを、皆様と共に喜ぶと共に、関係各位に感謝申し上げたいと思います。

東京都の里見達人先生の御退任にともない、専門部長をお引き受け致しましたのが平成元年。当時の専門委員長は初代委員長の広島県の清本修先生でした。その後平成2年より第二代をお引き受け頂いた滋賀県の藪内徹先生。これら両先生のご尽力と、当時日本各地で本専門部を支えていてくださった先生方のご苦労により、現在のアーチェリー専門部の組織並びに運営の基礎が固められました。その後、愛知県の田中靖彦先生、そして、現委員長の雨宮建次郎先生へと引き継がれ、弛まず発展の道を歩んで参ることが出来ました。その間には、組織の改革や強化に伴う、幾多の困難や解決しなくてはならない問題が山積しておりました。しかし、それらのものにおくすることなく立ち向かい、前進を重ねて参ることができました。そして、選手強化に関しても、2004年アテネオリンピックでは山本博選手が銀メダルを獲得。また、守屋龍一選手が昨年スペインで行われた第43回世界ターゲットアーチェリー選手権で第2位に輝きました。このように本専門部を巣立っていった選手たちが日本代表として国内にとどまらず、国際的舞台でめざましい活躍をしてくれております。このことは組織を預かる者としては、役者冥利に尽きる思いであります。

学校教育の困難化が囁かれる昨今。スポーツを通じて健全な青少年を育成することの重要性は、その言を待ちません。本専門部の活動が、よりよい社会の育成の一助に成ることを信じ、自らを叱咤激励すると共に、本専門部の先生方や関係諸兄のますますのご協力をお願いする次第であります。

委員長あいさつ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

委員長 雨宮 建次郎



本専門部も他の専門部同様、少子化に伴い競技人口並びに活動学校数が減少しています。今後の課題になるような気がいたします。

本専門部の平成17年度は全国大会並びに選抜大会と無事に終了できました。

05総体では、千葉県船橋市で実施され、船橋市実行委員会、千葉県アーチェリー協会の皆様方のご協力により、又、地元高校生並びに先生方の懇親的なご努力により大成功にて終了できましたことに対して、感謝申し上げます。

総体の開会式には高円宮妃殿下ご臨席の基、小学生による参加学校への記念品贈呈、並びに楽しかった踊りがまだ目に焼き付いております。ありがとうございました。

大会3日目の個人決勝ラウンドの後半雷雨に見舞われ、多少時間が過ぎてしましました。実行委員会の皆様のご協力により、無事終了できましたことに対して心より厚く御礼を申し上げます。

選抜大会も東プロックの先生方のご協力により、無事終了できました。後2年間ありますますが宜しくご協力の程お願い申し上げます。

さて、今年の全国大会は、奈良県橿原市の県営陸上競技場を本会場として、野球場を練習会場として実施されます。諸々の事情で多少方向が異なりますが、ご理解をしていただきまして、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

又、今年の4月1日から、本専門部の「服装規定」が変わります。事務局から通達が届いていることと思います。他に、競技会の「得点記録」の方法も変わります。先生方、生徒のご指導宜しくお願い申し上げます。

今年も先生方には色々ご協力を賜らなければならないことが多々あると思いますが、その節はご協力・ご支援宜しくお願いします。

沿革

昭和13年	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカから帰国した、菅 重義氏により日本にアーチェリーが紹介される。
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本洋弓会が設立される。(愛好者が増加傾向)
昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本アーチェリー協会設立 <p>(学校への活動用具貸与による援助始まる)</p>
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした近畿総合体育大会が、全国で初めて開催される。
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国高校アーチェリー競技会開催(東大阪市・旧布施市)
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回全国高校アーチェリー競技会開催(静岡県)
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会の名称変更「全国高等学校アーチェリー選手権大会」以後より今日に至る。
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・任意参加を各都道府県で2校以内と前年度優勝校に参加を制限。
昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> ・組織を「全国アーチェリー連盟高校部」に改称 ・選手権参加規定変更・各都道府県の代表校制に変更、男女1校と前年度優勝校に改正。 ・優勝碑「ダイアナ」(狩猟の女神: ギリシャ神話)が新たに新調される。 (川上源一氏と滋賀県協会の格別の好意により、ブロンズ像制定。) <p>【製作者: 小谷 謙氏・日展会員・京都府在住】</p>
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ・運営組織のより一層の明確化が図られる。 ・木村好治氏(青森県アーチェリー協会・元名久井農業高校校長)を初代高校部長に選出。 ・改定組織関係役員決定。
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・団体出場校以外の学校より、個人選手の参加を認める。
昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催基準・運営細則に関する全面的な見直し、改正に着手。 <p>(協会主導の運営から、高校サイドへの移行に伴い)</p>
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> ・部長、理事長制及び各都道府県ブロックの実情に即した常任理事や代表理事制を取り入れる。初代理事長に中田 昇氏を選出。 ・全国大会記録集創刊
昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連加盟に向け、高体連旗・表彰等の使用申請の働き掛けが始まる。 ・全国高体連へ加盟申請する。 ・中田 昇氏 二代目高校部長に選出。 ・総務・競技・強化・事務局の4部門を設定し、積極的な組織運営策の取組が始まる。
昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国選手権大会開催方針変更・大会経費内部負担の軽減・大会運営への地元高校への協力要請 ・専門部設置県の増加を目指し、各地で運動広がる。
昭和57年	<ul style="list-style-type: none"> ・小笠原朋憲氏三代目高校部長に選出。高体連加盟申請継続
昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連正式加盟への手順決定される。 ・第1回全国高校選抜大会開催(愛知・森林公園)
昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> ◎準加盟として競技種目を扱う。 ◎名義共催と全国総体開催期間中の同時開催禁止。 ◎加盟については、おおむね30都道府県で高体連加盟が審議条件または、40都道府県に於いて、実質的な活動の場合。 ・組織拡充と事業実施内容等の統一化に向けて運動強化。
昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア選手の強化並びに全米選手権大会への派遣事業始まる。 ・清本 修氏理事長に選出。 ・学校登録指定番号・ランキング制度開始。 ・会報の発刊始まる。
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー専門部設置に向けて、各都道府県高体連事務局への意向調査、協力要請を行う。
昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連への加盟承認される。(5月)

昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> 新組織による常任委員会開催。(伊豆下田市) 審判委員会を設置する。 全国高体連専門部規約審議、原案決定。 里見勝人氏（淑徳高校校長）四代目高校部長に選出。副部長に松崎洋右氏（大宮開成高）猪飼 彰氏（愛工大名電高）の2名を選出。 清本 修氏（可部高校）初代専門委員長に選出。 中辻恵子（山梨・甲府第一高）オリンピック代表へ。 五代目高校部長 松崎洋右氏（大宮開成高）を選出 副部長に越田 稔氏（学習院高）を選出。清本 修氏退職にともない、4月より藪内徹氏（伊吹高校）が専門委員長を代行する。
平成元年	
平成2年	
平成3年	<p>4月・藪内徹氏（伊吹高校）2代目専門委員長に選出。</p>
平成5年	<p>7月・第1回ジュニア世界選手権大会（ノルウェー）へ選手派遣。</p>
平成6年	<p>4月・猪飼彰氏顧問に、鶴飼泰勇氏（愛知高校）を副部長に選出。</p> <p>8月・全国高校総合体育大会（栃木県）</p> <p>3月・全国高校選抜大会長浜ドーム開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 越田稟氏（学習院高）顧問に、桑ヶ谷森男氏（国際基督教大学付属高）を副部長に選出。
平成7年	<p>3月・鶴飼泰勇氏（愛知高校）顧問に、吉田悠記氏（愛知高）を副部長に選出。</p>
平成8年	<p>8月・全国高校総合体育大会（山梨県）</p>
平成9年	<p>3月・全国高校選抜大会（茨城県波崎）</p> <p>4月・田中康彦氏（愛知高）3代目専門委員長に選出</p> <p>ホームページ開設</p>
平成10年	<p>8月・全国高校総合体育大会（京都府）</p> <p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p>
平成11年	<p>8月・全国高校総合体育大会（香川県）</p> <p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 桑ヶ谷森男氏(国際基督教大学付属高)顧問に、服部豊氏(文京女子大学高)を副部長に選出。
平成12年	<p>8月・全国高校総合体育大会（岩手県）</p>
平成13年	<p>8月・全国高校総合体育大会（岐阜県）</p> <p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 服部豊氏（文京女子大学高）顧問に、中本令士氏（国士館高）を副部長に選出。
平成14年	<p>8月・全国高校総合体育大会（熊本県）</p> <p>3月・高円宮牌を賜る</p>
平成15年	<p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 下屋浩実（高山西高）を副部長に選出 <p>4月・雨宮建次郎（日工大付属東京工業高）4代目専門委員長に選出</p> <p>8月・全国高校総合体育大会（長崎県）</p> <p>高円宮妃殿下御臨席</p>
平成16年	<p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中元令士氏（国士館高）顧問に、長埜 紘氏（国際基督教大学高）を副部長に選出 <p>8月・全国高校総合体育大会（山口県）</p> <p>高円宮妃殿下御臨席</p>
平成17年	<p>3月・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市）</p> <p>8月・全国高校総合体育大会(千葉県)</p> <p>高円宮妃殿下御臨席</p>
平成18年	<p>3月・全国高校選抜大会(静岡県・掛川市)</p>

専門部役員名簿

平成17年10月現在

役職名	氏名	勤務先		学校名	電話	FAX
部長	松崎 洋右	埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615		大宮開成高	048-641-7161	048-647-8881
副部長	下屋 浩実	高山市下林町353		高山西高	0577-32-2590	0577-33-9911
	長埜 紘	東京都小金井市東町1-1-1		国際基督教大学高	0422-33-3401	0422-33-3376
委員長	雨宮建次郎	関東	153-8508 東京都目黒区駒場1-35-32	日工大付属東京工業高	03-3467-2130	03-3467-2245
副委員長 競技審査総務化強化	住友 和雄	四国	770-0006 徳島市北矢三町2-1-1	徳島工業高	088-631-4185	088-631-1110
	水上 英彦	東海	416-8555 静岡県富士市平垣町1-1	富士見高	0545-61-0250	0545-63-5040
常任委員	委員 小幡 正徳	北海道	005-0841 北海道札幌市南区石山1条2丁目15-1	札幌啓北商業高	011-591-2021	011-591-2023
	委員 手塚 義浩	東北	030-0921 青森県青森市原別3-1-1	青森東高	017-736-2440	017-736-3091
	委員 杉浦 成利	北信越	939-0743 下新川郡朝日町道下603	泊高	0765-82-1191	0765-82-1192
	委員 小野寺長久	関東	176-0021 東京都練馬区貫井3-45-19	都立第四商業高	03-3990-4211	033926-7040
	委員 河合 徳之	東海	433-8567 静岡県浜松市初生町1150	浜松工業高	053-436-1101	053-437-9988
	委員 佐幸 修	近畿	545-0002 大阪府大阪市阿倍野区天王寺南2-8-19	大阪女子高	06-6719-2801	06-6714-0045
	委員 山本 一博	中国	742-1502 山口県熊毛郡田布施町大字波野195	田布施農業高	0820-52-2157	0820-53-0036
	委員 本田 廣司	四国	769-2302 香川県さぬき市長尾西475	香川東部養護学高	0879-52-2581	0879-52-2597
期間理事 総体開催地委員長	委員 北原 茂	九州	862-0970 熊本県熊本市渡鹿9-1-1	東海大第二高	096-382-1146	096-385-7988
	委員 朝井與志雄	16.17年	630-8113 奈良市法蓮町836	奈良高	0742-23-2855	0742-23-4395
	委員 田中 伸周	17.18年	849-3193 佐賀県唐津市厳木町厳木727	厳木高	0955-63-2535	0955-51-5021
事務局	局長 宮崎 利帳	関東	330-8567 埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615	大宮開成高	048-641-7161	048-647-8881
	局員 松宮 博	関東	344-0037 埼玉県春日部市上大増新田213	春日部共栄高	048-737-7611	048-737-8093
	局員 青木 昭	関東	322-0002 栃木県鹿沼市千渡2050	鹿沼東高	0289-62-7051	0289-64-7471
	局員 小黒 顕	近畿	654-0007 兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1	滝川高	078-732-1625	078-732-7391
顧問	清本 修		731-0305 広島県安芸高田市八千代町上根827-2	元専門委員長	0826-52-3606	
	越田 稔		171-0031 東京都豊島区目白1-5-1	元専門副部長	03-3986-0221	
	藪内 徹		526-0021 滋賀県長浜市八幡中山町1079	元専門委員長	0749-62-4632	
	桑ヶ谷 森男		196-0024 東京都昭島市宮沢町2-26-18	元専門副部長	042-545-2453	
	服部 豊		113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3	元専門副部長	03-3964-5301	
	吉田 悠記		454-0962 名古屋市中川区戸田3-911	元専門副部長	052-301-7261	
	田中 康彦		483-8148 江南市寄木町天道75	元専門委員長	0587-55-5056	
	中元 令士		154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1	国士館高	03-5481-3131	
監事	若林 武正	関東	235-0021 横浜市磯子区岡村2-4-1	横浜学園高	045-751-6941	045-761-7965
	松本 直樹	近畿	650-0006 神戸市中央区諫訪山町6-1	神戸山手女子高	078-341-6050	078-341-1882

ブロック役員名簿

平成17年10月現在

地区	役職名	氏名	勤務校	電話番号	FAX番号	住所
北海道	専門委員長	小幡 正徳	札幌啓北商業	011-591-2021	011-591-2023	札幌市南区石山1条2-15-1
	競技委員長	行場 義修	帯広工業高校	0155-48-5650	0155-48-2680	帯広市南町南8線西24-1
	審判委員長	原田 浩明	札幌白石高校	011-872-2071	011-872-2072	札幌市白石区北川2261
	強化委員長	鈴木 隆行	旭川北高校	0166-51-4620	0166-51-2818	旭川市花咲町3丁目
	総務委員長	小幡 正徳	札幌啓北商業	011-591-2021	011-591-2023	札幌市南区石山1条2-15-1
東 北	専門委員長	手塚 義浩	青森東高	017-736-2440	017-736-3091	青森市原別3丁目1-1
	競技委員長	小林 浩子	福島南高校	024-523-4740	024-521-6400	福島市渡利字七社宮17
	審判委員長	日野 正晴	鶴岡北高校	0235-22-2262	0235-24-6101	鶴岡市若葉町16-5
	強化委員長	佐藤 貞子	大館鳳鳴高校	0186-42-0002	0186-42-9000	大館市金坂後6番
	総務委員長	松尾 智	盛岡白百合学園	019-661-6330	019-661-9923	盛岡市山岸4丁目29-16
関 東	専門委員長	白幡 秀人	米谷工業高校	0220-42-2170	0220-42-2170	登米郡東和町米谷字古館88
	競技委員長	小野寺長久	第四商業高校	03-3990-4221	03-3926-7040	練馬区貫井3-45-19
	審判委員長	吉成 謙	農林高校	055-276-2611	055-279-1413	甲斐市西八幡4533
	強化委員長	高橋 孝之	越ヶ谷高校	048-965-3421	048-960-1184	越谷市越ヶ谷2788-1
	総務委員長	新井 武実	千葉黎明高校	043-443-3221	043-443-3443	千葉県八街市八街ほ625
北信越	専門委員長	池田 幸一	横浜高校	045-781-3396	045-785-1541	横浜市金沢区能見台通46-1
	競技委員長	松宮 博	春日部共栄	048-737-7611	048-737-8093	春日部市上増新田213
	審判委員長	渡辺 武志	上田西高校	0268-22-0412	0268-26-2883	上田市下塙尻868
	強化委員長	坂井 公史	新潟産業大学付属	0257-24-6644	0257-24-0386	柏崎市大字安田2510-2
	総務委員長	田中 真徳	丹南高校	0778-62-2112	0778-62-2102	鰐江市熊田町10-7
東 海	専門委員長	山首 一恵	金沢向陽高校	076-258-2355	076-258-3592	金沢市大場町東590
	競技委員長	杉浦 成利	泊高校	0765-82-1191	0765-82-1192	下新川郡朝日町道下603
	審判委員長	河合 徳之	浜松工業高校	053-436-1101	053-437-9988	浜松市初生町1150
	強化委員長	前田 章宏	東海学園高校	052-801-6222	052-804-0647	名古屋市天白区中平2-901
	総務委員長	蟹江 信介	高山西高校	0577-32-2590	0577-33-9911	高山市下林町353
近 畿	専門委員長	新海 輝夫	三河高校	0564-48-5211	0564-48-5300	岡崎市岡町字原山12-10
	競技委員長	浅尾 綾	四日市北高校	0593-63-8110	0593-63-8116	四日市市大字茂福字横座668-1
	審判委員長	川島 通生	府立工業高校	0773-27-5161	0773-27-5162	京都府福知山市大字石原小字上野45
	強化委員長	藤井 良明	八日市南高校	0748-22-1513	0748-23-2151	八日市市春日町1-15
	総務委員長	澤野 元男	大阪高校	06-6340-3031	06-6349-3719	大阪市東淀川区相川2-18-51
中 国	専門委員長	渥野 充	草津東高校	075-564-4681	077-562-1601	草津市西渥川2-8-65
	競技委員長	藤川 毅	岸和田産業高校	0724-22-4861	0724-22-6111	岸和田市別所町541
	審判委員長	小黒 順	滝川高校	078-732-1625	078-732-7391	兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1
	強化委員長	山本 一博	田布施農業高校	0820-52-2157	0820-53-0036	熊毛郡田布施町大字波野195
	総務委員長	吉本 良弘	備前東高校	0869-67-0111	0869-67-0013	備前市麻宇郡1160
四 国	専門委員長	山根 俊一	倉吉農業高校	0858-28-1341	0858-28-1342	倉吉市大谷166
	競技委員長	金川 真二	吉田高校	0826-42-0031	0826-42-0207	安芸高田市吉田町吉田719-3
	審判委員長	小林 三高	松江東高校	0852-27-3700	0852-27-3701	松江市西川津町字宮尾501
	強化委員長	本田 廣司	東部養護学校	0879-52-2581	0879-52-2597	香川県さぬき市長尾西475
	総務委員長	柏原 敏宏	高松西高校	087-882-6411	087-882-6413	高松市鬼無町山口257-1
九 州	専門委員長	宮武 孝明	観音寺第一高	0875-25-4155	0875-25-4145	観音寺市観音寺甲648-1
	競技委員長	阿部 肇	徳島東工業高	088-653-3274	088-653-3296	徳島市大和町2-2-15
	審判委員長	三島 英美	徳島工業高校	088-631-4185	088-631-1110	徳島市北矢三町2丁目1-1
	強化委員長	田中 伸周	厳木高校	0955-63-2535	0955-51-5021	佐賀県東松浦郡厳木町下厳木727
	総務委員長	島崎 昭彦	門司高校	093-321-7198	093-331-7493	北九州市門司区丸山3-1-1
	専門委員長	堤 幸祐	別府溝部学園高	0977-67-6908	0977-67-8255	別府市大字野田78
	競技委員長	北原 茂	東海大学第二高	096-382-1146	096-385-2161	熊本市渡鹿9-1-1
	審判委員長	島袋 盛範	中部商業高校	0988-98-4808	0988-98-4808	宜野湾市我如古2-2-1
	強化委員長					

専門部 部長名簿

平成17年10月現在

都道府県	氏 名	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
1 北海道	金間 正克	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2 青森	小笠 原 勉	02H06	県立 名久井農業高	039-0502	三戸郡名川町下名久井字下諏訪平1番地	0178-76-2215	0178-76-2234
3 岩手	永野 章	03H03	県立 住田 高	029-2311	気仙郡住田町笛田米字川口12の1	0192-46-3141	0192-46-3144
4 宮城	入間 川正	04H04	米谷工業高	017-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2170
5 秋田	小松 雅治	05H03	県立 大館鳳鳴高	017-0813	大館市金坂後6番	0186-42-0002	0186-42-9000
6 山形	渡部 櫻一	06H04	県立 鶴岡北高	997-0037	鶴岡市若葉町16-6	0235-22-2262	0235-24-6101
7 福島	阿部 紘和	07H01	県立 田村 高	963-7763	田村郡三春町字持合畑135番地	0247-62-2185	0247-62-7785
8 茨城	北島 瑞男	08H01	水城	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	0292-47-6509	029-248-7252
9 栃木	石川 由次	09H06	県立 鹿沼 東	322-0002	鹿沼市千渡2050	0287-62-7051	0287-65-7471
10 群馬	平澤 明	10H12	市立 前橋 高	371-0051	前橋市上細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
11 埼玉	北原 正彦	11H12	県立 宮代 高	345-0814	南埼玉郡宮代町字東611	0480-32-4388	0480-36-1016
12 千葉	高橋 修		県立 野田 北高	278-0046	野田市谷津713	04-7125-4108	04-7123-7108
13 東京	長埜 紘	13H20	国際基督教大学高	184-8503	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
14 神奈川	熊谷 和久	14H06	市立 横須賀総合高	239-0831	横須賀市久里浜6-6-1	046-833-4111	046-833-4555
15 山梨	高瀬 孝人	15H01	県立 甲府第一高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
16 新潟	五十嵐 夷広	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
17 長野	橋詰 政勝	17H02	県立 長野南高	381-2214	長野市稲里町田牧字大北236-2	026-284-8850	026-291-1552
18 富山	菅田 宣雄	18H06	県立 泊 高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
19 石川	宮本 順郎	19H01	県立 能登青翔高	928-0331	鳳珠郡能登町字柳田イ部3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
20 福井	小堀 雅夫	20H01	県立 丹南高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21 静岡	竹谷 勝	21H02	富士見高	416-8555	富士市平原町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22 愛知	松本 正孝	22H01	愛知高	464-8520	名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41	052-721-1521	052-723-2254
23 三重	松ヶ谷 光廣	23H04	県立 四日市四郷高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
24 岐阜	下屋 浩実	24H02	高山西高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
25 滋賀	今宿 等	25H12	市立 草津 東	525-0025	草津市西渋川2-8-65	077-564-4681	077-562-1601
26 京都	湊 敏	26H08	府立 府立工業高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27 大阪	榎 倖二	27H02	大阪高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3719
28 兵庫	樋口 英雄	28H03	甲南高	659-0996	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
29 奈良	上田 貞夫	29H01	県立 奈良高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30 和歌山	小川 敬文	30H01	県立 貴志川高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
31 鳥取	岩本 恭昌	31H02	県立 倉吉農業高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32 島根	梅木 祥司	32H01	県立 松江東高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33 岡山	小林 義明	33H02	岡山県共生高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
34 広島	溝本 憲昭	34H28	県立 吉田高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
35 山口	木橋 悅二	35H01	県立 久賀高	742-2301	大島郡久賀町第4851-2	0820-72-0024	0820-72-0096
36 香川	申村 修	36H01	県立 高松西高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
37 徳島	多田 実		県立 城西高	770-0046	徳島市鮎喰町2丁目1	088-631-5138	088-633-0453
38 愛媛	愛媛県アーチェリー		愛媛県アーチェリー協会	791-0242	松山市北梅本町940 森貞浩方	089-975-1447	
39 高知	西尾 東洋民		高知県アーチェリー	780-0922	高知市平和町28-12-23	088-872-6161	088-872-6171
40 福岡	佐竹 則昭	40H02	県立 折尾高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	092-691-3561	093-691-9529
41 佐賀	吉富 啓子	41H02	県立 厳木高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
42 長崎	松山 秀則	42H01	県立 大村工業高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
43 熊本	森 和則	43H07	多良木高	868-0501	球磨郡多良木町大字多良木1212	0966-42-2102	0966-49-1022
44 大分	衛藤 公博	44H01	私立 別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45 宮崎	野村 光秋		宮崎アーチェリー協会	880-0046	宮崎市平和が丘町32-11	0985-26-3215	0985-26-3215
46 鹿児島	山本 文雄	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47 沖縄	神元 正勝	47H03	県立 北谷高	904-0103	北谷町字桑江414	098-936-1010	098-936-1426

専門部 委員名簿

平成17年10月現在

	都道府県	氏 名	学校番号	学校名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
1	北海道	小幡 正徳	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2	青森	手塚 義浩	02H08	県立 青森 東高	030-0921	青森市原別3丁目1-1	017-736-2440	017-736-3091
3	岩手	松尾 聰	03H02	盛岡百合学園高	020-0004	盛岡市山岸4丁目29番16号	019-661-6330	019-661-9923
4	宮城	白幡 秀人	04H04	県立 米谷工業高	987-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
5	秋田	佐藤 貞子	05H03	大館鳳鳴高	017-0813	大館市金坂後6番	0186-42-0002	0186-42-9000
6	山形	日野 正晴	06H14	県立 鶴岡 北高	997-0037	鶴岡市若葉町16-5	0235-22-2262	0235-24-6101
7	福島	小林 浩子	07H03	県立 福島 南高	960-8141	福島市渡利字七社宮17	024-523-4740	024-521-6400
8	茨城	奥倉 裕	08H01	水城 高	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-8509	029-248-7252
9	栃木	青木 昭	09H06	県立 鹿沼 東高	322-0002	鹿沼市千渡2050	0289-62-7051	0289-65-7471
10	群馬	樋口 雅一	10H12	市立 前橋 高	371-0051	前橋市細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
11	埼玉	高橋 孝之		県立 越ヶ谷 高	343-0024	越谷市越ヶ谷2788-1	048-965-3421	048-960-1184
12	千葉	佐藤 伸司	12H08	県立 生浜 高	260-0823	千葉市中央区塙田町372	043-266-4591	043-264-8636
13	東京	渡辺 忠雄	13H05	日工大附属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
14	神奈川	高木 正之	14H11	東海大学附属相模高	228-8515	相模原市相南3-333-1	042-742-1251	042-742-1159
15	山梨	吉成 謙	15H04	農林 高	400-0117	山梨県甲斐市西八幡4533	055-276-2611	055-279-1413
16	新潟	坂井 公史	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
17	長野	佐藤 洋一	17H02	県立 長野 南高	381-2214	長野市稻里町田牧字大北236-2	026-284-8850	026-291-1552
18	富山	杉浦 成利	18H06	県立 泊 高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
19	石川	山首 一恵	19H02	県立 金沢 向陽高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
20	福井	田中 真徳	20H01	県立 丹南 高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21	静岡	水上 英彦	21H02	富士見 高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22	愛知	萩原 茂樹	22H03	弥富 高	498-0048	海部郡弥富町稲吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
23	三重	浅尾 純		県立 四日市北高	510-8027	四日市市茂福横座668-1	0593-63-8110	0593-63-8116
24	岐阜	津田 博司	24H02	高山 西高	506-0059	高山市下林町353	0577-32-2590	0577-33-9911
25	滋賀	澤井 裕之	25H11	県立 北大津 高	520-0246	大津市仰木里1-23-1	077-573-5881	077-573-7076
26	京都	川島 通生	26H08	府立 府立工業高	620-0804	京都市福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27	大阪	澤野 元男	27H02	大阪 高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3714
28	兵庫	岡 芳樹	28H03	甲南 高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	797-31-7458
29	奈良	朝井 與志雄	29H01	県立 奈良 高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30	和歌山	吉田 慶二	30H01	県立 貴志川 高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0739-64-2501
31	鳥取	山根 俊一	31H02	県立 倉吉農業高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32	島根	小林 三高	32H01	県立 松江 東高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33	岡山	吉本 良弘	33H07	県立 備前緑陽高	705-8507	備前市西片上91-1	0869-63-0315	0869-64-4260
34	広島	金川 真二	34H28	県立 吉田 高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
35	山口	山本 一博	35H05	県立 田布施農業高	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野195	0820-52-2157	0820-53-0036
36	香川	宮武 孝明	36H02	県立 觀音寺第一高	768-0060	観音寺市觀音寺町甲648-1	0875-25-4155	0875-25-4145
37	徳島	住友 和雄	37H03	県立 徳島工業高	770-0006	徳島市北矢三町2丁目1番1号	088-631-4185	088-631-1110
38	愛媛	愛媛県アーチェリー協		森貞 浩方	791-0242	松山市北梅本町940	089-975-1447	
39	高知	西尾 東洋民		高知県アーチェリー	780-0922	高知市平和町28-12-23	088-872-6161	088-872-6171
40	福岡	中島 克哉	40H02	県立 折尾 高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	093-691-3561	093-691-9529
41	佐賀	田中 伸周	41H02	県立 厳木 高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
42	長崎	嶋本 芳久	42H01	県立 大村工業高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
43	熊本	北原 茂	43H03	東海大学第二高	862-0970	熊本市大江町渡鹿9-1-1	096-382-1146	096-385-2161
44	大分	堤 幸祐	44H01	私立 別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45	宮崎	野村 光秋		宮崎県アーチェリー協会	880-0046	宮崎市平和が丘町32-11	0985-26-3215	0985-26-3215
46	鹿児島	岩崎 健二	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47	沖縄	島袋 盛範	47H02	県立 宜野湾 高	901-2224	宜野湾市真志喜2-25-1	098-897-1020	098-897-3045

学校登録一覧表

平成17年10月現在

(太字都道県名は、高体連加盟)

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
北海道 41校	01H01	道立 札幌月寒高	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
	01H03	道立 小樽潮陵高	047	小樽市潮見台2丁目1番1号	0134-22-0754	0134-22-5954
	01H04	函館ラサール高	041-8765	函館市日吉町1丁目12番1号	0138-52-0365	0138-54-0365
	01H05	道立 室蘭清水丘高	051-0034	室蘭市增市町2丁目	0143-23-1221	0143-23-1746
	01H06	道立 登別南高	059-0027	登別市青葉町42番地1	0143-85-8586	0143-85-8586
	01H07	道立 旭川南高	071-01	旭川市西神楽4線6号	0166-65-8770	0166-65-8772
	01H08	道立 清水高	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	01566-2-2157	01566-2-2097
	01H09	道立 帯広三条高	080-2473	帯広市西23条2丁目12番地	0155-37-5501	0155-37-5503
	01H10	道立 帯広工業高	080-0833	帯広市南町南8線西24-1	0155-48-5650	0155-48-2680
	01H11	道立 幕別高	089-0615	中川郡幕別町南町81番地	0155-54-2977	0155-54-2159
	01H12	道立 札幌西高	064	札幌市中央区宮ノ森4条8丁目1番地	011-611-4401	011-611-4403
	01H13	道立 札幌啓成高	004-0004	札幌市厚別区厚別東4条8丁目6-1	011-898-2311	011-898-2313
	01H14	道立 札幌開成高	065-8558	札幌市東区北22条東21丁目	011-781-8171	011-781-5629
	01H15	道立 旭川北高	070-0901	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	0166-51-2818
	01H16	道立 旭川工業高	078-8306	旭川市西神楽3線5号	0166-65-4115	0166-65-4127
	01H17	旭川実業高	071	旭川市末広8条1丁目	0166-51-1246	0166-51-9515
	01H18	鹿追高	081-02	阿東郡鹿追町西町1-8	01566-6-3011	01566-6-3012
	01H19	紋別北高	094	紋別市落石町1丁目3番18号	01582-4-5285	01582-4-5285
	01H20	道立 紋別南高	094	紋別市南が丘町6丁目3番47号	0152-3-3068	01582-3-3974
	01H21	北海道室蘭東高	050	室蘭市高砂町4丁目35-1	0143-44-3312	0143-44-4783
	01H22	東海大学第四高	005	札幌市南区南沢517-1-1	011-571-5175	
	01H23	道立 帯広柏高	080	帯広市東5条南2丁目	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H24	道立 丘珠高	065	札幌市東区北丘珠1条2-589-1	011-782-2911	011-782-8370
	01H25	私立 札幌第一高	062	札幌市豊平区月寒西1条9丁目	011-851-9361	011-856-5151
	01H26	芽室高	082	河西郡芽室町東芽室南2線33	0155-62-2625	0155-62-2624
	01H27	私立 札幌光星高	065	札幌市東区北13条東9丁目16番	011-711-7161	011-711-7330
	01H28	道立 追分高	059-19	勇払郡分町本町7-8	01452-5-3657	01452-5-2555
	01H29	道立 音更高	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H30	道立 音更高定	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H31	道立 帯広柏葉高	082	帯広市東5条南2丁目1	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H32	道立 札幌光星高	065	札幌市東区13条9丁目	011-711-7161	011-711-7330
	01H33	道立 札幌新陽高	005	札幌市南区澄川5条7丁目1番1号	011-821-6161	011-813-4009
	01H34	道立 静内高	056-0023	静内郡静内町ときわ町1-1-1	01464-2-1075	01464-2-1077
	01H35	道立 北海道白老東高	059-0903	白老町日の出町5丁目17-3	0144-82-4762	0144-82-4280
	01H36	市立 札幌平岸高	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目	011-812-2010	011-812-2049
	01H37	県立 旭川大学高	079-8505	旭川市氷山7条16丁目	0166-48-1221	0166-48-0740
	01H38	北海道栄高	059-0998	白老郡白老町緑丘4-676	0144-82-2185	0144-82-3214
	01H39	道立 札幌白石高	033-0859	札幌市白石区川北2261	011-872-2071	011-872-2072
	01H40	道立 札幌篠路高	022-8053	札幌市北区篠路町篠路372-67	011-771-2004	011-711-2013
	01H41	私立 藤女子高	001-0016	札幌市北区北16条西2丁目21	011-707-5003	011-746-7371
青森県 15校	02H01	県立 三木木農業高	034-8578	十和田市相坂字高清水78	0176-23-5341	0176-23-2141
	02H02	県立 藤崎園芸高	038-3802	藤崎町藤崎字下袋7の10	0172-75-3332	0172-75-3334
	02H03	八戸工業大学第二高	031-8505	八戸市大字妙字大開67	0178-25-4311	0178-25-0568
	02H04	県立 むつ工業高	039-51	むつ市文京町22の7	0175-24-2164	0175-29-2893
	02H05	八戸工業大学第一高	031-0822	八戸市白銀町右岩淵通7-10	0178-33-5121	0178-34-3942
	02H06	県立 名久井農業高	039-0502	三戸郡名川町下名久井字下諏訪平1番地	0178-76-2215	0178-76-2234
	02H07	県立 青森西高	038-0042	青森市新城字平岡226の20	017-788-0372	017-788-4411
	02H08	県立 青森東高	030-0921	青森市原別3-1-1	017-736-2440	017-736-3091

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X番号
	02H09	青 森 山 田 高	030-0843	青森市青葉3丁目13-40	017-739-2001	017-739-1950
	02H10	県立 青 森 中 央 高	030-0842	青森市大字浦町字奥野428番地	017-739-5135	017-729-3488
	02H11	県立 五 所 川 原 農 林 高	037	五所川原市大字一野坪字朝日田2-37	0173-37-2121	
	02H12	県立 八 戸 南 高	031	八戸市大字鮫町小舟渡平2-291	0178-34-6001	
	02H13	県立 五 戸 高	039-1569	三戸郡五戸町字根岸6番地	0178-62-2828	0178-62-7069
	02H14	県立 七 戸 高	039-2516	上北郡七戸町字館野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112
	02H16	県立 柏 木 農 業	036		0172-44-3015	0172
岩手県 5校	03H01	県立 盛 岡 工 業 高	020-0841	盛岡市羽場18-11-1	0196-38-3141	0196-38-8134
	03H02	盛岡白百合学園高	020-0004	盛岡市山岸4丁目29番16号	019-661-6330	019-661-9923
	03H03	県立 住 田 高	029-2311	気仙郡住田町世田米字川口12の1	0192-46-3141	0192-46-3144
	03H04	私立 花 卷 東 高	025-0066	花巻市松園町55番地1	0198-24-2825	0198-41-1136
	03H05	県立 種 市 高	028-7912	九戸郡種市町338地割94-110	0194-65-2147	0194-65-5654
宮城県 6校	04H01	市立 仙 台 工 業 高	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3-1	022-237-5341	022-283-6478
	04H02	東 陵 高	988-0812	氣仙沼市字大峰山1番1号	0226-23-3100	0226-23-3107
	04H03	宮 城 工 業 高 専	981-1239	名取市愛島塙手字野田48	022-381-0266	022-381-0267
	04H04	米 谷 工 業 高	980-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
	04H05	県立 農 業 高	981-1201	名取市下増田字広浦20-1	022-384-2511	022-384-2512
	04H06	聖 和 学 園 高	984-0047	仙台市若林区木ノ下3-4-1	022-257-777	022-257-1484
秋田県 6校	05H01	県立 大 館 東 高	017	大館市釧内字獅子ヶ森1番地	0186-48-6007	
	05H02	県立 秋 田 南 高	010-1437	秋田市仁井田線町4-1	018-833-7431	018-831-6196
	05H03	県立 大 館 凤 鳴 高	017-0813	大館市金坂後6番	0186-42-0002	0186-42-9000
	05H04	県立 平 成 高	013-0101	平鹿郡平鹿町上吉田間内字角掛60	0182-24-1195	0182-56-3008
	05H05	県立 横 手 城 南 高	013-0016	横手市根岸町2-14	0182-32-4007	0182-32-4009
	05H06	県立 大 曲 高	014-0061	大曲市栄町6-7	0187-63-4004	0187-63-4005
	05H07	県立 米 内 汚 高	018-4301	北秋田市米内沢字長野塙118-1	0186-72-4535	0186-72-4536
	05H08	県立 和 田 工 業 高	010-0902	秋田市保テ野金砂町3-1	018-823-7326	018-823-7328
	06H01					
山形県 7校	06H02	県立 天 真 学 園 高	998-0031	酒田市浜田1丁目3-47	0234-22-4733	0234-22-4734
	06H03	県立 鶴 岡 南 高	997-0037	鶴岡市若葉町26-31	0235-22-0061	0235-24-5941
	06H04	県立 鶴 岡 北 高	997-0037	鶴岡市若葉町16-5	0235-25-4752	0235-24-6101
	06H05	県立 鶴 岡 家 政 高	997	鶴岡市新形町16-20	0235-22-1200	0235-22-5904
	06H06	県立 鶴 岡 工 業 高	997-0036	鶴岡市家中新町8-1	0235-22-5505	0235-25-4209
	06H07	県立 山 添 高	997-03	東田川郡鶴見町大字上山添字文榮38番地	0235-57-2100	0235-57-2101
	06H08	鶴 岡 中 央 高	997-0017	鶴岡市大字大宝寺字日本国410	0235-25-5724	0235-25-5734
	06H09					
福島県 5校	07H01	県立 田 村 高	963-7763	田村郡三春町字持合畠135番地	0247-62-2185	0247-62-7785
	07H02	県立 福 島 高	960-8002	福島市森合町5番72号	024-535-2391	024-535-2392
	07H03	県立 福 島 南 高	960-8141	福島市渡利字七社宮17	024-523-4740	024-521-6400
	07H04	県立 須 賀 川 桐 陽 高	962	須賀川市陣場町128	0248-75-2151	0248-72-7979
	07H05	私立 岩 瀬 農 業 高	969-04	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字桜町207	0248-62-3145	
茨城県 2校	08H01	県立 水 城 高	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-6509	029-248-7252
	08H02	県立 波 崎 高	314-0343	鹿嶼郡波崎町土合本町2-9928-1	0479-48-0044	0479-48-4679
茨城県 6校	09H01	県立 馬 頭 高	329-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
	09H02	県立 黒 羽 高	324	那須郡黒羽町前田780	0287-54-0179	0287-54-4179
	09H03	県立 烏 山 高	321	那須郡烏山町中央3丁目9番8号	0287-83-2075	0287-83-0145
	09H04	烏 山 女 子 高	321-0628	那須郡烏山町金井1-4-23	0287-82-2156	0287-84-0196
	09H05	県立 高 体 連	324-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
	09H06	県立 鹿 沼 東 高	322-0002	鹿沼市千波2050	0289-62-7051	0289-65-7471
群馬県 14校	10H01	県立 沼 田 女 子 高	378-0043	沼田市東倉内町753-3	0278-22-4495	0278-22-3249
	10H02	県立 藤 岡 北 高	375	藤岡市篠塚90	0274-22-2308	
	10H03	県立 沼 田 高	378-0054	沼田市西原新町1510番地	0278-23-1313	0278-22-4799
	10H04	県立 太 田 高	373-0033	太田市西本町12の1	0276-31-7181	0276-31-9161
	10H05	県立 安 中 実 業 高	379-0116	安中市安中1-2-8	027-381-0227	027-382-7207
	10H06	県立 館 林 女 子 高	374-0019	館林市尾曳町6番1号	0276-72-0139	0276-72-7112
	10H07	桐 生 西 高	376-0011	桐生市相生町3丁目551-1	0277-52-2455	0277-54-9763

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	10H08	私立 高崎商科大学附属高	370-0803	高崎市大橋町237番地の1	0273-22-2827	0273-22-7591
	10H09	県立 新 島 高	379	安中市安中3702	0273-81-0240	0273-81-0630
	10H10	高 崎 東 高	370	高崎市元島名町1510	0273-52-1251	0273-53-0994
	10H11	私立 前 橋 育 英 高	371-0832	前橋市朝日が丘町13	0272-51-7087	0272-52-9419
	10H12	市立 前 橋 高	371-0051	前橋市上細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
	10H13	市立 高崎経済大付属高	370-0081	高崎市浜川町1650-1	027-344-1230	027-344-4335
	10H14	私立 創 世 中 等 高	371-0034	前橋市昭和町3-7-27	027-231-8117	027-231-8107
埼玉県 12校	11H01	私立 大 宮 開 成 高	330-8567	大宮市堀之内1-615	048-641-7161	048-647-8881
	11H02	県立 豊 岡 高	358-0003	入間市豊岡1丁目15番1号	042-962-5216	042-960-1053
	11H03	県立 行 田 高	361	行田市大字長野1320番地	0485-56-6291	0485-50-1058
	11H04	県立 所 沢 中 央 高	359-0042	所沢市並木8丁目2番	042-995-6088	042-991-1009
	11H05	春 日 部 共 荣 高	344-0037	春日部市上大増新田213	048-737-7611	048-737-8093
	11H06	花 哉 德 荣 高	347-0032	加須市花崎江橋519	0480-65-7181	0480-65-0778
	11H07	県立 上 尾 橘 高	362-0059	上尾市大字平方2187番地	048-725-3725	048-780-1010
	11H08	県立 新 座 高	352	新座市池田1-1-2	0484-79-5110	
	11H09	県立 曜 高	350-1203	入間郡日高町旭ヶ丘806	0429-89-7920	0429-85-4412
	11H10	県立 北 本 高	364-0003	北本市古市場1丁目152番	0485-92-2200	0485-90-1009
	11H11	私立 栄 東 高	330-0000	大宮市砂町2丁目77番地	048-651-4050	048-652-9435
	11H12	県立 宮 代 高	345-0814	南埼玉郡宮代町宇東611	0480-32-4388	0480-36-1016
千葉県 14校	12H01	県立 京 葉 高	290-0034	市原市島野222	0436-22-2196	0436-25-1368
	12H02	千 葉 英 和 高	276-0028	八千代市村上709-1	047-484-5141	047-487-5466
	12H03	県立 津 田 沼 高	275-0025	習志野市秋津5-9-1	047-451-1177	047-454-3242
	12H04	県立 磯 辺 高	261-0012	千葉市美浜区磯辺2丁目7番1号	043-277-2211	043-278-2071
	12H05	県立 松 戸 矢 切 高	271-0095	松戸市中央切54番地	047-368-4741	047-368-4396
	12H06	県立 姉 崎 高	290-0111	市原市姉崎2632番地	0436-62-0601	0436-61-7679
	12H07	県立 流 山 中 央 高	270-0122	流山市大畔275-5	0471-54-3551	0471-55-6991
	12H08	県立 生 浜 高	260-0823	千葉市塙田町372	043-266-4591	043-264-8636
	12H09	県立 船 橋 高	273-0002	船橋市東船橋6丁目1番1号	047-422-2188	047-426-0422
	12H10	黎 明 高	298-1115	八街市八街ほ625	043-443-3221	043-443-3443
	12H11	拓 殖 大 学 紅 陵 高	292-8568	木更津市桜井1403番地	0438-37-2511	0438-36-7286
	12H12	県立 泉 高	265-0061	千葉市若葉区高根町875-1	043-228-2551	043-228-0240
	12H13	志 学 館 高	292-8568	木更津市真舟3丁目29番1号	0438-37-3131	0438-37-3133
	12H14	県立 国 府 台 高	272-0827	市川市国府台2-4-1	047-373-2141	047-373-7902
東京都 38校	13H01	東 京 学 園 高	153	目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641	
	13H02	都立 四 谷 商 業 高	165	中野区上鷺宮5-11-1	03-3990-4226	03-3926-7523
	13H03	明治大学付属中野高	164-0003	中野区東中野3丁目3番4号	03-3362-8704	03-3368-3113
	13H04	駒 場 東 邦 高	154-0001	世田谷区池尻4-5-1	03-3466-8221	03-3466-8225
	13H05	日工大付属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
	13H06	玉 川 学 園 高	194-8610	町田市玉川学園6丁目1番1号	042-739-8533	042-739-8559
	13H07	都立 山 崎 高	195-0074	町田市山崎町字9号1453-1	042-792-2891	042-794-0440
	13H08	学 習 院 高 等 科	171-0031	豊島区目白1丁目5番1号	03-3986-0221	03-5992-1016
	13H09	麻 布 高	106-0046	港区元麻布2-3-29	03-3446-6541	03-3444-2337
	13H10	獨 協 高	112-0014	文京区関口3-8-1	03-3943-3651	03-3943-9119
	13H11	慶 応 義 墓 女 子 高	108-0073	港区三田2丁目17番23号	03-5427-1674	03-5427-1675
	13H12	武 藏 野 高	114-0024	北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151	03-5567-0487
	13H13	東 海 大 学 付 属 高 輪 台 高	108	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
	13H14	早 稲 田 大 学 高 等 学 院	177-0044	練馬区上石神井3丁目31番1号	03-5991-4151	03-3928-4110
	13H15	城 北 高	174	豊島区目白5-23-5		03-3956-9779
	13H16	足 立 学 園 高	120	足立区千住旭町40-24	03-3888-5331	03-3888-6720
	13H17	淑 德 高	174-8643	板橋区前野町5-14-1	03-3969-7411	03-3558-7992
	13H18	都立 大 山 高	173	板橋区小茂根5-18-1	03-3958-2121	03-3959-8591
	13H19	昭 和 第 一 学 園 高	190	立川市柴町2-45-8	0425-36-1611	0425-37-6880
	13H20	国際基督教大学高	184-8503	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
	13H21	都立 第 四 商 業 高	176-0021	練馬区貫井3-45-19	03-3990-4221	03-3926-7040
	13H22	日 体 桜 華 女 子 高	189	東村山市富士見町2-5-1	0423-91-4133	0423-92-6424

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
都道府県 13	13H23	明治学院東村山高	189-0024	東村山市富士見町1丁目12番3号	0423-91-2142	0423-91-5926
	13H24	都立 館 高	193-0944	八王子市館町1097番136	0426-63-3315	0426-62-9831
	13H25	大東文化学園高				
	13H26	藤 村 女 子 高				
	13H27	都立 野 津 田 高	194-01	町田市野津田町2000番	0427-34-2311	0427-34-9388
	13H28	都立 小 平 西 高	187	小平市小川町1-502-95	0423-45-1411	
	13H29	文 京 女 子 高	113-8667	文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301	03-3946-5368
	13H30	私 立 国 土 館	154-8553	世田谷区若林4-32-1	03-5481-3131	03-5481-3149
	13H31	千 歳 高	157-0063	世田谷区粕谷3丁目8-1	03-3300-5235	03-3300-2306
	13H32	都立 晴 海 総 合 高	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
	13H33	都立 松 が 谷 高	192-0354	八王子市松が谷1772	0426-76-1231	0426-75-1237
	13H34	明大中野八王子高	192-0001	八王子市戸吹町1100	0426-91-0321	0426-91-0988
	13H35	私 立 日 本 大 学 豊 山 高	112-0012	文京区大塚5丁目40-10	03-3943-2161	03-3943-1991
	13H36	都立 瑞 穂 農 芸 高	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042-557-0142	042-556-2439
	13H37	都立 向 丘 高	113-0023	文京区向丘1-11-18	03-3811-2022	03-3812-4055
	13H38	錦 城 高	187-0001	小平市大沼町2-633	042-341-0741	042-345-4255
神奈川県 22校	14H01	横 浜 高	236-0053	横浜市金沢区能見台通46-1	045-781-3396	045-785-1541
	14H02	相模女子大学高	228	相模原市文京2-1-1	0427-42-1442	
	14H03	県立 横 浜 緑 ケ 丘 高	231-0832	横浜市中区本牧緑ヶ丘37番地	045-621-8641	045-624-0765
	14H04	浅 野 高	221-0012	横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-3281	045-421-4080
	14H05	三 浦 高	238-0031	横須賀市衣笠栄町3丁目80番地	0468-52-0284	0468-52-6980
	14H06	市立 横 須 賀 総 合 高	239-0831	横須賀市久里浜6-6-1	046-833-4111	046-833-4555
	14H07	県立 東 金 沢 高	236-0051	横浜市金沢区富岡東2丁目6番1号	045-774-1188	045-776-2357
	14H08	県立 小 田 原 城 内 高	250-0013	小田原市南町1-6-34	0465-23-3251	0465-23-6142
	14H09	県立 湘 南 高 速 通 信 制 少 年 工 科 学 校	238-0392	横須賀市幸浜2-1	0468-56-1291	0468-56-1291
	14H10	ア レ セ イ ナ 湘 南 高	253	茅ヶ崎市富士見町5番2号	0467-87-0132	0467-86-7350
	14H11	東 海 大 学 附 属 相 模 高	228-8515	相模原市相南3-33-1	0427-42-1251	0427-42-1159
	14H12	慶 応 義 塾 高	223-0061	横浜市港北区日吉4丁目1番2号	044-563-1111	
	14H13	横 浜 学 園 高	235-0021	横浜市磯子区岡村2丁目4番1号	045-751-6941	045-761-7956
	14H14	県立 永 谷 高	233-0016	横浜市港南区下永谷町1-28-1	045-824-2126	045-825-3605
	14H15	市立 南 高	233	横浜市港南区東永谷町2丁目1番1号	045-822-1910	
	14H16	県立 上 矢 部 高	245	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	045-862-6347
	14H17	鎌 倉 女 学 院 高	248	鎌倉市由比ヶ浜2-10-4	0467-25-2100	0467-25-1358
	14H18	県立 三 崎 水 産 高	240-0101	横須賀市長坂1-2-1	0468-56-3128	0468-57-6457
	14H19	県立 湯 河 原 高	259-0312	足柄下郡湯河原町吉浜1576-31	0465-63-1281	0465-62-0675
	14H20	県立 清 水 チ 丘 高	232-0007	横浜市南区清水ヶ丘41番	045-242-1926	045-253-6393
	14H21	市立 南 高	233-0011	横浜市港南区東永谷2-1-1	045-822-1910	045-826-0818
	14H22	私 立 返 子 開 成 高	249-8510	逗子市新宿2-5-1	046-871-2062	046-873-8459
山梨県 9校	15H01	県立 甲 府 第 一 高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
	15H02	山 梨 英 和 高	400	甲府市愛宕町112	0552-52-6184	0522-51-7468
	15H03	甲 府 湯 田 高	400-0867	甲府市青沼3丁目10-1	0552-33-0127	0552-33-0129
	15H04	県立 農 林 高	400-01	中巨摩郡竜王町西八幡4533	0552-76-2611	
	15H05	県立 機 山 工 業 高	400	甲府市下飯田1丁目9番1号	0552-28-7281	
	15H06	私 立 山 梨 学 院 付 属 高	400	甲府市酒折3丁目3-1	0552-37-1047	0552-35-7091
	15H07	県立 甲 府 西 高	400	甲府市下飯田4-1-1	0522-28-5161	0552-28-5161
	15H08	県立 荘 崎 高		莊崎市若宮3丁目2-1	0551-22-2415	0551-22-2415
	15H09	県立 第 一 商 業 高	400	甲府市東光寺2丁目25-1	0552-35-2581	0552-35-2581
新潟県 10校	16H01	県立 長 岡 工 業 高	940-0084	長岡市幸町2丁目7番70号	0258-36-4510	0258-39-2054
	16H02	敬 和 学 園 高	950-3112	新潟市太夫浜325	025-259-2391	025-259-7281
	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
	16H04	県立 新 潟 中 央 高	951	新潟市学校町通り2番地5317-1	025-229-2191	
	16H05	新潟県個人登録協会				
	16H06	県立 燕 工 業 高	959-1244	燕市大字東太田1066	0256-63-6354	0256-66-1295
	16H07	県立 卷 工 業 高	953-0043	西蒲原郡卷町堀山新田51-1	0256-72-2049	0256-72-1718
	16H08	県立 新 発 田 南 高	957-8567	新発田市大榮町3-6-6	0254-22-2178	0254-26-8397

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	16H09	県立 新潟高	951-8127	新潟市関屋下川原町2-635	025-266-2131	025-267-7795
	16H10	県立 高志高	950-0926	新潟市高志1-15-1	025-286-6911	025-286-6979
長野県 5校	17H01	県立 篠ノ井高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	0262-92-0066	026-292-9136
	17H02	県立 長野南高	381-2214	長野市稻里町田牧字大北236-2	0262-84-8850	026-291-1552
	17H03	県立 駒ヶ根工業高	399-4117	駒ヶ根市赤穂14-2	0265-82-5251	0262-81-1253
	17H04	上田西高	386-8624	上田市下塙尻868	0268-22-0412	0268-26-2883
	17H05	県立 上田千曲高	386-8585	上田市中之条626	0268-22-7070	0268-23-5370
富山県 8校	18H01	高岡龍谷高	933-8517	高岡市古定塚4-1	0766-22-5141	0766-25-8149
	18H02	県立 魚津工業高	937-0001	魚津市浜経田3338	0765-22-2577	0765-22-2578
	18H03	新川高	937-0041	魚津市吉島1350	0765-24-2015	0765-24-2015
	18H04	県立 富山中部高	930-0097	富山市芝園町3丁目1-26	0764-41-3541	0764-41-3543
	18H05	県立 大門高	939-02	射水郡大門町二口1番地2	0766-52-5571	0766-52-5571
	18H06	県立 泊高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
	18H07	県立 富山南高	939	富山市布市98	0764-29-1822	0764-29-1799
	18H08	県立 桜井高	938	黒部市三日市1334	0765-52-0120	0765-52-1694
石川県 4校	19H01	県立 能登青翔高	928-0331	鳳珠郡能登町字柳田イ部3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
	19H02	県立 金沢向陽高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
	19H03	県立 工業高	920	金沢市本多町2丁目3番6号	0762-61-7156	0762-65-5346
	19H04	県立 金沢桜丘高	920-0818	金沢市大樋町16番1号	076-252-1225	076-252-1643
	19H05					
福井県 4校	20H01	県立 丹南高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
	20H02	県立 金津高	910-0624	坂井郡金津町南金津33-1	0776-73-1255	0776-73-1254
	20H03	敦賀気比高	914	敦賀市沓見164-1	0770-24-2150	0770-24-2620
	20H04	県立 高志高	910-0854	福井市御幸2丁目25-8	0776-24-5175	0776-24-5177
	20H05					
静岡県 29校	21H01	県立 修善寺工業高	410-2401	田方郡修善寺町牧之郷892番地	0558-72-3322	0558-72-1955
	21H02	富士見高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
	21H03	県立 静岡商業高	420-0068	静岡市田町7丁目90番地	054-255-6241	054-255-9241
	21H04	県立 袋井高	437-0031	袋井市愛野2446-1	0538-42-0191	0538-43-0710
	21H05	県立 浜松工業高	433-8567	浜松市初生町1150	053-436-1101	053-437-9988
	21H06	県立 浜松商業高	432-8004	浜松市文丘町4番11号	053-471-3351	053-475-2109
	21H07	浜松学芸高	430-0905	浜松市下池川町34番3号	053-471-5336	053-475-2395
	21H08	興誠高	430-0907	浜松市高林1丁目17番2号	053-471-4136	053-471-4137
	21H09	県立 浜松北高	432-8013	浜松市広沢1丁目30番1号	053-454-5548	053-456-3316
	21H10	県立 浜松湖東高	431-1112	浜松市大人見町3600	053-485-0215	053-485-3947
	21H11	県立 三ヶ日高	431-1416	引佐郡三ヶ日町78-1	0535-25-0103	0535-25-0426
	21H12	県立 天竜林業高	431-3314	天竜市二俣町二俣601番地	0539-25-3139	0539-25-7422
	21H13	静岡北高	420	静岡市瀬名3240	0542-61-5801	0542-62-5573
	21H14	県立 静岡東高	420	静岡市川合757番地	0542-61-6636	0542-63-5970
	21H15	県立 清水工業高	424	清水市八坂東1丁目16-1	0543-66-5471	0543-66-5473
	21H16	三島高	411-0942	駿東郡長泉町土篤57-1	0559-88-1450	0559-88-1783
	21H17	県立 島田工業高	427-0006	島田市阿知ヶ谷201	0547-37-4194	0547-37-1177
	21H18	県立 東海大付属翔洋高	424-0902	清水市折戸3-20-1	0543-34-0726	0543-34-0827
	21H19	清水西高	424-8637	清水市青葉町5-1	0543-52-2225	0543-54-5604
	21H20	県立 棦原高	421-0422	榛原郡榛原町静波850	0548-22-0380	0548-22-6557
	21H21	県立 庵原高	421-3203	庵原郡庵原町蒲原5300-5	0543-88-2155	0543-88-3377
	21H22	県立 吉田高	421-0303	榛原郡吉田町2130	0548-32-1241	0548-32-7831
	21H23	県立 相良高	421-0596	榛原郡相良町津波1700-3	0548-52-1133	0548-52-1135
	21H24	市立 清水市立商業高	424-8752	清水市桜ヶ丘町7-15	0543-53-5388	0543-54-1466
	21H25	常葉学園橘中高	420-0911	静岡市瀬名2-1-1	054-261-2256	054-264-3005
	21H26	県立 清水東高	424-8550	静岡市清水秋吉町5-10	0543-66-7030	0543-66-7685
	21H27	県立 静岡中央高	420-8502	静岡市城北2-29-1	054-209-2431	054-209-2278
	21H28	私立 静岡女子高	422-8076	静岡市八幡3-6-1	054-285-2274	054-282-2757
	21H29	私立 藤枝順心高	426-0067	藤枝市前島2-3-1	054-635-1311	054-635-6119

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X番号
愛知県 24校	22H01	愛 知 高	464-8520	名古屋市千種区光ヶ丘2丁目11番41号	052-721-1521	052-723-2254
	22H02	愛知工業大学名電高	467-0808	名古屋市千種区若水3丁目2番12号	052-842-3171	052-859-5070
	22H03	弥 富 高	498-0048	海部郡弥富町稻吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
	22H04	愛 知 女 子 高	451	名古屋市西区新道1丁目23番15号	052-571-8422	052-561-0713
	22H05	東 海 学 園 高	468-0014	名古屋市天白区中平2丁目901番地	052-801-6222	052-804-0647
	22H06	東 海 高	461-0003	名古屋市東区筒井1-2-35	052-936-5112	052-936-5195
	22H07	東 邦 高	465-8516	名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地	052-782-1171	052-782-7151
	22H08	県立 金 城 学 院 高	461	名古屋市東区白壁4-64	052-931-6236	
	22H09	安 城 東 高	446	安城市北山崎町大土塚10	0566-74-1231	
	22H10	三 河 高	444-0005	岡崎市岡町字原山12-10	0564-48-5211	0564-48-5300
	22H11	県立 桜 丘 高	440	豊橋市南牛川2丁目1番の11	0532-61-6421	0532-63-9278
	22H12	県立 衣 台 高	471	豊田市太平町平山5番地	0565-33-1080	
	22H13	県立 西 尾 東 高	445	西尾市小島町大郷1-4	0563-56-1911	0563-54-6961
	22H14	岡 崎 東 高	444-3524	岡崎市竜泉寺町字後山27番地	0564-52-8911	0564-55-9410
	22H15	名 古 屋 工 業 高	466	名古屋市昭和区円上町22-38	052-871-2681	052-881-0761
	22H16	中京女子大学附属高	461	名古屋市東区大幸南2丁目1番10号	052-723-0851	052-723-1744
	22H17	市立 向 阳 高	466	名古屋市昭和区広池町47番地	052-841-7138	052-853-2453
	22H18	県立 豊 橋 南 高	441	豊橋市南清水町元町450番地	0532-25-1476	0532-25-4887
	22H19	県立 岡 崎 西 高	444	岡崎市日名南町7番	0564-25-0751	0564-25-9201
	22H20	県立 岡 崎 高	444-0864	岡崎市明大寺町伝場1	0564-51-0202	0564-55-9422
	22H21	県立 岡 崎 北 高	444	岡崎市石神17-1	0564-22-2536	0564-25-9231
	22H22	名 古 屋 学 院 高	461	名古屋市東区砂田橋2-1-58	052-721-5271	052-711-6480
	22H23	滝 高	483	江南市大字東野字神上47-1	0587-56-2127	0587-56-1732
	22H24	安 城 学 園 高	446-8635	安城市小堤町4-25	0566-76-5105	0566-72-2808
三重県 2校	23H01	三 重 高	515-8533	松阪市久保町1232番地	0598-29-2959	0598-29-6944
	23H04	県立 四 日 市 四 鄉 高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
	23H05					
岐阜県 5校	24H01	聖マリア女学院高	501-2565	岐阜市福富201	0582-29-1102	0582-29-3029
	24H02	県立 高 山 西 高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
	24H03	大 垣 西 高	503-8520	大垣市中曾根町字大畔147番地1	0584-91-5611	0584-91-9967
	24H04	専 門 部	506-0059	高山市林町353 高山西高内	0577-32-2590	0577-33-9911
	24H05	県立 可 児 高	509-0241	可児市坂戸987-2	0574-62-1000	0574-63-6759
滋賀県 13校	25H01	県立 大 津 商 業 高	520-0037	大津市御陵町2-1	077-524-4284	077-526-1802
	25H02	市立 大 津 高	520-0802	大津市馬場1丁目1番1号	077-523-0386	077-526-1772
	25H03	県立 栗 東 高	520-3016	栗太郡栗東町小野618	077-553-3350	077-554-1537
	25H04	県立 守 山 女 子 高	524-0041	守山市勝部町962番地	077-582-2019	077-583-2829
	25H05	県立 甲 南 高	520-33	甲賀郡甲南町寺庄427	0748-86-4145	0748-86-4983
	25H06	県立 八 幡 商 業 高	523-0895	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2072	0748-32-4052
	25H07	愛 知 高	529-13	愛知郡愛知川町102	0749-42-2150	0749-42-6172
	25H08	県立 伊 吹 高	521-0226	坂田郡山東町朝日302番地	0749-55-2350	0749-55-2778
	25H09	県立 長 浜 北 星 高	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370	0749-65-1344
	25H10	県立 虎 姫 高	529-0112	東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055	0749-73-2967
	25H11	県立 北 大 津 高	520-0246	大津市仰木の里1丁目23-1	075-573-5881	077-573-7076
	25H12	県立 草 津 東 高	525-0025	草津市西渋川2-8-65	075-564-4681	077-562-1601
	25H13	県立 八 日 市 南 高	572-0032	東近江市春日町1-15	0748-22-1513	0748-23-2151
京都府 9校	26H01	同 志 社 高	606-8558	京都市左京区岩倉大鷺町89	075-781-7121	075-781-7124
	26H02	同 志 社 女 子 高	602-0893	京都市上京区今出川通寺町西入ル	075-251-4305	075-251-4308

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
大阪府 18校	26H03	福知山商業高	620	福知山市宇堀水内	0773-22-6224	
	26H04	市立 洛陽工業高	601-8467	京都市南区唐橋大宮尻町22	075-691-3161	075-682-5668
	26H05	市立 紫野高	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町22	075-491-0221	075-492-0968
	26H06	府立 木津高	619-0214	相楽郡木津町字木津内田山34	0774-72-0031	0774-72-0032
	26H07	府立 菅道高	611-0011	宇治市五ヶ庄雲峰4-1	0774-33-1691	0774-33-1691
	26H08	府立 府立工業高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
	26H09	府立 朱雀高	604	京都市中京区西ノ京式部町1	075-841-0127	075-841-0646
	27H01	府立 和泉工業高	594-0082	和泉市富秋町33	0725-41-1250	0725-45-8985
	27H02	大阪高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3719
兵庫県 17校	27H03	大阪工業大学高	535-0002	大阪市旭区大宮5丁目16番1号	06-6954-4462	06-6953-9497
	27H04	大阪女子高	545-0002	大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8-19	06-6719-2801	06-6714-0045
	27H05	関西大倉高	567-0052	茨木市室山2丁目14番1号	0726-43-6321	0726-43-8375
	27H06	市立 岸和田産業高	596-0045	岸和田市別所町541	0724-22-4861	0724-22-6111
	27H07	府立 久米田高	596-0822	岸和田市額原町	0724-43-6651	0724-43-0307
	27H08	此花学院高	544-0021	大阪市生野区勝山南2丁目6番38号	06-6716-0003	06-6716-0009
	27H09	帝塚山学院高	558-0053	大阪市住吉区帝塚山中3丁目10番51号	06-6672-1153	06-6672-1155
	27H10	星翔高	566-0022	摂津市三島3丁目5番36号	06-6381-0220	06-6383-4822
	27H11	府立 西野田工業高	553-0007	大阪市福島区大開2丁目17番62号	06-6461-0023	06-6461-3483
	27H12	初芝高	599-8114	堺市日置莊西町51	0722-85-0128	0722-86-8405
	27H13	桃山学院高	545-0011	大阪市阿倍野区昭和町3丁目1番64号	06-6621-1181	06-6629-6111
	27H14	府立 山本高	581-0831	八尾市山本町北1-1-44	0729-99-0552	0729-99-4374
	27H15	府立 工業高等専門学校	572-8572	寝屋川市幸町26番12号	0720-21-6401	0720-21-0134
	27H16	府立 岸和田高	596-0073	岸和田市岸城町10-1	0724-22-3691	0724-32-5266
	27H17	池島高	579-8064	東大阪市池島町6-3-9	0729-87-3302	0729-82-3134
	27H18	府立 堺東高	690-0113	堺市晴美台1-1-2	0722-91-5510	0722-91-6097
奈良県 6校	28H01	滝川高	654-0007	神戸市須磨区宝田町2丁目1-1	078-732-1625	078-732-7391
	28H02	須磨ノ浦女子高	654-0052	加古川市平岡町新在家2301	078-735-7111	078-735-7130
	28H03	甲南高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
	28H04	市立 琴丘高	670-0052	姫路市今宿668	0792-92-4925	0792-92-4925
	28H05	県立 星陵高	655-0038	神戸市垂水区星陵台4丁目3-2	078-707-6565	078-707-6589
	28H06	夙川学院高	662-0027	西宮市神園町2-20	0798-74-5061	0798-74-1596
	28H07	松蔭高	657-0805	神戸市灘区青谷3丁目4番47号	078-861-1105	078-861-1887
	28H08	甲南女子高	658-0001	神戸市東灘区森北5丁目6-1	078-411-2531	078-411-2535
	28H09	神戸山手女子高	650-0006	神戸市中央区諫訪山町6番1号	078-341-6050	078-341-1882
	28H10	県立 舞子高	655-0004	神戸市垂水区学が丘3丁目2番	078-783-5151	078-783-5152
	28H11	県立 姫路東高	670-0012	姫路市本町68	0792-85-1166	0792-85-1167
	28H12	県立 夢野台高	653-0801	神戸市長田区房王寺町2丁目1	078-691-1546	078-691-1548
	28H13	須磨学園高	654-0009	神戸市須磨区板宿町3-15-14	078-732-1968	078-732-6129
	28H14	滝川第二高	651-2276	神戸市西区平野町下村字平瀬436-1	078-961-2381	078-961-4591
	28H15	県立 西宮甲山高	662-0004	西宮鷺林寺宇剣谷10番地	0798-74-2460	0798-74-2461
	28H16	神戸星城高	654-0113	神戸市須磨区緑が丘1丁目12-1	078-741-1860	078-741-6304
	28H17	三田西陵高	669-13	三田市ゆりのき台3-4	0795-65-5287	0795-65-5289
	28H18					

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	29H07	私立 帝 琢 山 高	631-0034	奈良市学園南3-1-3	0742-41-4685	0742-48-9811
和歌山県 5校	30H01	県立 貴 志 川 高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
	30H02	県立 田 辺 商 業 高	646-0023	田辺市文里2丁目33-12	0739-22-2550	0739-22-2558
	30H03	県立 和 歌 山 高	649-6264	和歌山市新庄188	0734-77-3933	0734-77-4928
	30H04	県立 向 阳 高	640-8323	和歌山市太田127	073-471-0621	073-471-0621
	30H05	県立 海 南 高	642-0022	海南市大野中651	073-482-3363	073-484-2346
鳥取県 6校	31H01	米 子 北 高	683-0804	米子市米原6丁目14番1号	0859-22-9371	0859-32-6838
	31H02	県立 倉 吉 農 業 高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
	31H03	県立 倉 吉 東 高	682-0812	倉吉市下田中町801番地	0858-22-5205	0858-22-5206
	31H04	県立 鳥 取 商 業 高	680-0941	鳥取市湖山町北2丁目401番地	0857-28-0156	0857-28-0157
	31H05	県立 鳥 取 東 高	680-0061	鳥取市立川町5丁目210	0857-22-8495	0857-22-8497
	31H06	県立 米 子 南 高	683-0033	米子市長砂町216	0859-33-1461	0859-33-1462
	31H07					
島根県 3校	32H01	県立 松 江 東 高	690-0823	松江市西川津町字宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
	32H02	県立 安 来 高	692	安来市佐久保町115	0854-22-2840	0854-22-3612
	32H03	県立 出 雲 工 業 高	693-0022	出雲市上塙治町420	0853-21-3131	0853-21-7543
岡山県 7校	33H01	岡山理大学附属高	700-0005	岡山市理大町1-1	086-256-8521	086-255-8512
	33H02	岡 山 県 共 生 高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
	33H03	高 梁 曜 新 高	716	高梁市内山下150番地	0866-22-3466	
	33H04	県立 備 前 東 高	705-8511	備前市麻宇郡1160	0869-67-0011	0869-67-0113
	33H05	県立 倉 敷 天 城 高	710-0132	倉敷市藤戸町天城269	086-428-1251	086-428-1253
	33H06	県立 岡 山 一 宮 高	701-2102	岡山市榆津221	086-284-2241	086-284-2243
	33H07	県立 備 前 緑 阳 高	705-8507	備前市西片上91-1	0869-63-0315	0869-64-4260
広島県 28校	34H01	尾 道 高	722-0022	尾道市栗原町1268-1	0848-23-2311	0848-24-2091
	34H02	国 立 広 島 大 学 附 属 福 山 高	721-8551	福山市春日町吉田	0849-41-8350	0849-41-8356
	34H03	市 立 呉 高	737-0003	吳市阿賀中央5丁目13番56号	0823-72-5577	0823-74-3501
	34H05	県 立 呉 宫 原 高	737-0024	吳市宮原3丁目1番1号	0823-21-9306	0823-21-9308
	34H06	県 立 海 田 高	736-0051	安芸郡海田町つくも町1番60号	082-822-3030	082-822-3800
	34H07	県 立 加 計 高	731-35	山県郡加計町加計3780-1	08262-2-0488	08262-2-1691
	34H08	山 阳 高	733-8551	広島市西区観音新町4丁目12-5	082-232-9156	082-232-2497
	34H09	修 道 高	730-0055	広島市中区南千田西町8-1	082-241-8291	082-249-0870
	34H11	県 立 広 島 工 業 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-75	082-254-1421	082-253-3407
	34H12	国 立 広 島 大 学 附 属 高	734-0005	広島市南区翠1丁目1-1	082-251-9857	082-252-0725
	34H13	県 立 広 島 皆 実 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-76	082-251-6441	082-251-6442
	34H14	県 立 可 部 高	731-0221	広島市安佐北区可部3丁目15-26	082-814-2032	082-814-2140
	34H15	山 阳 女 子 高	738-8504	廿日市市佐方本町1-1	0829-32-2222	0829-32-7681
	34H16	県 立 因 島 北 高	722-21	因島市重井町長浜5574	08452-4-1281	
	34H20	広 島 桜 が 丘 高	732-0048	広島市東区山根町36-1	082-262-0128	082-263-9228
	34H21					
	34H22	県 立 賀 茂 高	739-0043	東広島市西条町西本町16-22	0824-23-2559	0824-22-2792
	34H23	県 立 福 山 葦 阳 高	720	福山市久松台3丁目1-1	0849-23-0400	
	34H24	広 島 工 業 大 学 付 属 高	731-51	広島市佐伯区三宅1丁目6-25	0829-21-2137	0829-24-3020
	34H25	県 立 佐 伯 高	738-0222	廿日市市津田850	0829-72-1185	0829-72-0424
	34H26	県 立 自 疆 高	720-24	福山市加茂市大字下加茂6	0849-72-3232	0849-74-3317
	34H27	県 立 千 代 田 高	731-1503	山県郡北広島町有間600-1	0826-72-3121	0826-72-6884
	34H28	県 立 吉 田 高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
	34H29	広 島 女 学 院 高	730-0014	広島市中区上幟町11-32	082-228-4131	082-227-5376
	34H95	県 立 甘 日 市 西 高	738	廿日市市阿品台西6-1	0829-39-1571	

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	34H96	近畿大学附属福山高	720	福山市佐波町389	0849-51-2695	0849-52-3581
	34H97	福山暁の星女子高	721	福山市西深津町3丁目4番1号	0849-22-1682	0849-25-1533
	34H98	英 数 学 館 高	721	福山市引野町980-1	0849-41-4115	0849-41-4118
	34H99	広島女子商業高	732	広島市南区段原町11-5	082-261-8161	
山口県 9校	35H01	久 賀 高	742-2301	大島郡久賀町第4851番地の2	0820-72-0024	0820-72-0096
	35H02	県立 下 関 西 高	751	下関市後田町4丁目10番1号	0832-22-0892	0832-22-0892
	35H03	県立 聖 光 高	743-0011	光市光井9丁目22-1	0833-72-1187	0833-72-1308
	35H04	田 布 施 工 業 高	742-1512	熊毛郡田布施町麻郷奥	0820-52-2306	0820-52-2269
	35H05	県立 田 布 施 農 業 高	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野195番地	0820-52-2157	0820-53-0036
	35H06	県立 西 京 高	753-0851	山口市大字黒川2580番地の1	0839-23-8508	0839-32-0721
	35H07	県立 華 陵 高	744-0024	下松市朱武上屋町下217-2	0833-44-1285	0833-41-5494
	35H08	県立 柳 井 高	742-1352	柳井市大字伊保庄田布路木2658	0820-22-5533	0820-22-5534
	35H09	県立 岩 国 工 業 高	741	岩国市錦見2丁目4-85	0827-41-1105	0827-41-1105
	35H10					
香川県 5校	36H01	高 松 西 高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
	36H02	県立 觀 音 寺 第 一 高	768-0060	観音寺市観音寺町甲648-1	0875-25-4155	0875-25-4145
	36H03	県立 尽 誠 学 園 高	765	善通寺市生野町855番地	0877-62-1515	0877-63-3860
	36H04	高 松 南 高	761	高松市一宮町531	0878-85-1131	0878-85-1133
	36H05	県立 高 松 東 高	761-0322	高松市前田東町690-1	0878-47-6221	0878-47-6223
徳島県 5校	37H01	県立 徳 島 工 業 高	770-0006	徳島市北矢三町2丁目1番1号	088-631-4185	088-631-1110
	37H02	県立 鳴 門 高	772	鳴門市撫養町斎田字岩崎135-1	0886-85-3217	0886-85-0074
	37H03	県立 徳 島 東 工 業 高	770-0864	徳島市大和町2丁目2-15	088-653-3274	088-653-3296
	37H04	県立 生 光 学 園	771	徳島市応神町中原38	0886-41-1032	0886-41-4075
	37H05	辻 高	779-48	三好郡井川町御領田61番地1	0883-78-2331	0883-78-2269
愛媛県	38H01					
	38H02					
高知県 4校	39H01	高 知 小 津 高	780	高知市城北町1-14	0888-22-5270	
	39H02	県立 高 知 高	780	高知市北端町100	0888-40-1111	0888-44-7578
	39H03	構 原 高	785-0610	高岡郡構原町126	0889-65-0181	0889-65-0172
	39H04	県立 高 知 農 業 高	783-0024	南国市東崎957-1	088-863-3155	088-863-6209
福岡県 5校	40H01	県立 柏 陵 高	811-1353	福岡市南区柏原4丁目47番1号	092-566-3232	092-565-2109
	40H02	県立 折 尾 高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	093-691-3561	093-691-9529
	40H03	県立 門 司 北 高	800-0102	北九州市門司区猿喰1462-2	093-481-4673	093-481-5768
	40H04	県立 慶 成 高	800-0236	北九州市小倉北区皿山町15番1	093-561-1331	093-561-4844
	40H05	大 牟 田 高	837	大牟田市大字草木852	0944-53-5011	0944-53-8251
	40H06					
	40H07					
佐賀県 3校	41H01	高 志 館 高	840-0201	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	0952-51-2008
	41H02	県立 巍 木 高	849-3193	東松浦郡巌木町下巌木727	0955-63-2535	0955-51-5021
	41H03	県立 佐 賀 東 高	840-0016	南佐賀3-11-15	0952-24-0141	0952-25-7040
長崎県 11校	42H01	県立 大 村 工 業 高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
	42H02	県立 謙 早 東 高	854-0205	北高来郡森山町杉谷名317	0957-36-1010	0957-36-1010
	42H03	県立 長 崎 南 商 業 高	851-0242	長崎市北浦町2885-1	095-836-3021	095-836-2719
	42H04	県立 鎮 西 学 院	854	諫早市栄田町1057	0957-25-1234	0957-25-1237
	42H05	佐 世 保 工 業 高	857-01	佐世保市瀬戸越3丁目3-30	0956-49-5684	0956-49-8072
	42H06	県立 佐 世 保 実 業 高	858	佐世保市母ヶ浦町8881	0956-48-8881	0956-48-8152
	42H07	玉 木 女 子 高	850-0822	長崎市愛宕1-21-6	0958-26-6321	0958-28-6837
	42H08	佐 世 保 南 高	857-1151	佐世保市日字町2525	0956-31-5291	0956-33-4103
	42H09	県立 長 崎 北 陽 台 高	851-2127	西波杵郡長与町高田郷3672	095-883-6844	095-887-2146

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	42H10	長崎女子商業高	852-8544	長崎市栄町2番10	095-824-2701	095-820-5284
	42H11	長崎南山高		長崎市上野町25-1	095-844-1572	095-846-1821
熊本県 7校	43H01	県立 第二高	862-0901	熊本市東町3-13-1	096-368-4125	096-365-5636
	43H02	有明高	864	荒尾市増永2200番地	0968-63-0958	0968-64-1366
	43H03	東海大学付属第二高	862-0970	熊本市渡鹿9-1-1	096-382-1146	096-385-2161
	43H04	私立 熊本フェイス学院	861-4106	熊本市南高江町7丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044
	43H05	県立 水川高	869-4201	八代郡鏡町大字鏡村937	0965-52-3611	0965-52-5161
	43H06	県立 荒尾高	864-0041	荒尾市荒尾2620-1	0968-63-0384	0968-63-0385
	43H07	県立 多良木高	868-0501	球磨郡多良木町大字多良木1212	0966-42-2102	0966-49-1022
大分県 19校	44H01	別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6098	0977-67-8255
	44H02	明豊高	874-0903	別府市野口原3088番地	0977-27-3311	0977-27-3300
	44H03	大分櫻丘高				
	44H04	県立 別府鶴見丘高	874	別府市鶴見字横打4433-2	0977-21-0118	
	44H05	大分電波高	870	大分市新貝11-40	0975-58-3734	
	44H06	県立 別府羽室台高				
	44H07	県立 佐伯豊南高				
	44H08	大分東明高	870-8658	大分市千代町2丁目4-4	0975-35-0201	0975-33-2660
	44H09	県立 大分豊府高	870	大分市大字羽屋600番1	0975-46-2222	
	44H10	大分高	870-01	大分市横尾字大丸尾	0975-51-1101	
	44H11	県立 大分上野台高	870	大分市上野丘2丁目10番1号	0975-43-6249	
	44H12	県立 中津工業高	871	中津市上如水145-3	0979-32-2222	0979-32-2224
	44H13	別府大学附属高	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-3326	0977-66-9688
	44H14	県立 中津商業高	871-0008	中津市大塚1番地	0979-22-0300	0979-22-3238
	44H16	県立 大分商業高	870-0931	大分市西浜4番2号	097-558-2611	097-552-8120
	44H17	県立 竹田高	878-0013	竹田市大字竹田2642	0974-63-3401	0974-63-1865
	44H18	県立 大分鶴崎高	870-0104	大分市南鶴崎3-5-1	097-527-2166	097-521-5443
	44H19	県立 大分西高	870-8560	大分市新春日2-1-1	097-543-1551	097-543-1553
宮崎県 2校	45H01	県立 都城泉ヶ丘高				
	45H02	県立 都城西高				
	45H03					
	45H04					
鹿児島県 6校	46H01	鹿児島純心女子高	890	鹿児島市鴨池町1847	0992-54-4121	0992-52-7688
	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
	46H03	鹿児島実業高	891-0181	鹿児島市五ヶ所府町3591	099-286-1313	099-281-0531
	46H04	県立 甲陵高	891-1105	日置郡都山町み郡山100	099-298-2458	099-298-2474
	46H05	鹿児島修学館高	890-0023	鹿児島市永吉2-9-1	099-258-2211	099-258-2213
	46H06	鹿児島城西高		日置郡伊集院町清藤1938	099-273-1234	099-273-1651
沖縄県 5校	47H01	県立 豊見城南高	901-0223	豊見城村字翁長520	098-850-1950	098-850-9239
	47H02	県立 宜野湾高	901-2224	宜野湾市字真志喜2丁目25番1号	098-897-1020	098-897-3045
	47H03	県立 中部商業高	901-2214	宜野湾市字我如古2丁目2番1号	098-898-4888	098-898-4808
	47H04	県立 前原高	904-22	具志川市字田湯1827番地	098-973-3249	098-974-4951
	47H05	県立 鏡が丘養護学校	901-2101	浦添市当山750	098-877-4940	098-877-9958

○都道府県数 47 (内46都道府県 高体連に加盟 平成18年1月現在)

○学 校 数 477校

○新規加盟校の指定学校番号は、各都道府県で指定学校番号を付記し本専門部へ通知すること。

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 登録状況一覧表

平成17年10月現在

番号	都道府県名	単独校		複数校	女子				男子				全 体			総合計	
		女子	男子		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年		
1	北海道		2	10	30	34	17	81	73	28	49	150	103	62	66	231	
2	青森	1	1	9	27	20	27	74	45	44	32	121	72	64	59	195	
3	岩手	1	2	2	8	13	13	34	35	14	17	66	43	27	30	100	
4	宮城		2	3	5	6	5	16	45	21	15	81	50	27	20	97	
5	秋田	2	2	2	18	8	7	33	14	14	9	37	32	22	16	70	
6	山形	2		3	5	12	20	37	10	12	17	39	15	24	37	76	
7	福島			3	15	8	10	33	18	17	10	45	33	25	20	78	
8	茨城			1	2	5	3	10	1	5	1	7	3	10	4	17	
9	栃木	1		2	16	7	6	29	9	6	2	17	25	13	8	46	
10	群馬	2	4	2	25	25	10	60	32	13	15	60	57	38	25	120	
11	埼玉		1	7	60	26	24	110	48	36	28	112	108	62	52	222	
12	千葉	1		12	40	33	20	93	44	42	30	116	84	75	50	209	
13	東京	4	8	7	28	38	15	81	78	78	39	195	106	116	54	276	
14	神奈川			6	5	29	21	15	65	89	50	47	186	118	71	62	251
15	山梨	1		1		1	5	6	3	1	5	9	3	2	10	15	
16	新潟	1	2	3	10	6		16	29	25	12	66	39	31	12	82	
17	長野	1		3	2	7	6	15	8	12	11	31	10	19	17	46	
18	富山			4	10	4	13	27	12	8	11	31	22	12	24	58	
19	石川			2	8	3	3	14	15	7	7	29	23	10	10	43	
20	福井			3	17	14	5	36	27	14	6	47	44	28	11	83	
21	静岡	4	3	10	25	22	17	64	58	61	56	175	83	83	73	239	
22	愛知	1	1	8	29	23	20	72	104	49	40	193	133	72	60	265	
23	三重			2	7	3	2	12	4	11	10	25	11	14	12	37	
24	岐阜	1		3	4	12	9	25	1	15	8	24	5	27	17	49	
25	滋賀	1		6	11	24	13	48	29	21	11	61	40	45	24	109	
26	京都	1	1	5	36	13	21	70	40	37	32	109	76	50	53	179	
27	大阪	2	5	6	25	23	18	66	51	41	25	117	76	64	43	183	
28	兵庫	5	2	7	63	35	46	144	51	42	27	120	114	77	73	264	
29	奈良		2	3	12	18	5	35	31	19	15	65	43	37	20	100	
30	和歌山			3	7	6	9	22	15	10	2	27	22	16	11	49	
31	鳥取		2	4	14	14	12	40	12	12	4	28	26	26	16	68	
32	島根	1	1			6	8	14		8	6	14		14	14	28	
33	岡山			1	4	13	7	4	24	18	9	10	37	31	16	14	61
34	広島	1	5	9	26	24	13	63	62	57	25	144	88	81	38	207	
35	山口	1	2	3	8	14	13	35	16	11	20	47	24	25	33	82	
36	香川			3	11	9	3	23	23	20	10	53	34	29	13	76	
37	徳島		1	1		1		1	9	8	2	19	9	9	2	20	
38	愛媛																
39	高知			2	1	7	5	13	11	1	6	18	12	8	11	31	
40	福岡			4	6	8	2	16	12	16	10	38	18	24	12	54	
41	佐賀		1	2	12	6	12	30	20	9	8	37	32	15	20	67	
42	長崎	1		3	8	7	5	20	12	18	3	33	20	25	8	53	
43	熊本	1		5	13	12	10	35	30	25	14	69	43	37	24	104	
44	大分	3		3	11	4	12	27	9	4	5	18	20	8	17	45	
45	宮崎																
46	鹿児島	1	1				1	1	5	7		12	5	7	1	13	
47	沖縄	1		2	6		5	11	13	9	3	25	19	9	8	36	
	合 計	42	58	182	703	589	489	1781	1271	967	715	2953	1974	1556	1204	4734	

ヨーロッパグランプリ・ブルガリア大会報告

吉田高等学校 金川 真二

今年度は、世界ジュニア大会がない年にあたり、ブルガリア・ソフィアで開催される、ヨーロッパグランプリ・ブルガリア大会への派遣となった。

選 手 男子	橋本 千秋 大野 貴慎 矢島 博 福田 圭宏	東海大学相模高等学校 大分東明高等学校 埼玉県立宮代高等学校 奈良学園高等学校
女子	菅 真依子 西川 祐未 新田 智訪 濱田 紘代	大分東明高等学校 帯広三条高等学校 富山県立泊高等学校 和歌山県立和歌山高等学校
監 督	金川 真二	広島県立吉田高等学校
男子コーチ	新海 輝夫	愛知産業大学三河高等学校
女子コーチ	杉浦 成利	富山県立泊高等学校



選手選考は選抜上位18名と5月に行われた選考会で決定をした。

選手決定後大会前に世界選手権メンバーとともに合宿を行い、7月3日よりブルガリアへ向かった。

- 7月 2日 新東京国際（成田）空港傍のホテル集合
- 3日 新東京国際（成田）空港 出発 ミュンヘン乗り換え ソフィア着
- 4日 練習会場にて練習 ID用写真撮影
- 5日 公式練習・弓具検査 監督会議 開会式

6日 予選ラウンド 長距離 AM 女子70m 男子90m
 PM 女子60m 男子70m
 7日 短距離 AM 男女50m
 PM 男女30m
 8日 個人決勝ラウンド
 9日 団体決勝ラウンド 表彰式・閉会式 パンケット
 10日 ソフィア発 ミュンヘン空港乗り換え
 11日 新東京国際(成田) 空港着 解散

参加者 女子 16ヶ国 51名 団体12チーム
 男子 20ヶ国 65名 団体13チーム

この大会はヨーロッパで開催される大会ではあるが、日本の他中国・アメリカの参加もあった。また、イタリアのフランジーリ選手を含め6月の世界選手権に出場した選手もあり、生徒たちにとってはこの上ない好条件で出場できることになった。

予選は途中雷雨などがあり不安定な天候ではあったが、濱田選手が1312点の日本高校新記録を出し、また、自己記録を出す選手もいて、いいムードで終わることができた。ただ、やはり1300点を超えないところ(女子16名・男子4名)上位には入れず、力の差を感じた。

個人決勝では、男女とも健闘はしたものとの3回戦すべて敗退した。
 団体決勝での女子は、一回戦で地元のブルガリアに勝ち、2回戦で予選3位のグルジア負けたものの5位に入り予選順位を上回ることができた。

男子は、1回戦で244点でペラルーシに2点差で競り勝ったのをきっかけに、強豪の中国(予選2位)・イタリア(予選3位)と下し、決勝まで進んだ。オランダには破れたものの、終始安定した射を続けみごと銀メダルを獲得をすることができた。また、団体決勝マッチトータル27×2の高校記録(479点)を作ることができた。

この大会は、選手にとって怖いもの知らずで臨めた大会ではなかつたかと思う。相手は経験も年齢も上の選手がほとんどであり、当然緊張はしていたと思うが気分的には楽にできた面もあったと思う。結果として、男子銀メダル・高校記録2個の実績を残すことができた。今後の活躍におおいに期待をもてる大会であった。



成績

予選 女子

順位	選手名	国名	70m	60m	50m	30m	合計
1位	ZHANG NINA	CHN	330	335	330	350	1345
2位	KOVAL VICTORIA	UKR	334	331	327	344	1336

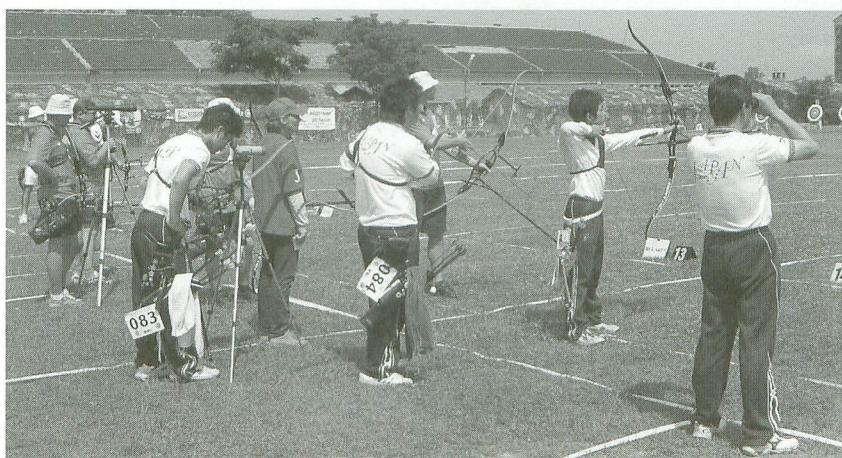
3位	NICHOLS JENNIFER	USA	328	334	325	346	1333
10位	濱田 紘代		317	326	325	344	1312
28位	新田 智訪		292	321	311	334	1258
36位	菅 真依子		294	298	313	330	1235
41位	西川 祐未		280	297	306	337	1220

団体

1位	CHINA	4000 (1345・1330・1325)
2位	UKRAINE	3975 (1336・1322・1317)
3位	GEORGIA	3892 (1308・1301・1283)
6位	日本	3805 (1312・1258・1235)

予選 男子

順位	選手名	国名	70m	60m	50m	30m	合計
1位	FRANGILLI MICHELE	ITA	313	331	338	349	1331
2位	CUSTERS PIETER	NED	314	338	326	349	1327
3位	CHEN HONGYUAN	CHN	303	330	334	351	1318
15位	福田 圭宏		293	324	318	342	1277
23位	橋本 千秋		294	315	315	345	1269



43位	大野 貴慎	280	311	310	331	1232
44位	矢島 博	278	301	312	340	1231

団体

1位	NETHERLANDN	3931 (1327・1217・1287)
2位	CHINA	3892 (1318・1298・1276)
3位	ITALIA	3883 (1331・1287・1265)
10位	日本	3778 (1277・1269・1232)

決勝	女子個人	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位	TONETTA (ITA)	不戦勝	166	168	108	108	106

2位	ZHANG (CHN)	不戦勝	161	169	109	106	105
3位	ESEBUA (GEO)	159	153	151	104	101	111
4位	HUI (CHI)	不戦勝	166	154	113	103	107
12位	濱田 紘代	不戦勝	163	153			
16位	菅 真依子	149	152	139			
18位	新田 智訪	143	157				
40位	西川 祐未	140					

決勝	男子個人	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位	FRANGILLI(ITA)	160	171	165	109	111	113
2位	CUSTERS (NED)	152	166	164	110	111	108
3位	CHEN W (GHI)	163	158	162	114	106	108
4位	CHEN H (CHI)	154	159	159	110	95	106
11位	福田 圭宏	151	161	158			
31位	橋本 千秋	156	147				
41位	矢島 博	149					
53位	大野 貴慎	143					



決勝	女子団体	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位	UKURAINNE	不戦勝	230	246	236
2位	GREAT BURITAIN	不戦勝	227	235	230
3位	CHINA	不戦勝	228	230	237
4位	GEORGIA	不戦勝	236	236	230
5位	日本	217	228		

決勝	男子団体	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位	NETHERLANDS	不戦勝	246	248	245
2位	日本	244	238	243	236
3位	UKURAINNE	245	241	242	236
4位	ITALY	不戦勝	239	230	230

選手の感想より

女子 濱田 紘代

私はブルガリアで本当にたくさんのこと学べたと思います。まず、試合のやり方、弓具のセッティング、射型には驚かされました。日本にいると当たり前のことですが、外国に行くとそれが当たり前でない。日本のトップレベルの人達のセッティング人や射型を見て勉強するだけでなく、もっと外国の選手のセッティングや射型を研究して取り入れていけば『アーチェリー』が楽しくなるのではないかと私は思いました。あと、食事の量にも驚かされました。



試合にはたくさんの国の人達が来ましたが、皆とても優しくしてくれて、ブルガリアにいる間は本当に楽しかったです。何もかもが初めてだらけで、すごくよい経験になりました。この経験を今後の活動に役立てていこうと思います。

管 真依子

ジュニアの代表となって、ブルガリアに行って国際大会を経験したことは、私にとってすごく貴重な体験でした。9日間をブルガリアで生活してみて、食べ物が違ったり、言葉が通じなかつたり、自分が今まで生活してきた環境と違う中で、体調を整えたり、モチベーションを高めたりしていくのはとても大変なことだと思ったし、世界を経験して、自分の足りないところや、まだまだ努力をしていかないといけないことなど、すごく自分にとってプラスなことをたくさん学ぶことができました。誰もが経験出来る訳でも無いし、そこで得たものに誇りと自信を持って、もっともっと強い選手になっていきたいです。

新田 智訪

私にとってこの大会は、とてもよい経験となり印象に残る大会でした。初めての海外・国際大会ということで不安も多少あったけど、それ以上にいろいろな国の上手な選手と一緒に試合ができたり、大きな大会で自分の実力がどれだけ発揮できるのか試せる絶好のチャンスだと思い、とてもわくわくした気持ちで大会に臨むことができました。試合の内容は各距離のスコアがよかつたりマイナスだったり、個人戦では6本以上射ったりと、波乱に満ちた試合だったけど、今思うとても貴重な体験ができる本当にこの大会に出場できてよかったです。また、ブルガリアの文化に触れることができたり、他の国の選手たちとコミュニケーションがとれたり、ジュニアチームのメンバーとすごく仲良くなることができました。いろいろな場面で



自分を高めることができた気がします。この大会で学んだことをこれからも生かしていきたいです。

西川 祐未

日本を遠く離れたブルガリアの地で私が感じたことは、違う国々の人たちが同じ競技をするためにこの場所に立っているのだ、ということです。目や髪の色が違い、話す言葉が違っても、そこにいる人々はみな各自の目標を持ち、様々な気持ちを抱いて会場へと集まります。今までに見たことのない世界に日本との違いを感じ、レベルの高い選手を目の当たりにし、自分はまだまだちっぽけなところにいるんだなあと気づかされました。アーチェリーをしていなければ会うことのなかったような人たちに出会えて、同じ目的を狙っていること、言葉が通じなくても、間に笑顔があることに、私はスポーツの魅力の一つを感じました。

今回の遠征での自分のレベルが及ばずを感じた悔しさと、「国境を越えたスポーツ」という言葉の実感は私に大きな影響を与えました。悔しい思いは自分が次へ進むためのバネに、新たな発見は幅広い視野を持ち物事を取り組むことにして、この先の自分を成長させる大事な材料にしたいと思いました。

男子 福田 圭宏



バーの囲まれ、自分もしっかりと役目を果たすことができ、ヨーロッパの大舞台で銀メダルを獲れたことは本当に幸せです。

海外に行ったのは今回が初めてで、長時間の飛行機移動やパスポート管理、食事や日照時間（夜の9時でも明るい）の違いで物凄く疲れが溜まり、日本に帰った時は体重が4kgも減っていたり、しばらくの間時差に泣かされたりもしました。しかし、一生懸命に単語を繋いだ英語が通じたり外国人の人に日本語を教えたりと、海外でしか出来ない体験をしたり、ミケル・フランジェリイ、ヴィーツ・ヴァンアルテンら世界のトップレベルの選手を間近に見られる等、貴重な経験をすることも出来ました。

大学へ行っても再び世界の舞台に立ち数多くの経験をしたいと思うし、そのような選手になれるように、明確な目標を持って練習をして行きたいと思います。

橋本 千秋

今、海外遠征のヨーロッパグランプリ大会に参加できたことを振り返ると、思っていた以上に沢山の経験ができ、本当に意味のある事業でした。試合において、やるべき事はい

初めての海外遠征、日本とは違う環境での試合でしたが、過度の緊張はなく、しっかりと自分の力を出すことができたと思います。特に思い出深いのは団体戦で、改めてチームワークの大切さを学びました。1回戦の初め、先頭を30金で飾り、一気にチームの勢いに乗せてくれた大野君、冷静に毎エンド最終の3本を射ち、1点を争うゲームだった中国戦でも、しっかりと最後を決めてくれた橋本君、とにかくチームのムードをよくしてくれた矢島君、そんなメン

つもと変わらないのに、放送のアナウンスや役員からの指示はほとんど理解不能な言葉が使われ、何か特別な事をしなくてはいけないのだろうか？という想像を勝手にしてしまい、多くのことを考えさせられて、普段通りの自分のコントロールを難しくさせてしまったり、身長や体格、雰囲気や使っている弓など国内試合しか知らない自分としてはほとんどが規格外だったり、色々なことに新鮮さ、驚き、興味などを持たされて、その場に慣れるのが大変でした。そんな中で予選ラウンドではなかなかの点をうつ事が出来、団体戦ではうまくまとめることが出来て、自分を知る事や自信を持つ事などメンタル面での大きな成長を一気にしたと思います。

この遠征に参加して、多くの貴重な体験をし、多くのことを得られた事が最近の良い試合結果につながってきていると思います。これからもこの経験を活かしていきたいと思います。

大野 貴慎

今回ヨーロッパグランプリに参加してとてもたくさんの経験をしました。個人の力では、イタリアや中国などには負けているのに団体では、チームの勢いや、お互いを信頼することによって自分たちの力以上のものが出せると思います。

今回自分で世界レベルの高さを感じました。そして、今の自分の力はまだ低いですが、今回の大会で学んだことや経験したことこれから練習や試合などに生かしていき、もっと自分の力を上げてもっとたくさんの試合に出場していきたいです。

矢島 博

僕は中学の時にアーチェリーを始めました。身近なところにナショナルチームに入っていた先輩がいたので、日本代表に憧れています。高校生になって日本代表を意識し始めました。今回はJrナショナルチームとしてヨーロッパグランプリに行って色々なことを学びました。いつもと違う環境だったのでとてもワクワクしました。全国の先輩たちとともに仲良くなれて嬉しかったし楽しかったです。結果はボロボロだったので、次は世界ジュニアに行って勝ちたいです。そして、もっともっと上手くなってシニアの方でトップになつてオリンピックでメダルを狙いたいです。みんなをあつと驚かせたいです。



[インターハイ男子優勝校]

自主的活動と信頼関係でできた優勝

東海大学付属相模高等学校洋弓部

大会監督・顧問 高木正之



創部以来約40年の中で、特にこの5、6年先輩たちの積み重ねもあり全国でも戦えるようになりました。平成16年度、平成17年度は、全国総体男女団体で連続出場を果たし、全国選抜も同様で男女とも出場を果たしています。選手の中に熱意のあるものがでてきていて本人たちが努力してきているのが第一ではありますが、部員、先輩たち、保護者、ショップの人たち専門部の人たちや県協会の人たちなど多くの人たちの支えの下で今

今回の全国総体団体優勝ができたのだと考えこの場を借りて感謝を申し上げます。

本年のメンバーは16年度も全国総体、全国選抜や国体や全日本ターゲットや全日本室内に出場し、充分な経験をしてきて、実績をもつて3年生の橋本千秋と田畠隼剛を中心主力とするチームでその点大きな強みがありました。更に、2年生の矢作勇樹、永嶋勇亮が肉薄してくるという展開を得ました。この中で誰が出場しても戦える状態にすることできました。大会まではやれることをしっかりやって準備を充分にして力を発揮するようになることが大事だと考えました。個人戦も狙うことは可能でしたが団体戦の決勝を主とすることにし、予選ラウンドは1位でなくともよいと考えていました。その中で強い相手である菟道高校に勝ち優勝することができました。個人戦狙いではありませんでしたが、この中で個人戦決勝では同じ相手折尾高校の優勝者小野剛輝くんに負けるという形で橋本千秋が準優勝田畠隼剛が9位更には矢作勇樹が21位を得たというのは大きな収穫でした。団体戦途中交代してくれその後は応援を積極的にしてくれた永嶋勇亮、終始現場でのコーチ・マネージャーとして活躍してくれた中村竜也も大きく貢献しました。

試合に当たっては“攻めていこ



う” “選手・マネージャーに任せるから自分たちで判断してやってほしい” ということで出発しました。全体を盛り上げ緊張をほぐそうとする田畠を先鋒に2年生が続き、いつも冷静に落ち着いている橋本が締め、お互いにカバーしあうという展開にすることができました。更に、控えとマネージャーが支えるというよい信頼関係のなかで進行することができました。日ごろから自主的活動と信頼関係を構築してきていることが生きてくる結果になりました。

強くするのには練習量も必要ですがその点では神奈川県は恵まれているとはいえない。県立で練習できるところはありませんし、市立でけっこ高いところしかありません。90mまでしかも比較的遅い時間まで安く練習できる施設があればもっと可能性が出てくるのではないかと思います。情熱だけではできないこともあるということです。

試合後、相手の選手や監督さんからも更に多くの方から祝福をいただいたことが印象に残っています。全国の選手も加わって私を胴上げをしてくれたことも忘れられないよい思い出となりました。代表するような形でここに述べてきましたが、実際には高橋秀太郎教諭とともに顧問としてやってきました。監督として私が表に出るようになってしましましたが大きく支えてくれていたことを付記しておきます。

インターハイを振り返って

矢作 勇樹

私がアーチェリーを始めたのが東海大相模高校に入ってからでした。実質、一年半という短い期間でインターハイという大きな大会に出場することができ、嬉しさと不安でいっぱいでした。今の自分の力はインターハイでどのくらい通用するのか、緊張せずいつものように射てるのか、とたくさんの不安が出てきました。大会当日、緊張してしまい最初いつものように射つことが出来ませんでした。でも、チームの皆が励ましてくれたおかげで、気持ちが楽になり、個人戦では予選通過。決勝ラウンドでは、2回戦で負けてしまったが、納得が出来たいい試合だったと思います。

団体戦では予選1位で通過し、このまま優勝するぞと心に決めました。団体戦は、今まで経験したことがない声援を感じながら、遂に決勝戦。最後の第3エンドで、最後の1射を中心から大きく外してしまい落ち込んでいる私をチームのメンバーが「大丈夫だから」と励まし、助けてくれました。

団体優勝という、素晴らしい成績を残せたことが本当に嬉しく、感動で胸がいっぱいになりました。これに満足することなく、これからも日々の練習に励みたいと思います。

最後に、自分達を支え応援してくれた家族や仲間達。そして、顧問の先生方に心から感謝しています。一生忘れることが出来ない思い出になりました。

田畠 隼剛

My Victory road~This is not Sinal goal but I did it.

昨年、団体9位に終わり、不完全燃焼のまま山口県を後にしなければなりませんでした。とても、悔しかった事を今でも覚えています。それから一年悔しさをバネに一生懸命努力しました。そして、またインターハイへ出場することができました。今年の目標は最初から“全国制覇”でした。そして、今年で定年退職される高木先生に最高のプレゼントをすることでした。

インターハイの予選ラウンドが終わり、個人11位、団体1位でした。個人の成績は良いとは言えませんが団体は、優勝へ向け率先の良いスタートが切れて良かったと思います。

翌日の個人決勝ラウンドでは、3回戦で優勝した小野君に敗れてしまい、9位に終わってしまいました。とても悔しくて、涙を流しましたが、自分のベストをつくして、負けたので後悔はありません。泣いている私を見て、高橋先生が「明日の団体で1番になれば良いだろ」とおっしゃってくださいました。私の闘志が再び激しく燃え上りました。

翌日の団体決勝ラウンドでは、1回戦で流山中央高校、準々決勝で千葉の黎明高校という地元千葉県の学校と戦い、勝つことができました。準決勝では米谷高校と戦いました。私の調子が悪く、メンバーに迷惑をかけてしまいましたが、何とか勝つことができました。調子が悪くて、弱気になりかけた私を助けてくれたのは後輩の長嶋でした。強気になった私は今まで射ったことの無かった83点という点を決勝の舞台で射つ事ができました。葛道高校との決勝戦はシーソーゲームでしたが私達は“攻める”という気持ちしかありませんでした。応援席にいた日本中の友達の声援が大きな力になりました。そして…念願の“全国制覇”をすることができました。この勝利は、私達だけの勝利ではなく、団体決勝ラウンド当日のミーティングで優勝できるように祈ってくれた部員や指導してくださった方々、応援してくれた日本中の友達の勝利だと思います。そして何より私達を支えてくれた家族のおかげだと思います。最後に“皆様本当にありがとうございました。”

橋本 千秋

'05千葉きらめき総体は自分にとって2度目の総体でした。昨年は初めての全国大会で、終始緊張の連続でした。もちろん思い通りにうつことはできず、結果はあまりいいものではありませんでした。

今年は、関東、全国、世界とを経験と、自信と技術とを身につけての挑戦だったので、“昨年よりは絶対に良い成績を！”という思いで挑みました。

試合は、予選4位と、まずはまずのスタートをきることができました。その後、個人で準優勝することができ、団体戦へのはずみをつけることができました。

団体戦は2年生が安心してうてるよう、うまくリードしていくみたいと思っていました。結果はうまくいったようで、見事優勝することができました。お世話になった多くの方々、本当にありがとうございました。

永嶋 勇亮

僕は一年生の頃から先輩達の試合での活躍を見ていて、「インターハイのような大きな大会へ出てみたい。」と思うようになり、目標を持って練習に励むようになりました。大会への出場が決まったときは、自分の力が出せるかどうかという緊張もありましたが、練習の甲斐があったという思いのほうが大きかったです。

大会予選では、思うように射つことができず、個人では悔いの残る結果となってしまいましたが、団体では一位を取ることができ、団体戦へ気持ちを換えていくことができました。そして、迎えた団体戦決勝ラウンド。順調に勝ち抜いていき、見事優勝を勝ち取ることができました。今年は先輩にリードされての優勝でしたが、来年は僕ら3年生が主力となって、また全国優勝を目指していきたいです。

マネージャー 中村 竜也(2年)

今回、僕はマネージャーという立場でインターハイに参加し、優勝という場面を間近で

見ることができました。僕はマネージャーとして、選手にストレスがたまらないようにチームに貢献してきたつもりです。なので、団体で優勝した瞬間、選手たちと同じ気持ちになり飛び上がって喜びました。今大会に優勝できたのは、やはり、橋本先輩と田畠先輩という3年生が、技術面、精神面で未熟な我々2年生を引っ張っていってくれたからだと思います。来年度はもう一度同じ結果を出せるよう、部一丸となって頑張っていきたいと思います。



〔インターハイ女子優勝校〕

悲願の団体優勝 そして新たなるスタート

和歌山県立和歌山高等学校アーチェリー部

顧問 下村 史郎

本校アーチェリー部は平成12年に創部し、本年度で6年目を迎えました。昨年8月に行われた千葉インターハイにおいて、創部当初からの悲願であった団体優勝を果たすことができ、わがクラブを支えてくれている多くの関係者の方々と共に喜びをかみしめています。

インターハイには、2度の個人戦出場を経て、男子は4年前、女子は3年前に団体戦初出場を果たしました。そのころから徐々にチーム力も上がり、ここ1・2年は団体戦で全国の強豪校と勝負のできるチームに成長してきました。ただ、今年度のインターハイは、3年続いた男子の団体戦出場が途切れ、「男子が団体戦で出場できない分まで、女子の団体戦と男子の個人戦で頑張ろう！」と気持ちを切り替えて出場しました。

迎えたインターハイ予選ラウンドでは、記録をねらえるメンバーが揃ったのと順調な仕上がりから、大記録をねらって意気込んで臨みました。しかし、前半は順調に折り返しましたが、直前の調整の失敗から後半失速し、大会新記録ではあったものの、予選2位でのスタートとなりました。

予選終了後は、伸び悩んだ記録への悔しさと自分たちの力のなさに選手も私自身も落ち込みましたが、2位でのスタートが逆にプレッシャーをはねのけ、勝つこと（1位になること）への強い気持ちに火をつけてくれました。

そうはいうものの、翌日の個人決勝トーナメントでは、調整失敗が尾を引いて次々と敗退、結局入賞者が1人も出ず団体戦への不安を残したままの状態で終了てしまいました。そんな沈んだ雰囲気のなか、男子個人で出場した本校の井出臣俊が、個人決勝トーナメントで孤軍奮闘、接戦を次々とものにして順調に勝ち上がっていきました。2回戦のシートオフによる勝利など、応援団をわかせる大活躍で、男子個人8位に入賞することができました。この大健闘する姿が、沈みかけたわが校の雰囲気を明るくし、翌日の団体決勝トーナメントへの大きな力となりました。

いよいよ団体決勝トーナメント。1回戦は順調に勝ち上がったものの、準々決勝の榛原高校戦ではいきなりの大ピンチ。2エンド終了時点で13点の大差をつけられたのでした。一瞬、昨年の山口インターハイで上位を狙いながら、早くに碎け散った「予選1位通過・1回戦敗退」の悪夢が頭をよぎりました。しかし、選手たちは、前日までの雪辱に燃える気持ちと、自分たちの実力を信じる自信から、第3エンドも慌てず落ち着いて射ち続け、大逆転で勝利をおさめたのでした。続く、愛産大三河高校戦も最終エンドを前に1点差をつけられた苦しい立場からの逆転勝利、その勢いを維持した高山西高校との決勝戦でも勝利をおさめ、念願の初優勝をものにすることができます。

おたがいの信頼関係が強く、底力のあるチームであったことに加え、エンド間で微妙に変わる「風」をうまく克服できたことが大きな勝因でした。また、部員が全員で現地に乗り込み、点差を開けられたときも諦めずに必死に応援してくれたこと、合同練習で仲良く

なった他校の仲間の応援も力強く後押ししてくれました。紙一重の差で勝ち進んで手にした幸運な優勝ですが、改めてトーナメント戦の難しさを味わったインターハイでした。

歴史の浅さからまだまだ充実していない練習環境のなかで、多くのやりたいことを我慢してアーチェリーに情熱を注ぎ、時間をかけてこつこつと練習を積み重ねてきた努力が実を結びました。また「正射必中」の理論をもとにして、こだわり続けた「正しく射すこと」多くの練習量で鍛えた「反復する力」、精力的に参加してきた多くの試合から得た「経験値」も彼女たちの土台となっています。今回の団体優勝は、それ自体がそれぞれの人生の大きな思い出となります。そこには至るまでの、毎日の練習から培った「考えて切り抜ける力」や「努力することの大切さ」は、後輩への範となるだけでなく、彼女たちの人生に必ず大きな財産となることでしょう。

全国制覇を大きな目標に創部し、長いようで短かった6年間でしたが、今は部員・顧問とも、陰で支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

和歌山高校アーチェリー部の創部は本当に0からのスタートでした。恵まれない環境のなかで、必死に結果を出そうと練習を重ねた先輩たちの努力は立派でした。そのような選手たちの練習環境が整うように、校長先生はじめ学校関係者や県の教育委員会・体育協会・高体連・アーチェリー協会の方々が大変尽力してくれました。また、選手たちの家庭が経済面・栄養面等で絶大なるバックアップをしてくれました。そして、未熟な指導者としての私も多くの方々に育てていただきました。今改めて、和歌山高校アーチェリー部を支えてくださっている多くの方々に感謝申しあげます。

和歌山高校アーチェリー部はまだまだスタートしたばかりです。これから歩む長い歴史に栄光のあることを願っています。こう振り返っている今も、新チームによる新たな1年がすでにスタートし、私の大好きなことば「天才は有限 努力は無限」を信じて後輩たちが先輩に續けと頑張っています。

3年 濱田 紘代（キャプテン）

私たち和歌山高校は、チーム一丸となりインターハイが行われる千葉県に乗り込みました。団体メンバーのなかで、過去にインターハイに出場したことがあるのは1人だけでしたが、今年のメンバーは全員、個人でも全国で活躍している選手ばかりで、団体は目指せ「優勝」でした。最低でも3位に入るという目標を設定していました。

予選でも、もちろん1位を目指していました。結果は大会新記録だったものの、残念ながら2位でした。しかし、それが逆に「トーナメントでは必ず優勝するんだ」という気持ちを高めてくれたと思います。決勝トーナメントでは、ものすごい声援のなかで試合ができる本当にうれしかったです。学校のチームのみんな・父母・先生方、そして私たちのチームが勝ち進んでいくごとに増えていく他校の選手やその応援団。私たちは本当にたくさんの人たちに支えられているんだなと改めて感じました。

決勝トーナメントの途中には、「負けたんじゃないかな」と思われる場面も何回かありましたが、みんなの応援のお



かげで、「攻める」ということは一度も忘れる事はありませんでした。そのおかげで念願の初優勝をすることことができました。

千葉インターハイは、私にとって一生忘れることのできない大切な思い出となりました。応援してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

3年 三垣日登美

私たちは、インターハイに出場するはるか前の4月、合宿で女子のみんなで話し合って目標を決めました。その目標は「インターハイ団体3位以内」でした。今回は、この目標を持って本番に挑みました。

私は、インターハイは昨年に続き2回目の出場だったこともあり、少し気持ちは楽でしたが、実際に団体決勝の日を迎えるととても緊張していました。1回戦はどうなるかと思うくらい足がガクガク震えましたが、勝ってホットしました。準々決勝は、みんながビックリした試合でした。2エンド18射が終わったとき、13点差があいていたのです。このときは、もしかしたら本当に負けるのではないかという気持ちがありました。しかし、周りのチームメイトが「大丈夫、大丈夫」と励ましてくれ、また応援に来てくれていたクラブのみんなの声が励みになって、最終エンドはどうなるかと思いながらも逆転勝ちしました。このときは泣いてしまいました。準決勝も逆転勝ちし、自分たちの目標は達成できました。次は決勝です。1人のチームメイトが「勝つ気がする」といったときも、本当に勝てるのかと心配でしたが、最後までみんなの力を出し切り、点差をあけて勝つことができました。ずっと後ろの観客席では、他府県のみんなが応援してくれていてとてもうれしかったです。

試合が終わってから、全国制覇をしたと実感したのは、先生がテントの下で涙を流している姿を見たときでした。みんなで「ありがとう」と泣きながら抱き合って喜びを分かち合いました。高校最後の3年生の夏、とても感動した夏でした。

全国制覇できたのは、自分たちの力だけではなく、家族や応援してくれたクラブの仲間、そしてご指導くださった先生のおかげだと思います。2005年の夏、私にとって忘れられない最高の思い出です。

3年 森澤 佑吏

私はアーチェリーを始めてから思うように成績が伸びず、インターハイなどの大きな試合には出場することはできないだろうと思っていました。でも、今年の6月にインターハイのメンバーに選ばれたときは、とてもうれしかったです。私は最初で最後のインターハイだから「悔いの残らないように良い思い出をたくさん作ろう」と思いました。

インターハイの団体決勝ラウンドのとき、私は一度も射つことはできませんでしたが、射っている3人に「自分の分まで頑張って」と思いを込めながら、一生懸命声をかけていました。観客席を見ると、和歌山からわざわざ応援に来てくれた後輩たちや、家族の方々、そして他府県の友達も応援してくれていました。私は、その人たちに負けないぐらい応援したり、声をかけたりしました。途中、「負けるかも・・・」と思う場面がたくさんありました。でも、射っている3人は、不安や焦りを見せずに、自分の射と仲間を信じて、優勝に向かって一生懸命頑張っていました。私はこの3人を見て、「私もこんな3人になりたいな」と思ってしまうほどでした。決勝戦のときも、3人はチームのためだけでなく、応援してくれているみんなのためにも、優勝に向けて一射一射大事に射っていました。

試合が終わり、私たち和歌山高校が優勝したときは、たぶん私が一番大泣きしていたと

思います。ここまでこれたのは、先生・父母・支えてくれている人達、そしてこのチームのおかげだと思いました。みんなに「ありがとう」と思いました。

2年 前山明日香

初めてのインターハイ。思っていたよりも大きな会場で、後ろでたくさん的人が見ているという味わったことのない感覚に緊張して、個人戦の時は足が震えていました。個人戦では「もう1年あるから思い切って射とう」と思って射ちましたが、サイトの合わせ方が甘く、入賞を目前に負けてしまいました。とても悔しかったです。

団体戦は、個人戦からの気持ちを切り替えて試合に出ました。プラクティスの時は緊張していましたが、いざ試合が始まれば、練習のときのように射ち続けることができました。苦戦した試合もありましたが、先生や心強い先輩方、応援してくれている仲間や先生方、父母の応援の声が心の支えでした。

決勝戦では、他府県のチームが一緒になって応援をしてくれてとてもうれしかったです。私は、先生や共に戦った先輩方と仲間、会場で応援してくれた他府県の方々、いつも学校で応援して下さっている先生方、そして、いつも支えてくれる家族に感謝しています。

このインターハイ優勝は一生の思い出になりました。これからも、より一層高い目標を達成できるように頑張っていきたいと思います。



[学校紹介]

秋田南高校アーチェリー部

秋田県立秋田南高等学校 アーチェリー部

顧問 相原 究子
櫻田 瑞子

本校は1962年の開校から「独立自尊」の校訓のもとに文武両道を目指している学校です。現在は普通科7クラス英語科1クラスで、全校生徒956名がほぼ全員進学を希望しながら、部活動にも励んでいます。本校は秋田県で最も交通量の多い国道13号に面した場所にあるのですが、この夏は「祝インターハイ出場！アーチェリー部」の垂れ幕が多くのドライバーの目を楽しませ（？）ました。剣道部、柔道部、陸上競技部もインターハイに出場、また吹奏楽部も全国大会の常連校です。特に今年度は陸上競技部の斎藤羽純さんが女子三段跳びで国体優勝という輝かしい成績を残し、学校にさらなる活気をもたらしました。

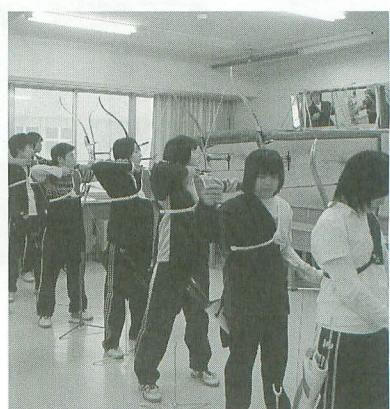


アーチェリー部は1998年に同好会として発足し、2001年に部に昇格、その中で少しづつ実力をつけてきました。最近では、2004年のインターハイにおいて、男子団体でベスト8という成績を残しました。現部員たちはこの成績に追いつけ追い越せとばかりに練習に励んでいます。今年は平成19年の秋田国体を前に、19名もの1年生が入部しアーチェリー部は一気に大所帯となりました。全員高校から始めた初心者ばかり

ですが、秋田国体で少年チームの中心になるであろう1年生を、2年生が必死に指導しています。上級生が下級生に南高校のアーチェリーを伝えていくスタイルが確立されていて、下級生も先輩の上手いところを盗んで身に付けていくという姿勢で練習に励んでいる毎日です。

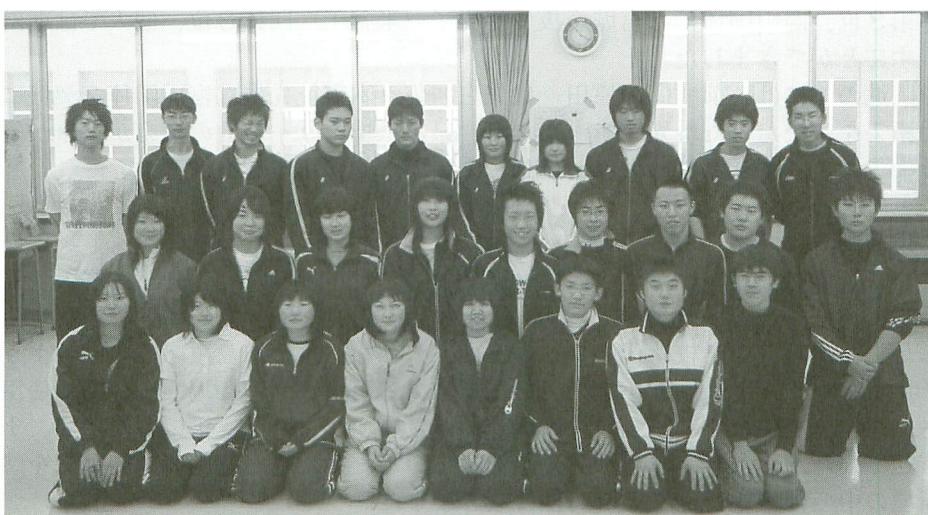
部活動を通して生徒の成長を感じることは顧問にとって喜びです。限られた練習時間をうまく使ってどのように勉強と両立させるか、チーム全体が強くなるためにはどうすればいいかということをキャプテンが中心になって「自分たちで考えて」活動している毎日です。3年生が引退してからというもの、2年生の自主性、責任感が育ってきて、その成長に驚かされることも多く、だからこそこの頑張りを勝利につなげ、選手・顧問ともに勝つ喜びを味わいたいと思っています。

ここまで築いた歴代の顧問の先生方や力添えてくれる秋田県アーチェリー協会、後輩の指導に顔を出してくれる卒業生方、何より保護者の方々に支えられて、我がアーチェリー部は活動しています。充実した部活動を目指し、生徒たちがアーチェリーに出会えてよかったです、3年間続けてよかったですと思えるような部活動にしたいと願っています。



部員からひとこと（目標）】

- 齊藤 翔太：男女とも団体でインターハイ出場。
- 畠山 智子：インハイに行く。
- 渡部 貴徳：多くの全国大会に出場、結果を残し目立つ。
- 藤井 良平：出来る限りの努力を惜しまないで練習する。
- 阿部 周平：自己ベスト。
- 渡部 紗綾：後悔しない。
- 新澤 祐輔：シングルで1050点。
- 足利 亮：シルバー×2。
- 阿部 優：アーチェリーが得意だといえるくらいに上手くなる。
- 川村 周平：団体メンバーに入り、インターハイ出場。
- 奥田 大気：自分に負けないよう、足りない技術をしっかり身につける。
- 伊藤 祥子：粘り強い精神でベストを尽くす。
- 工藤 貴史：勉強との両立を目指す。
- 伊藤 紗那：自分に負けない。
- 大塚 朋恵：有言実行。
- 加藤 健太郎：誰よりも強くなる。負けたら誰よりも悔しがる。
- 佐藤 ありさ：矢を射る前の精神統一を覚える。
- 加賀谷 拓磨：大会・記録会等で10位以内を目指す。
- 加藤 千裕：団体メンバーになって、自分の納得できる練習・大会・記録会にする。
- 佐々木 安也奈：毎日の練習に目標を持って取り組む。、
- 佐藤 翼：自分の納得できる点数を出す。
- 竹田 健太朗：日進月歩。
- 橋本 達矢：一射入魂、先輩の記録を越えるように毎日気合でがんばる。
- 富野 祥平：誰にも負けない集中力をつける。
- 高橋 成美：自己新大量生産。
- 水野 香菜：大会・記録会等で毎回自己新を出す。
- 山田 峻徳：謙虚に活躍。



〔学校紹介〕

米谷工高アーチェリー部

宮城県米谷工業高等学校アーチェリー部

顧問 白幡秀人

〈米谷工業高校の紹介〉

本校は、宮城県の北部の岩手県境に位置し、町の八割が山林という自然豊かな東和町にあります。東和町は、源氏ホタルの生息地としても有名で夏になると鱒渕川のほとり乱舞する源氏ホタルを観賞するために県内外から多くの観光客が町を訪れます。また、東和町は、第56回国民体育大会アーチェリー競技（平成13年度国民体育大会）の開催町です。さて、学校のことについてですが、平成15年に、特色のある新しいタイプの工業高校を目指し、電子機械科を機械システム科、情報電子科を情報技術科、電気科を電気システム科と学科改編し、県内初の一括募集（自動車科を除く三科）や進路に応じた累計選択型学習を導入した。クラスは機械システム科・情報技術科・電気システム科・自動車科の4科4クラスで編成された工業高校です。生徒数は、445名（男子395名、女子50名）で平成18年には創立54周年を迎える歴史と伝統のある学校です。



〈同好会から部への昇格〉

米谷工業高校アーチェリー部は、平成5年に同好会として発足、地道な活動が認められ平成8年に部に昇格しました。部に昇格して3年目に、香川インターハイ出場、以後7年連続インターハイ出場。今年度は、東北選手権大会で男子団体3位。千葉インターハイ男子団体第3位、岡山国体でも宮城選抜少年男子（米谷工）団体3位、個人では準優勝と結果を残すことができました。

この躍進の陰には、前顧問の原田一貴先生、佐々木寛征先生、宮城国体を契機に全面的にお力添えをいただいた地元登米市東和町、県アーチェリー協会の支えが大きかったことは言うまでもありませんこの場をお借りしまして厚く感謝申し上げます。

〈部の現状〉

現在、部員数は11名（1年生3名、2年生4名、3年生4名）、ほとんどの生徒が、中学校時代にアーチェリーを経験し、「高校でも」と意欲を持って入部してきた生徒たちです。しかしながら、中学校時代のレベルとは、大きな格差があり戸惑っているようです。

練習場は校外にあり、自転車で25分の場所にある町民総合運動場（国体時に使用したグラウンド）を借りています。移動には時間がかかりますが、町の支援のおかげで、ナイターを設置していただいたり、専用の脚を設置していただいたりと移動時間のロスを感じさせない環境の中で練習を行うことが可能となりました。

練習は、年間を通して毎日、最低200射を目標に反復練習を行っています。練習の最後には、自重負荷トレーニングを行いパワーアップも図っています。

<クラブ目標>

「団体日本一」これがクラブ目標です。個人競技的色合いが強い競技ですが、毎日の練習は、チームでの活動が主でありその活動の集大成が団体競技の結果を左右するものと思います。その意味でも一年間の部内活動が質の高い、内容の濃いものであったかを評価できるのは、団体戦の結果だと思います。今年の部内活動が昨年を超えるかどうか、生徒の底力に期待しています。

<主な成績>



2001年度	全国高校総体	男子団体出場 女子団体出場	2003年度	全国高校総体	男子団体出場 女子団体出場
	国民体育大会	男子三名出場 女子二名出場 男子個人第一位 男子団体第五位 女子団体第二位			男子団体第七位 女子団体第七位
2002年度	全国高校総体	男子団体出場 女子団体出場 男子個人第四位 女子個人第三位 男子団体第二位	2004年度	全国高校総体	男子団体出場 女子団体出場 男子個人第二位 男子団体第四位
	国民体育大会	男子三名出場 女子二名出場 男子個人第三位 男子団体第六位 女子団体第七位		2005年度	全国高校総体 国民体育大会

流山中央高校アーチェリー部

千葉県流山中央高等学校アーチェリー部

顧問筒井 誠



〈県立流山中央高校の紹介〉

本校は、1976年4月に流山市内で初めて県立高校普通科の学校として創設され、今年で30年の歴史を刻む学校です。過去においては大変に困難な時期もありましたが、生徒・教職員・PTA・地域の方々の努力により乗り切り、地域の方々から文武両道の学校として評価され発展してきました。

その精神的な支えになったのが「私たちは打ち込む」という校訓であり、生徒教職員が力と情熱の全てを注いで、自らの定めた目標に向かって打ち込むという決意を表しています。この短くもユニークな校訓は玄関前の「打ち込み石」に刻まれており、様々な活動を行う際に常に意識される言葉となっています。クラス数は、生徒減少期にあたり学年5クラスであります（来年1年生より4クラス）、2008年度には近隣の県立流山東高校と統合し8クラスになる予定となっています。伝統的に培われた本校の特徴は、(1) 学校行事が充実していること (2) 部活動をはじめ生徒会活動、養護学校との交流会、情報処理教育、国際交流が盛んで活気があること (3) 生徒と教師の関係が親密であることです。

〈流山中央アーチェリー部の歴史〉

本校は1982年を期して学校改革元年とし先の校訓を定め、幾多の取り組みを行ってきました。当時は学校改革を行うために教職員一人一人が生徒と共にいっさいどのような具体的な活動を起こすことができるか連日会議を繰り返し、知恵を絞ったと聞きます。そんな草創期の一人の青年教師青木昭先生（現在栃木県立鹿沼東高校）が、自分のかつてのアーチェリー選手としての経験を生徒と共に歩む営為のきっかけにできないかとアーチェリー部を起こしたのが部の始まりがありました。学校に隣接して幾ばくかの荒地があったのを借り受け、生徒と協力して開墾し、アーチェリー部を築きました。雨の日の地面はぬかるみなかなか水が引かないものだからシューティングライン付近にブロックを敷いてその上で矢を放ったそうです。その後生徒と教師の悪戦苦闘の営みを見ていた地権者が学校にその開墾地を譲渡してくれたそうです。今では射場は一面芝生や下草に覆われ、5月にもなると紫色のツツジに囲まれ、時に野ウサギや地鶴の出没する別天地となっています。毎日の練習は実を結び、関東大会やインターハイにも出場するようになりました。その後顧問は勝啓雄先生（現在千葉県立姉崎高校）が引継ぎ、次の代で顧問となる芳賀由美子先生（現在千葉県立矢切高校）と組んで運営した時期に、インターハイ女子の団体で全国準優勝を果たし、まさに黄金期を迎えることになりました。



＜現在のアーチェリー部＞

現在の部員は19名（3年6名・2年4名・1年9名）。80cmの的が12枚貼れる屋根付きレンジがあり、60mまで射てます。さらに、射場を対角線に使用しますと70mまで距離がとれ、2的分のスペースが確保できます。90cmの練習は大会前に船橋のアーチェリーレンジに行き練習します。顧問が未経験者であるため技術は生徒主体となって先輩から代々受け継ぐ形となっておりますが、顧問としての運営方法は次の5つです。

- ①アーチェリー部はけっこうハードな体育会系の部活動であることを自覚する
- ②アーチェリーは精神性の高いスポーツであることを認識する
- ③アーチェリーの練習は物理実験だという姿勢を持つ
- ④部活を支えてくれるたくさんの人から多くを学ぶ
- ⑤自分の可能性を開くためにひたむきになる

平日の練習は月曜から金曜の16時から18時30分、土曜は9時から12時30分です。日曜練習の希望者は自主的に流山市アーチェリー協会の午前練習（本校射場開放）に合流する形をとっています。平日は射場ランニング、ストレッチ体操、近射、30mから70m行射（同時展開）、近射、整理体操です。土曜はランニングが20分ランニングになるとこと、行射時間が長くなる程度です。雨天時は校内ランニングと筋トレ、多目的教室（普通教室）に三脚と畳を持ち込んで近射をします。社会科室に近射マットを持ち込んで行うこともあります。高体連や千葉県アーチェリー協会主催の試合の多くは船橋アーチェリーレンジで行われます。公式戦や関東大会・高校総体・国体の予選会だけでもシーズン中は1ヶ月に2回以上の試合がありますので、それに向けて練習を積んでいます。本校は校内合宿のための施設がありませんので、校内合宿をするならば教室で泊ることになりますが、ここ何年かは夏休みでも校内合宿は行っていません。夏休みは半日練習と一日練習を交互に取り入れております。千葉県高体連ア専門部の強化部の方で夏休み中に1年生向けの講習会（日帰り2日）や2・3年向けの強化練習会（2泊3日）を企画して下さっておりますので大変ありがたいと思っております。例年部員の中で体力的に日々の練習がきつかったり、故障等で途中退部するケースが増えており残念です。自分の体力や技量に応じた自己の目標を立て、それに向けてひたむきに練習を繰り返すことを心がけてほしいと思っています。そして部活動に参加することが楽しく感じられ、しかも自分の技術が確実に上達していくような練習ができるようにみんなで努力していきたいと思います。



最近の主な成績

02年度	全国高校選抜 女子2名参加	05年度	全国高校選抜 女子個人出場
03年度	関東大会 女子団体3位		国民体育大会 女子1名参加
	全国高校総体 女子個人出場		全国高校選抜 男子1名出場
	国民体育大会 女子3名参加		関東大会 男子団体3位
04年度	全国高校選抜 女子3名参加		全国高校選抜 男子団体出場
	関東大会 女子団体優勝		国民体育大会 男子1名参加

[学校紹介]

国際基督教大学高等学校アーチェリー部

International Christian University High School (ICU高校)

顧問 穂苅 美奈子



学校の紹介

本校は東京の西校舎に位置します。武蔵野の面影を残した、緑豊かなキャンパスを持つ国際基督教大学の校内に校舎があります。全日制普通科ですが、かなり特色のある学校で、1978年に海外からの帰国生を多く受け入れる学校として設立されました。日本で育った一般生も3分の1の割合で在学していますが、それらの生徒と帰国生が一緒に学校生活を送る中で、お互いの良いところを吸収しながら成長することを期待されている学校です。

毎年30ヶ国からの帰国生が入学してきますが、日本語より英語の方が話し易い……という生徒もいますし、英語に限らず、在留していた国の言語を使える生徒がたくさんいます。このように、様々な背景を持った生徒達ですので、学習到達度もまちまちです。それに対応するために、国数英の授業では4~5段階のレベルでクラス分けをしていて、日本語の授業も行われています。

学校は自由を尊重した校風で、規則らしい規則はありません。制服はありますが、日頃は私服が許されています。髪を染めることや、ピアスやお化粧をすることも問題視されません。ただし、法律に違反することや、人を傷つけることに対しては、大変厳しく対処しています。

校内には学生寮があり、保護者がまだ海外に赴任している場合や、自宅が遠方や地方にある生徒達が生活しています。アーチェリー部員も数名がそこで暮らしています。

アーチェリー部の紹介

部員は現在27名います。帰国生が22名、一般生が5名です。帰国生は、タイ、メキシコ、ベルギー、オーストラリア、ドイツ、アメリカ。イギリス、ロシア、イスラエル、ハンガリー、シンガポール、台湾、香港から帰国しています。

部の創立は、1980年で、昨年25周年を迎えました。入部して初めて弓を手にする部員がほとんどですが、中には海外のキャンプでやったことがあるという生徒が数人います。現在は、本校の運動部の中では比較的活発に活動している方ですが、8年ほど前には部員がゼロという学年も出て、存亡の危機にさらされたこともあります。

そのような時代を経て、創部から初めて、2005年度のインターハイには女子団体枠、男子団体枠での出場が叶いました。女子個人枠では、過去6名の部員が3年次に出場していますが、団体での出場は初めてで、しかも全員2年生でした。男子は、全国選抜大会に2名が出場しましたが、インターハイは初めてでした。現在の最高成績は、1984年の全

国大会（現在のインターハイ）に出場した、大倉有子（旧姓織田）の女子個人6位入賞です。

本校は、海外の学校に在籍していた生徒が多いせいか、学校全体の雰囲気が、クラブを熱心にやるという感じではなく、部活は楽しい時間を過ごす場…という考え方方が中心です。アーチェリー部もそのようなムードが多分にあり、追い込んだ練習を強いるとクラブが成立しない状況に陥ります。受験勉強などの理由から（附属ではないので、国際基督教大学への



進学は学年の3分の1が推薦されるのみ）2年生の夏休みが終わると現役を退く生徒が出始め、その冬休み前には、数名を残してほとんどの部員が引退します。一部が3年生まで続けますが、学校全体の中では特殊な存在となります。

本校のアーチェリー場は、常時30mが練習できますが、試合の1週間前には早朝練習が30分ほど許可され、70mまでの距離が確保できます。日ごろの練習では、1年生は上級生が指導にあたり、2、3年生は各々目標を持って自由に練習しています。土曜日の午後は（午前は普通授業）、コーチである卒業生の吉村祐介が指導に当たりますが、OG・OBの面々が顔を出して指導することもあります。また、土曜日は、90mまで練習可能な大学のアーチェリー場を使用できることがあります。日曜日は特殊を除き、学校全体が部活動禁止となります。

今後の目標と課題

昨年のインターハイに出場した2年生の女子が、3年次まで現役を続ける決心をしていますので、来年度のインターハイに連続出場して予選通過を果たし、更には入賞することを期待します。男子においてもインターハイ団体出場が実現できることを願っています。また、1年生には、先輩達が残した成績以上の成果を得られるよう、努力して欲しいと思います。

本校は、学校全体に部活動はそこそこ……という雰囲気がありますが、そのような環境の中で、それを理由にすることなく、やれることを最大限に活用し、個人や集団が設定した目標に向かって精一杯の力で努力できるかどうかが、重要な課題であると考えます。過去に全国レベルの試合に出場した生徒達は、同じ環境の中で、目標を達成してきたことを思えば、今後も、すべての部員に十分な可能性が与えられていると確信できます。

部員から一言

1年生

高木真理奈：部長として、しっかりと部活を引っ張っていきたい。また、アーチェリー面では、精神、実力ともに力をつけ大きい目標をもって、それに向かって頑張っていきたい。

錦織 成：仲間と切磋琢磨しながら上を目指します。盛期の副部長、キャプテン・マソップ！

田口 薫：私は次の大会でベスト20に入りたいです。260点以上出したいです。

- 田中 幸美：アーチェリー楽しいよ。
- 青井 信：無理しない程度に頑張りたいと思います。継続は力なり、です。
- 文野 輝：他の人の姿勢をよく見つつ、無理せずしっかりとスキルアップをしていきたい。
- 小島 以織：マイペースでいきます。そこそこでやっていこうと思います。
- 野田 早織：今度大会に出たら、250点以上を出したいと思います。
- 前田 瑠美：大会だけではなく、普段の練習でも自分の全力を尽くし、のびるだけのびることができればとても嬉しいです。
- 2年生
- 内山 千鶴：大学生になっても、社会人になっても、結婚しても、子どもができても、孫ができるまで、いつまでも楽しくアーチェリーをしたいです。
- 竹生 悠子：高校から始めたアーチェリーですが、良い経験になりました。あと少しでもう引退ですが、悔いのないようにしたいです。
- 安東 紗：最近は勉強と両立できなくて弓を引いていないけど、生涯スポーツとしてやっていきたいです。
- 安村 尚人：すべてのARCHERに愛を。
- 小野 怜朗：これからも自分の全ての力をついやして、がんばっていきたいと思います。
- 星野 莉紗：春の試合でグリーンバッチを取れるように、練習に励みたいと思います。
- 藤岡 良江：いけるところまでいってきます。
- 鷺澤 裕実：「アーチェリーが好き」という気持ちに恥じないよう、できるところまでやっていきたいと思います。
- 高塚亜希子：来春の試合では今までの試合よりも、できるだけ上を目指して頑張ります。
- 子川真奈美：今年の冬は異常に寒いですが、春からのシーズンに向けて体力面でも技術面でも精進しようと思います。
- 宮田 洋平：残り少ない高校生活ですが、できる所までやります。



[技術セミナー]

「クリッカーを落とすときに何が起きているか？」

国立スポーツ科学センター

スポーツ科学部研究員 岩 本 陽 子

昨年度から、全ア連からのサポート申請を受けてサポートさせてもらっている。今年度から全ア連の医科学スタッフと共同研究をして、「クリッカーを落とすときに何が起きているか？」ということをいろいろな方向から確認しようという試みをしている。この実験を9月のつま恋カップの直前に行った。研究というのはデータ分析に時間がかかるのでまだ一部しか紹介できないが、現段階での考えていることを話したい。

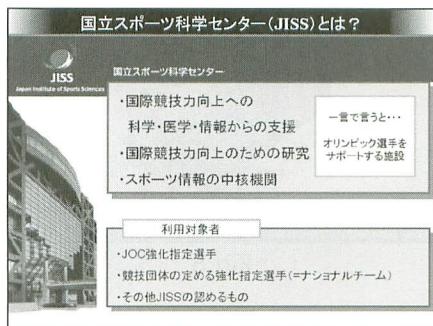


Fig.1

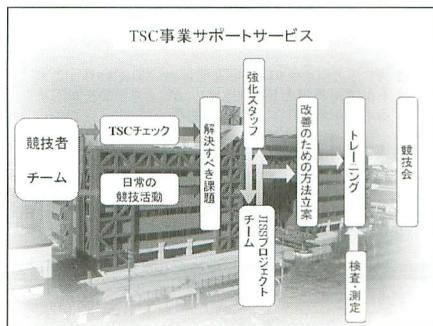


Fig.2

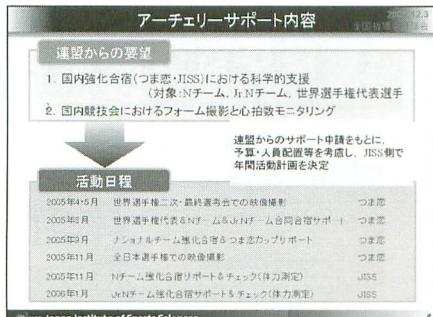


Fig.3

できれば、このデータを先生方はどう見るかということを含めてディスカッションしていただきたい。

2000年に当時の文部省がスポーツ振興基本計画ということで、要はメダル獲得率をアップしようという国家としての指針を示した。その中の一つにスポーツ医科学の支援を挙げていて、J I S S は日本で初めてのスポーツ科学センターとして設立された。オリンピック選手をサポートする施設、もっと言ってしまえばオリンピック選手をサポートしている強化スタッフを支援している施設であるといつてもよいと思う。

2007年（北京オリンピックの前年）にはナショナルトレーニング施設が出来る予定。

図2のTSCとはトータルスポーツクリニックのこと。

実験に参加した被験者

	上級者	中級者	初級者
人数	10名 (男:5, 女:5)	10名 (男:7, 女:3)	11名 (男:8, 女:3)
年齢	22.9±3.5歳	19.4±0.8歳	21.5±5.6歳
条件	シングル1290点以上 ショートハーフ51点以上	シングル1200点以下 ショートハーフ550点~600点	シングル1000点以下 ショートハーフ550点以下
自己 ベスト	シングル1311.1±15.7 ショートハーフ 672.0±11.0点	シングル・記録なし ショートハーフ 596.9±25.7点	シングル・記録なし ショートハーフ 500.9±30.0点

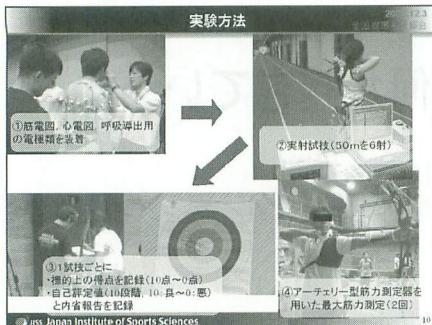


Fig.5

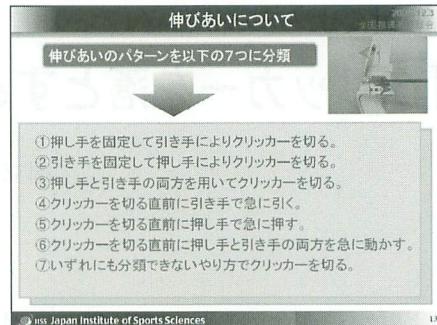


Fig.6

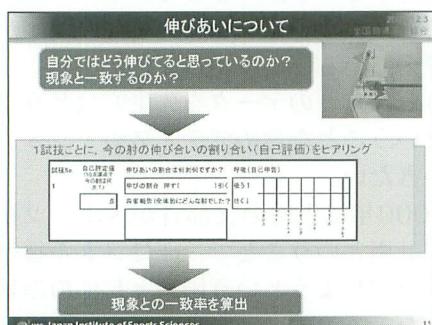


Fig.7

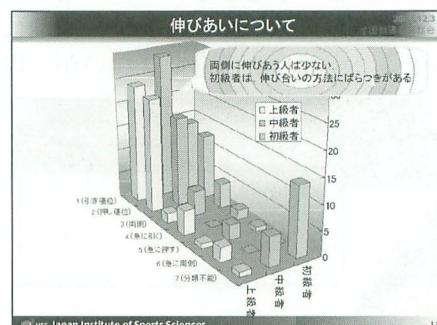


Fig.8

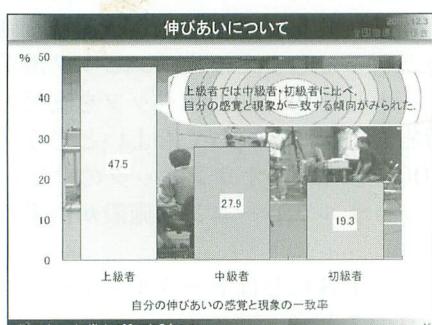


Fig.9

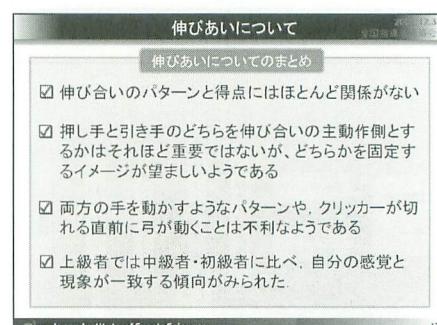


Fig.10

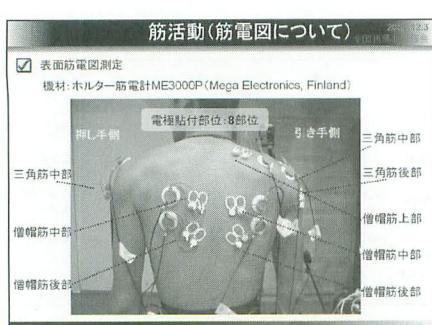


Fig.11

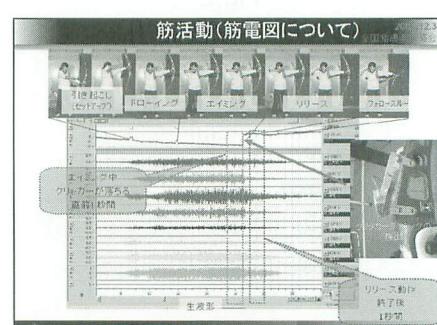


Fig.12



Fig.13

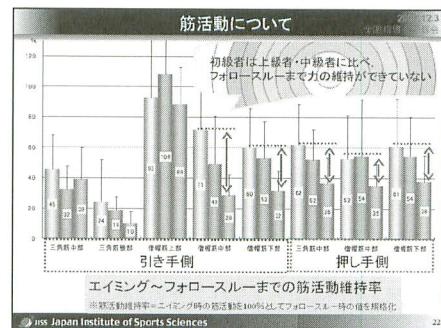


Fig.14

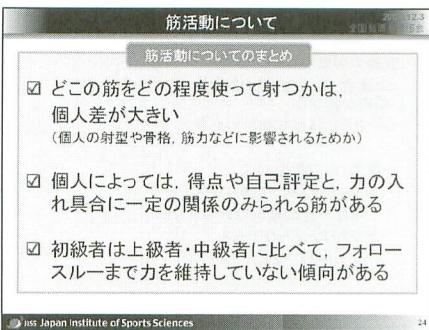


Fig.15

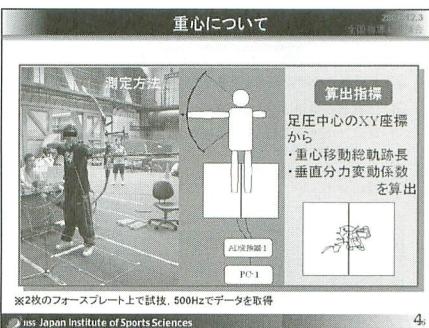


Fig.16

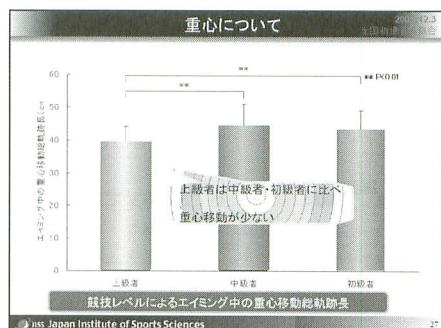


Fig.17

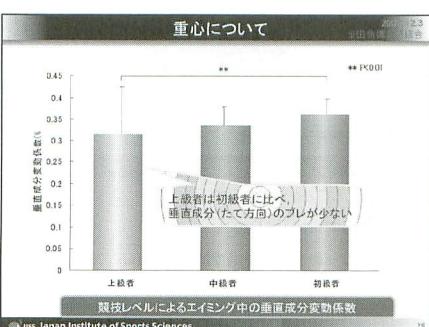


Fig.18

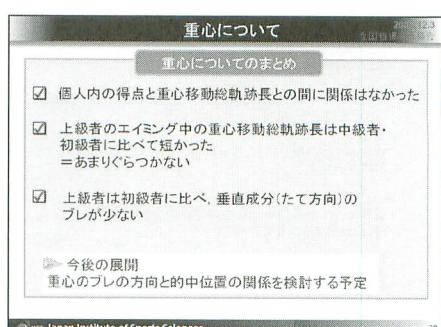


Fig.19

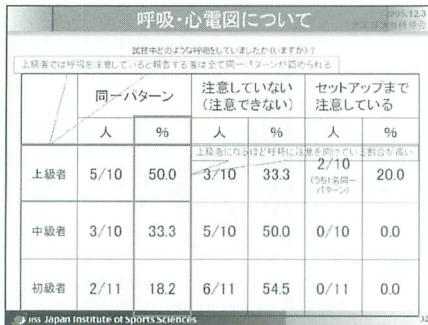


Fig.20

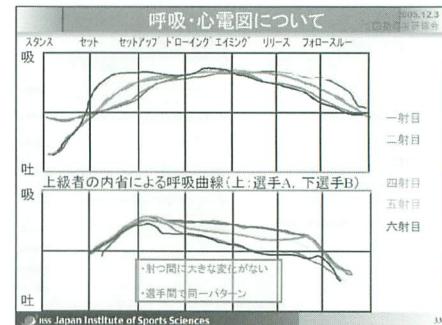


Fig.21

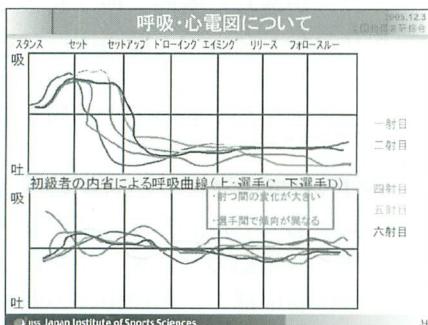


Fig.22

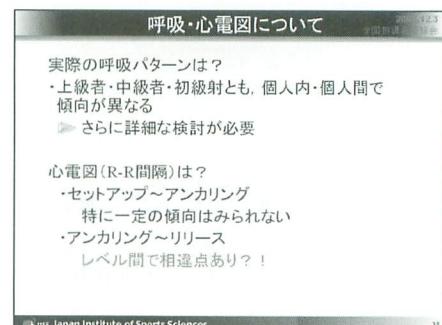


Fig.23

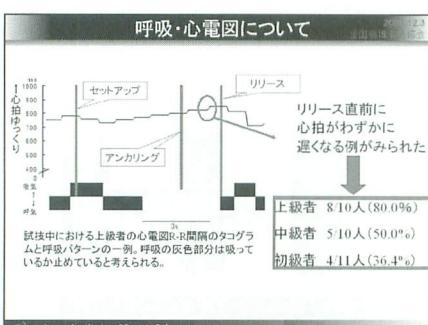


Fig.24

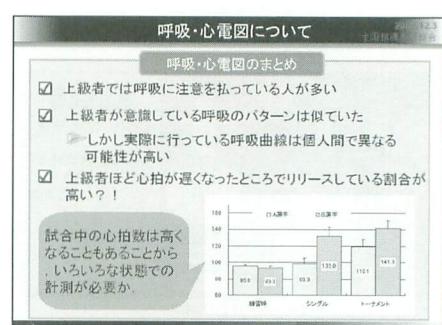


Fig.25

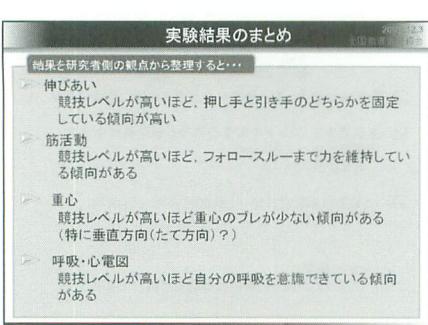


Fig.26

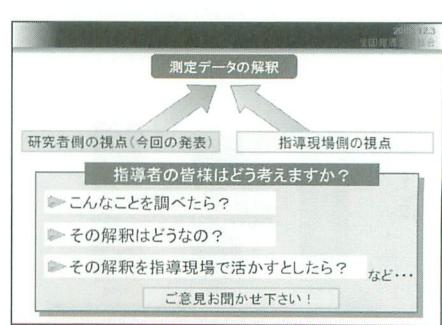


Fig.27

質疑応答

Q：筋活動の持続活動が大切であるということだが、持続させるためのトレーニングがあれば教えてほしい

A：筋肉は脳の命令で動く。筋肉を自分の意志で動かすことができれば活動を持続させられる。学会でひざの4つの筋肉を1つずつ動かせるという発表があった。いろいろな方向に曲げて、動いている筋肉を触って脳に意識させる。意識して動かすことで神経回路を作る。

Q：最大筋肉について詳しく知りたい。

A：最大筋力を測定して、それを100%にして、活動中の筋力を%で表している。人によっては最大筋力を出しているときよりも射っているときのほうが大きくなったりして、うまくまとめることが出来なかった。上級者は筋力と自己評定値に何かしら関係が見られたが、個人によってその部位が異なっていた。

Q：私の県では基礎体力のない選手が多い。どのくらいの握力や筋力があればどのくらいのポンドの弓が引けるのか、データがほしい。

A：実は今回の合宿で初めて新体力テスト測定をしてみた。①握力②長座体前屈③立ち幅跳び④シャトルラン⑤上体起こし

Q：そのときの関節の可動域を測定してほしい。

A：測っている。アーチェリーで面白いと思うのは前腕屈（リーチ）を測ってみたこと。まだまとまっていないのでまとめてみたい。

Q：重心の移動について調べていたが、和弓と比べてどうなのか？

A：今はデータがない。

Q：エイミングのときどこにピンが合っているのか、目の動きが知りたい。

A：今は全く情報がない。いま世界にある機械では焦点は測れない。的を見ているのかサイトピンを見ているのかはわからない。しかし、どこを見ているのかは測れると思うので調べてみたい。

Q：お尻の位置の動く選手が特に女子に多いのだが、お尻の位置の動かない選手がよく当たる。どのように動いているのか。

A：お尻が動くのは、もしかしたら筋力をつければぶれなくなるかも。

Q：リリースするときにとりかけが弓との接点であるが、とりかけの力みで大きく的に影響すると思う。高校生の26~28kgの握力の女子に30ポンドの弓を引かせているのだが、どのくらい緊張があってリリースの瞬間どのくらいの力が抜けているかがわかったら、どのくらいの握力でどのくらいのポンドの弓まで引けるかがわかるのではないか。適正ポンドのデータがあれば便利。ナショナルチームの選手も本当に適正なポンド数なのかわからないが。

A：アーチェリーの弓を引くときの最大筋力を測る装置をつくってみた。男子については最大で100ポンド以上引ける選手も結構いて、平均で80ポンド、大体その50%くら

いの弓を使っている選手が多い。女子は70%くらいの弓を使っている。何%が適正であるかは測れない。男子が楽をしているのか女子が無理をしているのか。運動生理学上70%で150本射つのは無理がある。30~40%であれば150本同じ射ち方が出来ると思う。

Q：弓を引くときの筋力の測定で最大筋力の100%を越える筋力もあったが、最大筋力の測定は引っ張る筋力なので、弓を引くときは押す側の筋力もあると思う。伸びながらで、引っ張るだけの力を測定するのは実際に難しい。

A：すごく良い指摘だと思う。この測定器はMAXで引っ張ってくださいといっているので弓を引くときの動作とは違うと思う。

Q：どの位置からひじをもって来れば楽だとか、を知りたい。

A：私たちの大きな課題がそのことであり、動作分析を試みたが個性がありすぎると微妙な動作がありすぎて、デジタライズな解析に現れてこない。軌跡ということについては可能であると思うので、上級者～初心者についてそのことについては測定してみたいと思う。

Q：矢が向いているところに飛べばサイトさえあっていれば真中に当たるはずだが、打つ瞬間にノックがどのように動いているか。射った瞬間にシャフトの動きには大きな違いがあると思うのだが。

A：その観点だったらいけると思う。ひじの動きとかだと簡単だと思う。1cm単位なら出てこないが、機械の精度により大雑把な結果にはなると思う。
どんな視点から分析すればいいのか、現場サイドからのこのような意見が欲しいのでありがたい。

全高ア専ホームページについて

全国高体連アーチェリー専門部ではインターネット上にホームページを開設しています。内容は下記のようなものです。会報とは違った全国の高校生アーチェリーや顧問の先生方との双方向かのコミュニケーションを、目指しています。また、全国大会の出場やその予選記録、立ち順などの速報を行っています。ぜひご利用ください。

1. 内 容

- ◎全高ア連の紹介
- ◎全国大会の速報
 - ・出場者、予選記録、立ち順
 - ・成績速報
- ◎質問コーナー
 - 技術・ルール・競技方法などについての質問・疑問をEメールで寄せていただき、それにお答えします。
- ◎お便りコーナー
 - 皆さんのお便りを待っています。

2. アクセスの仕方

- ◎URL
<http://www.asahi-net.or.jp/~si7o-sk/>
 - ・アクセスする場合は上記のURLをブラウザー上で入力してください。
 - ・ブラウザーはフレームを使用していますので、ネットスクープナビゲーター3.0あるいはインターネットエクスプローラー3以上を使用してください。
 - ・URLのニヨロマーク「~ (チルダ)」はWindowsの場合「shift」キーを押しながらキーボード上段数字キーの「0わ」の2つ右隣の「^へ」で入力できます。Macの場合はキーボード通りです。
- ◎Eメールアドレス
si7o-sk@asahi-net.or.jp
 - ・Eメールは上記アドレスですが、ホームページ内のメールボタンを押せば入力する必要はありません。

お問い合わせ、ご意見ご希望がありましたらどしどしお寄せください。生徒の皆さん之声も待っています。

問い合わせ先 〒545-0002
大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19 大阪女子高校内
全高ア専 総務委員会 佐 幸 修

会員登録用紙について

今年度高校生の社団法人全日本アーチェリー連盟ならびに全国高体連アーチェリー専門部への登録の処理に当たり指定学校番号・男女別選手登録欄・集計欄・登録料等お間違えのないように、確認の上登録手続きを5月20日必着（一次締め切り）までに行って下さい。

なお 各都道府県専門委員長、代表者の方は各加盟高等学校に配布し登録手続きをスムーズに運営していただきたいと思います。

登録に関する送付書類

1. 新登録用紙 (A4判)
(学校・選手登録用紙と指導者登録用紙)
2. 登録用紙の記入例見本
3. 指定都道府県番号一覧表資料
4. 登録用紙の流れの手順について説明

【注意】

- ◎登録料・負担金は各都道府県でまとめて一括で振り込んで下さい、提出締め切り日をお忘れなく、早めに処理をお願いします。
- ◎不足登録用紙が発生したときはお手数ですがコピーをして処理して下さい。
- ◎学校番号は会報の学校登録一覧表（P9～）を参考に、お間違えのないように記入を、お願いします。
- ◎新規学校は新たな番号で、昨年登録し今年度未登録学校の番号は空き番号で処理お願いします。
- ◎男子番号・女子番号の間違い、学校登録番号等のミスを無くして下さい。
- ◎選手登録用紙・指導者登録用紙がA4判に変わりました、旧録用紙は廃棄。
- ◎個人登録番号は男子は→1001　・ 女子は→5001 より各学校で付記します。
(例) ○○H00-1001男子 ○○H00-5001女子

専門部会員登録加盟方法 費用の送金方法について

選手登録料・学校登録料は各都道府県でまとめて一括振り込みをお願いします、振込金額を確認し、会員登録の提出締め切りを厳守して、遅れないように登録手続きを行って下さい。

なお 財団 法人全日本アーチェリー連盟・指導者登録を受け付けております。別紙登録用紙に記入し登録料金（顧問一人千円）の支払いをお願いします。

連盟の規定により、審判資格取得者は一般登録か指導者審判員登録でお願いします。

1. 加盟・登録方法について（高等学校生徒の場合）

各都道府県で登録用紙・登録料・学校負担金を集計され、一括して全国高体連アーチェリー専門部事務局へ登録用紙5部すべてを簡易書留にて郵送して下さい。

【各都道府県での登録用紙を学校別（5枚一組）にまとめ、学校数すべての用紙を、銀行振込証明書と共に郵送すること】

2. 会員登録料及び学校負担金について

各都道府県で取り纏めて、代金を指定の銀行振り込み用紙を用いて振込手続きを行い、会員登録料振込済証明書を登録用紙に添付（1枚目の登録用紙）し、事務局へ簡易書留にて郵送する。

1) 会員登録料について

① 選手1人につき1,300円（送付金は1人1,100円）

各所属都道府県ア協会に支部登録料として選手1人200円を支払い残りの1,100円を全国専門部事務局まで

② 学校負担金について

・単独校（男子のみ女子のみの学校） 一校につき 4,000円

・複数校（男女共学で両方に登録がある場合） 一校につき 8,000円

・複数校（男女共学でいずれかしか登録しないとき） 一校につき 4,000円

③ 指導者登録（顧問登録） 1人につき1,000円。

公認審判員有資格者は所属協会事務局を経由して、一般会員と同じように登録を行ってください。

一般会員登録 競技者登録 1人 4,000円

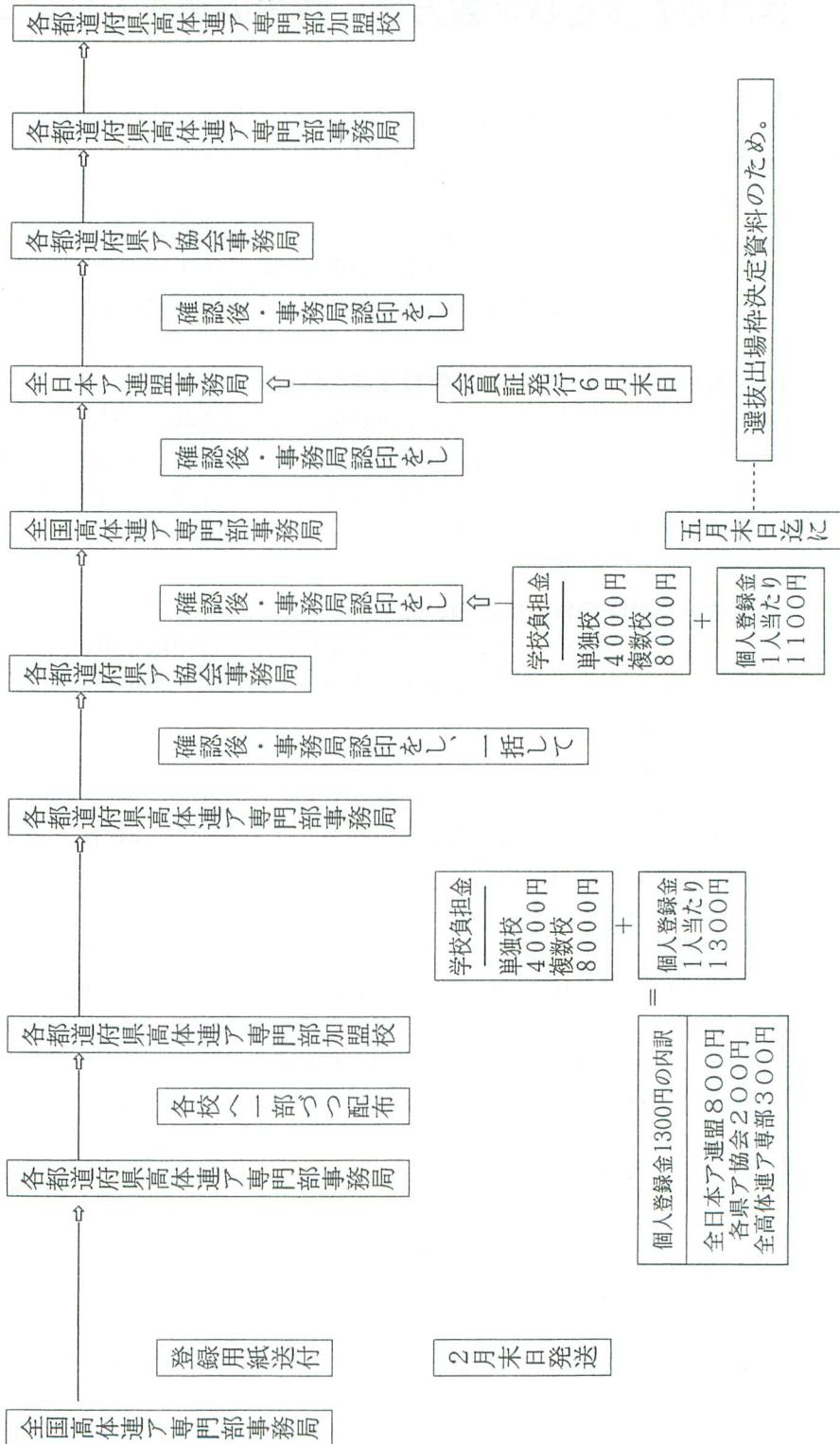
審判登録 1人 3,000円

※一般会員登録用紙は各支部協会事務局に準備されております。

高校生と締め切り日が異なりますのでご注意ください。

=高校生登録者締め切り 5月20日 全国高体連アーチェリー専門部事務局必着

全国高等学校体育連盟ア連盟登録届用紙の流れについて



会員届記入方法

西暦で記入

都道府県名を記入する
該当項目に○を

郵便番号を記入し
正確な所在地を記入

学校の電話番号を記入
（　）内は市内局番
（　）の後に番号

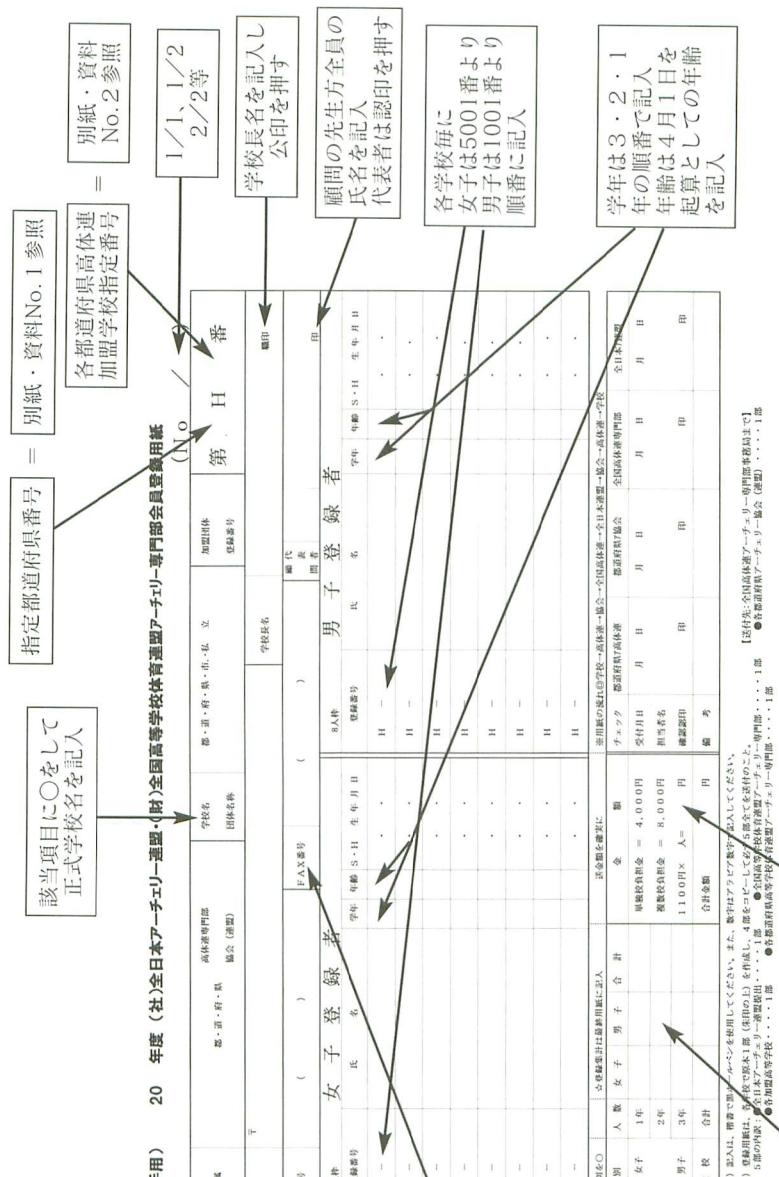
FAXが設置している場合は記入
記入の仕方は電話と同様
に記入

女子生徒及び男子生徒が登録している学校の場合は、該当する項目に○を

各学年、女子、男子別に
人数を記入し、合計を記入。
人を合計とは総合計人數を記入欄

その他に生徒1人当たり200円を掛けた金額と上記の金額の合計を各都道府県ア協会へ送金する

個人1人当たり1,300円
(1,100円専門部・協会200円)



指定都道府県番号表

指 定 都道府県 番 号	都道府県名	指 定 都道府県 番 号	都道府県名	指 定 都道府県 番 号	都道府県名
1	北海道	17	長 野	33	岡 山
2	青 森	18	富 山	34	広 島
3	岩 手	19	石 川	35	山 口
4	宮 城	20	福 井	36	香 川
5	秋 田	21	静 岡	37	徳 島
6	山 形	22	愛 知	38	愛 媛
7	福 島	23	三 重	39	高 知
8	茨 城	24	岐 阜	40	福 岡
9	栃 木	25	滋 賀	41	佐 賀
10	群 馬	26	京 都	42	長 崎
11	埼 玉	27	大 阪	43	熊 本
12	千 葉	28	兵 庫	44	大 分
13	東 京	29	奈 良	45	宮 崎
14	神奈川	30	和 歌 山	46	鹿 児 島
15	山 梨	31	鳥 取	47	沖 縄
16	新 潟	32	島 根		

★個人登録番号の付記について

1) 指定都道府県番号はHの前に

例：東京都の場合

1 3 H -

2) 指定学校番号はHに続いて

例：東京都の

玉川学園高校の場合

1 3 H 0 6 -

0 6 -

3) 個人登録番号をーの後に男子は1001・女子は5001より各学校で付記

例：東京都の玉川学園高校の場合 1 3 H 0 6 - 1 0 0 1 (男子の場合)

1 3 H 0 6 - 5 0 0 1 (女子の場合)

(選手用)

20 年度 (社)全日本アーチェリー連盟・(財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部会員登録用紙

(N o /)

所 属	都・道・府・県 協会(連盟)	高体連専門部	学校名 団体名称	都・道・府・県・市・私・立	加盟団体 登録番号	第 H 番
所在地	〒			学長名	職印	
電話番号	()	FAX番号	()			
8人件	女 子 登 錄 者	8人件	男 子 登 錄 者	代 表 者 品	印	
登録番号	氏 名	学年	年齢 S・H 生年月日	登録番号	氏 名	学年 年齢 S・H 生年月日
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
H -			.	H -		.
該当種別を○		☆登録金計は最終用紙に記入		送金額を確定に		
				※用紙の流れ◎学校→高体連→協会→全国高体連→全日本高体連→協会→高体連→学校		
種 別	人 数	女 子	男 子	合 計	金 額	
単 独	女子 1年 2年 3年				単独校負担金 = 4,000円 複数校負担金 = 8,000円 1,100円×人=	チエック
校	男子 合計				合計金額 円	受付月日 担当者名 確認認印 備考
複 数						月 日 印 印
						全国高体連専門部 都道府県高体連 全国高体連
						全国高体連専門部 都道府県高体連 全国高体連

★ (1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。

(2) 登録用紙は、各学校で原本1部(未印の上)を作成し、4部をコピーして必ず5部全てを送付のこと。
5部の内訳:
●全日本アーチェリー連盟提出・・・1部
●全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・・・1部
●各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部・・・1部
●各加盟店・・・1部

【送付先: 全国高体連アーチェリー専門部事務局まで】
●各都道府県アーチェリー協会(連盟)・・・1部

指導者登録

20 年度 (社) 全日本アーチェリー連盟・(財) 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部会員登録用紙

(No. /)

所 属	高体連専門部 都・道・府・県 協会(連盟)				加 盟 都 道 府 縿 番 号	第 番	
加盟団体 名 称					専門部長名 又は会長名	職	
委員長名 責任者名	印						
事務局 住 所					電話	F A X	
登録 者							
登録番号	氏 名	性別	年齢	生年月日	自宅住所	所属学校・事業所名	
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		
H -				・	〒		

8 紙

登録集計		金額	チェック	都道府県アーチェリー連盟	都道府県アーチェリー協会	全国高体連専門部	全日本アーチェリー連盟
男子		1,000 円 × 人	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日
女子		1,000 円 × 人	担当者名				
合計		合計金額 = 円	確認認印	印	印	印	印

★ (1) 記入は、楷書で黒ホールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。

(2) 登録番号の割り振りは、Hの頭に都道府県番号・Hの次に指導者が所属している学校番号・ーの次に4桁番号で頭に必ず9を付けて記入する。

(例 01 H 01-9001 → 北海道番号 H 指導者の所属している学校番号 - 指導者登録番号)

↑ 番号は千の桁に9を必ず付けて、百桁より登録順に整理する、001~順に。

(3) 登録用紙は、各都道府県で原本1部(押印の上)を作成し、4部をコピーして必ず5部すべてを送付すること。

選手権大会 栄光の歩み

(第1~19回：1日制、第20回~：男女別2日制で実施)

回数	男・女	団体の部	個人の部
第1回大会	(68'8.10.大阪府・東大阪グランド)		
男子	浜松興誠高(静岡) 1639.	稻川篤郎(浜松興誠高) 577.	
女子	同志社高(京都) 1419.	布浦裕子(同志社高) 503.	
第2回大会	(69'8.10.静岡県・県営草薙運動場)		
男子	岸和田産業高(大阪) 1689.	下向辰法(岸和田産高) 573.	
女子	同志社高(京都) 1470.	布浦裕子(同志社高) 529.	
第3回大会	(70'8.9.東京都・駒沢第一球技場)		
男子	岸和田産業高(大阪) 1606.	伊藤寿彦(岸和田産高) 601.	
女子	同志社高(京都) 1505.	熊谷登美(同志社高) 527.	
第4回大会	(71'8.1.京都府・府立大グランド)		
男子	浜松工業高(静岡) 1622.	亀井孝(同志社高) 600.	
女子	甲南女子高(兵庫) 1493.	井上典子(同志社高) 534.	
第5回大会	(72'8.4.神奈川県・三ツ沢球技場)		
男子	横浜高(神奈川) 1702.	角井和夫(広島工業高) 583.	
女子	浜松北高(静岡) 1601.	辻紀子(甲南女子高) 552.	
第6回大会	(73'8.5.東京都・駒沢第一球技場)		
男子	愛知高(愛知) 1764.	鈴木優(静岡三ヶ日高) 621.	
女子	同志社女子高(京都) 1553.	辻紀子(甲南女子高) 558.	
第7回大会	(74'8.3.滋賀県・県営彦根総合運動場)		
男子	同志社高(京都) 1707.	河内敏雄(同志社高) 600.	
女子	同志社女子高(京都) 1644.	後藤有理子(同志社女高) 573.	
第8回大会	(75'8.3.愛知県・愛知学院大グランド)		
男子	大阪工業大高(大阪) 1753.	梅内秀和(八戸工大第二) 646.	
女子	同志社高(京都) 1586.	小里頼子(札幌啓成高) 551.	
第9回大会	(76'8.1.北海道・札幌真駒内アイスアリーナ)		
男子	三本木農業高(青森) 1810.	市川松治(三本木農高) 633.	
女子	富士見高(静岡) 1686.	佐野敦子(富士見高) 592.	
第10回大会	(77'7.31.宮城県・秋保森林スポーツ公園)		
男子	慶応義塾高(神奈川) 1817.	神野浩(慶応義塾高) 627.	
女子	浜松商業高(静岡) 1724.	松永弘子(富士見高) 607.	
第11回大会	(78'7.27.青森県・十和田市陸上競技場)		
男子	愛知高(愛知) 1785.	山本博(横浜高) 639.	
女子	三本木農業高(青森) 1641.	山内京子(浜松商業高) 570.	
第12回大会	(79'7.29.広島県・県営総合グランド)		
男子	浜松工業高(静岡) 1836.	山本博(横浜高) 630.	
女子	山陽女子高(広島) 1641.	大道理枝(山陽女子高) 582.	
第13回大会	(80'8.3.滋賀県・秦荘町民スポーツセンター)		
男子	横浜高(神奈川) 1925.	山本博(横浜高) 670.	
女子	千葉英和高(千葉) 1739.	大道理枝(山陽女子高) 618.	
第14回大会	(81'8.2.東京都・駒沢第二球技場)		
男子	名古屋電気高(愛知) 1888.	岐部恭史(大阪工大高) 640.	
女子	大津商業高(滋賀) 1794.	名倉裕子(浜松工業高) 621.	
第15回大会	(82'8.1.群馬県・川場中学校グランド)		
男子	丹南高(福井) 1817.	薄井雅美(馬頭高) 625.	
女子	富士見高(静岡) 1682.	平田さゆみ(札幌月寒高) 598.	
第16回大会	(83'8.7.奈良県・三宅健民運動場) ⑩雷雨の為、団体・個人共に63射迄の記録		
男子	馬頭高(栃木) 1650.	池田辰弥(慶応義塾高) 571.	
女子	大津商業高(滋賀) 1587.	岩波ひろみ(大津商業高) 543.	
第17回大会	(84'8.5.鳥取県・東郷湖羽合臨海公園スポーツ広場)		
男子	米子北高(鳥取) 1904.	松田武文(米子北高) 643.	
女子	札幌啓北商業高(北海道) 1816.	山本和美(札幌啓北商高) 620.	
第18回大会	(85'8.11.山梨県・敷島総合公園運動場)		
男子	米子北高(鳥取) 1889.	室伏優一郎(横浜高) 650.	
女子	大津商業高(滋賀) 1789.	児玉晶子(米子北高) 648.	

第19回大会 (86' 7.27.沖縄県・宜野湾市海浜公園多目的広場)					
男 子	横 浜 高 (神奈川) 1787.	蓮 田 秋 二 (東京学園高)	629.		
女 子	札幌啓北商業高 (北海道) 1753.	中 达 恵 子 (甲府第一高)	612.		
第20回大会 (87' 7.25~26.京都府・日吉胡麻総合運動広場)					
男 子	三 本 木 農 業 高 (青森) 1876.	鎌 田 芳 彰 (幕別高)	643.		
女 子	折 尾 高 (福岡) 1775.	大 城 春 野 (宜野湾高)	611.		
第21回大会 (88' 7.26~27.北海道・旭川市)					
男 子	北 大 津 高 (滋賀) 1883.	吉 田 賢 (甲府第一高)	657.		
女 子	折 尾 高 (福岡) 1881.	岩 山 美 保 (折尾高)	635.		
第22回大会 (89' 7.26.~27.福岡県・北九州市)					
男 子	柏 陵 高 (福岡) 1685.	山 本 敦 (永谷高)	603.		
女 子	旭 川 北 高 (北海道) 1802.	鈴 木 知 子 (桜丘高)	634.		
第23回大会 (90' 7.27.~28.石川県・柳田村)					
男 子	柏 陵 高 (福岡) 1917.	宮 永 雅 史 (柏陵高)	657.		
女 子	折 尾 高 (福岡) 1796.	森 本 淳 子 (同志社高)	626.		
第24回大会 (91' 7.27.~28.山形県・鶴岡市)					
男 子	同 志 社 高 (京都) 1813.	藤 原 悟 (広島工業高)	630.		
女 子	折 尾 高 (福岡) 1681.	岡 野 善 恵 (甲南女子高)	578.		
第25回大会 (92' 7.26.~28.香川県・財田・仲南町)					
男 子	横 浜 高 校 (神奈川) 1880.	木 村 正 純 (横浜高校)	650.		
女 子	横 浜 学 園 (神奈川) 1828.	川 上 祐 佳 里 (柏陵)	639.		
平成5年度 全国高等学校総合体育大会 第26回大会 ('93 8.1~4.栃木県・馬頭町)					
男 子	横 浜 高 校 (神奈川) 234.	木 村 正 純 (横浜)	656.		
女 子	大 分 東 明 高 (大分) 205.	山 岡 麗 子 (横浜学園)	629.		
平成6年度 全国高等学校総合体育大会 第27回大会 ('94 8.6~8.富山県・宇奈月町)					
男 子	柏 陵 高 校 (福岡) 244.	桜 井 隼 (東京工業)	654.		
女 子	甲 南 女 子 (兵庫) 218.	河 崎 由 加 里 (山陽女子高)	639.		
平成7年度 全国高等学校総合体育大会 第28回大会 ('95 8.2~4.広島県・広島市)					
男 子	愛 産 大 三 河 (愛知) 221.	村 越 永 人 (田村高)	669.		
女 子	山 陽 女 子 (広島) 207.	富 島 優 (甲南女子高)	643.		
平成8年度 全国高等学校総合体育大会 第29回大会 ('96 8.2~5.山梨県・竜王町)					
男 子	大 分 東 明 (大分) 222.	山 県 朝 太 郎 (富士見)	102.		
女 子	兎 道 子 (京都) 218.	大 津 留 由 香 (大分東明)	79.		
平成9年度 全国高等学校総合体育大会 第30回大会 ('97 8.4~8.京都府・日吉町)					
男 子	東 海 大 二 (熊本) 224.	藤 原 真 也 (横浜)	105.		
女 子	水 川 (熊本) 196.	勝 俣 比呂 美 (小田原城内)	99.		
平成10年度 全国高等学校総合体育大会 第31回大会 ('98 8.8~11.香川県・丸亀市)					
男 子	愛 産 大 三 河 (愛知) 221.	加 藤 桂 規 (愛産大三河)	100.		
女 子	鳥 取 商 業 (鳥取) 183.	梅 田 舞 (水川)	104.		
平成11年度 全国高等学校総合体育大会 第32回大会 ('99 8.2~5.岩手県・松尾村)					
男 子	奈 良 高 校 (奈良) 224.	青 山 哲 也 (愛産大三河)	105.		
女 子	菟 道 高 校 (京都) 205.	松 下 紗 耶 未 (明星)	103.		
平成12年度 全国高等学校総合体育大会 第33回大会 ('00 8.9~12.岐阜県・高山市)					
男 子	高 志 館 高 校 (佐賀) 221.	林 毅 幸 (甲南)	105.		
女 子	水 川 高 校 (熊本) 224.	木 津 絵 里 奈 (慶応女子)	95.		
平成13年度 全国高等学校総合体育大会 第34回大会 ('01 8.3~6.熊本県・菊陽町)					
男 子	菟 道 高 校 (京都) 231.	本 山 隆 道 (高志館)	108.		
女 子	大 宮 開 成 高 校 (埼玉) 224.	大 塚 妙 子 (清水ヶ丘)	100.		
平成14年度 全国高等学校総合体育大会 第35回大会 ('02 8.9~12.茨城県・波崎町)					
男 子	北 大 津 高 校 (滋賀) 227.	天 野 良 太 (大分東明)	104.		
女 子	水 川 高 校 (熊本) 224.	平 野 愛 弥 (水川)	87.		
平成15年度 全国高等学校総合体育大会 第36回大会 ('03 7.29~8.1.長崎県・諫早市)					
男 子	千 葉 黎 明 高 校 (千葉) 228.	菊 地 荣 樹 (広島工業)	109.		
女 子	大 分 東 名 高 校 (大分) 220.	柴 尾 か な え (大分東明)	98.		
平成16年度 全国高等学校総合体育大会 第37回大会 ('04 8.3~8.6.山口県東和町)					
男 子	大 村 工 業 高 校 (長崎) 211.	辻 野 希 志 章 (貴志川)	105.		
女 子	宮 代 高 校 (埼玉) 191.	南 知 里 (草津東)	102.		
平成17年度 全国高等学校総合体育大会 第38回大会 ('05 8.8~8.11.千葉県・船橋市)					
男 子	東 海 大 相 模 高 校 (神奈川) 244.	小 野 剛 輝 (折尾)	107.		
女 子	和 歌 山 高 校 (和歌山) 218.	佐 藤 綾 (横手城南)	97.		

選 手 権 大 会 記 錄

団体の部

【女 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大会記録	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	3人×72射	菟 道 高 ・ 京 都	1744	藤田・藤井・三谷・梶原	2005.8. 9	千葉／船橋市
MATCH	3人×9射×2	水 川 高 ・ 大 分	442	緒方・平野・福田・野村	2002.8.12	茨城／松崎村
MATCH	3人×9射	甲 南 女 子 ・ 兵 庫	227	藤 本 ・ 坂 田 ・ 濑 川	2000.8.12	岐阜／高山市

【男 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大会記録	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	3人×72射	米 谷 工 業 ・ 宮 城	1851	赤坂・小野寺・猪股・岩淵	2001.8. 4	熊本／菊陽町
MATCH	3人×9射×2	甲 南 高 ・ 兵 庫	474	藤 井 ・ 鹿 島 ・ 林 ・ 高 垣	2001.8. 6	熊本／菊陽町
MATCH	3人×9射	菟 道 高 ・ 京 都	246	金 村 ・ 木 下 ・ 舟 本 ・ 藤 間	2005.8.11	千葉／船橋市

個人の部

【女 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大会記録	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	72射	明 星 高 ・ 大 分	612	松 下 紗 耶 未	1999.8. 3	岩手／松尾村
MATCH	18射	大 村 工 ・ 長 崎	161	牧 尾 華 奈	2001.8. 5	熊本／菊陽町
MATCH	12射	水 川 高 ・ 熊 本	110	梅 田 舞	1998.8.10	香川／丸龜市
MATCH	36射	水 川 高 ・ 熊 本	312	梅 田 舞	1998.8.10	香川／丸龜市

【男 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大会記録	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	72射	大 宮 開 成 ・ 埼 玉	646	嶋 村 健 一	2001.8. 5	熊本／菊陽町
MATCH	18射	愛 産 大 三 河 ・ 愛 知	168	青 山 哲 也	1999.8. 4	岩手／松尾村
MATCH	12射	大 宮 開 成 ・ 埼 玉	112	嶋 村 健 一	2001.8. 5	熊本／菊陽町
MATCH	36射	大 分 東 明 ・ 大 分	324	天 野 良 太	2003.7.31	長崎／諫早市

選抜大会 栄光の歩み

【男 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	90m	70m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	河合 徳之	浜松工	1199	246.	309.	306.	338.	'83.3.25-27	愛知・森林公園
2	角田 信一	馬頭	1154	259.	277.	294.	324.	'84.3.25-27	静岡・富士市
3	松田 武文	米子北	1131	208.	288.	301.	334.	'85.3.25-27	滋賀・秦荘町
4	田中 喜美男	横浜	1198	265.	300.	294.	339.	'86.3.25-27	福井・芦原町
5	和田 和則	馬頭	1174	234.	269.	307.	317.	'87.3.25-27	東京・駒沢公園
6	荒金 利剛	米子北	1164	237.	282.	318.	327.	'88.3.25-27	大阪・久米田高
7	於久 直人	北大津	1250	273.	319.	315.	343.	'89.3.25-27	神奈川・横浜高
8	赤井 雅宏	北大津	1200	252.	307.	306.	335.	'90.3.25-27	兵庫・神戸市
9	田中 勝美	横浜	1214	277.	321.	291.	322.	'91.3.26-28	愛知・愛学院大
10	厚海 善栄	田村	1216	259.	316.	307.	334.	'92.3.25-27	京都・山城総合
11	木村 正純	横浜	1232	249.	312.	326.	345.	'93.3.25-27	静岡・草薙
12	園田 孝史	横浜	1282	292.	322.	322.	346.	'94.3.27-28	滋賀・長浜市
13	松田 浩行	柏陵	1288	296.	322.	322.	348.	'95.3.26-28	滋賀・長浜市
14	高松 大輔	三重	1238	264.	309.	323.	342.	'96.3.26-28	滋賀・長浜市
15	牧山 雅文	佐賀厳木	1131	214.	278.	298.	341.	'97.3.26-28	茨城・波崎町
16	伊藤 進一	愛産大三河	1239	272.	317.	322.	328.	'98.3.26-28	静岡・掛川市
17	青山 哲也	愛産大三河	1266	279.	318.	325.	344.	'99.3.26-28	静岡・掛川市
18	小泉 直也	水戸桜ノ牧	1192	259.	292.	308.	333.	'00.3.26-28	静岡・掛川市
19	高木 裕太	柏陵	1166	215.	285.	320.	346.	'01.3.26-28	静岡・掛川市
20	島村 健一	大宮開成	1255	276.	307.	327.	345.	'02.3.26-28	静岡・掛川市
21	永田 雅也	東海大付翔洋	1243	274.	311.	317.	341.	'03.3.26-28	静岡・掛川市
22	松本 彰平	可部	1245	282.	309.	314.	340.	'04.3.26-28	静岡・掛川市
23	大野 貴慎	大分東明	1227	280.	303.	313.	331.	'05.3.26-28	静岡・掛川市
24	小林 吏弥	広島工業	1258	276.	315.	327.	340.	'06.3.26-28	静岡・掛川市

【女 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	70m	60m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	上鹿渡 由美	北海道清水	1183	285.	303.	270.	325.	'83.3.25-27	愛知・森林公園
2	田中 志律	千葉英和	1124	257.	268.	274.	325.	'84.3.25-27	静岡・富士市
3	藤本 正美	大津商業	1195	265.	299.	296.	335.	'85.3.25-27	滋賀・秦荘町
4	大城 春野	宜野湾	1153	276.	286.	272.	319.	'86.3.25-27	福井・芦原町
5	松宮 真由美	丹南	1207	283.	299.	306.	319.	'87.3.25-27	東京・駒沢公園
6	近藤 真弓	信愛学園	1216	287.	312.	292.	325.	'88.3.25-27	大阪・久米田高
7	小山 美代子	兎道	1237	291.	314.	304.	328.	'89.3.25-27	神奈川・横浜高
8	高木 裕子	富士見	1177	263.	289.	305.	320.	'90.3.25-27	兵庫・神戸市
9	谷口 和子	折尾	1214	288.	316.	280.	330.	'91.3.26-28	愛知・愛学院大
10	大内 愛	山陽女子	1215	294.	304.	293.	324.	'92.3.25-27	京都・山城総合
11	山岡 麗子	横浜学園	1235	293.	313.	295.	334.	'93.3.25-27	静岡・草薙
12	今福 織江	大分東明	1297	315.	321.	318.	343.	'94.3.27-28	滋賀・長浜市
13	富島 優	甲南女子	1271	292.	319.	318.	342.	'95.3.26-28	滋賀・長浜市
14	田原 雅代	岡崎東	1269	306.	319.	307.	337.	'96.3.26-28	滋賀・長浜市
15	田口 香奈子	東海大二	1208	261.	303.	307.	337.	'97.3.26-28	茨城・波崎町
16	松下 紗耶未	明星	1216	281.	311.	297.	327.	'98.3.26-28	静岡・掛川市
17	渡辺 万由美	甲南女子	1232	291.	313.	301.	327.	'99.3.26-28	静岡・掛川市
18	橋本 晃子	永川	1219	280.	289.	316.	334.	'00.3.26-28	静岡・掛川市
19	瀬川 ゆかり	甲南女子	1239	280.	311.	306.	340.	'01.3.26-28	静岡・掛川市
20	瀬川 ゆかり	甲南女子	1244	296.	315.	299.	334.	'02.3.26-28	静岡・掛川市
21	柴尾 佳なえ	大分東明	1220	299.	306.	286.	329.	'03.3.26-28	静岡・掛川市
22	安田 聰美	札幌啓北商	1218	288.	300.	310.	320.	'04.3.26-28	静岡・掛川市
23	坂井 綾乃	大分東明	1219	306.	288.	290.	335.	'05.3.26-28	静岡・掛川市
24	林 享美	市立前橋	1238	299.	311.	303.	325.	'06.3.26-28	静岡・掛川市

選 抜 大 会 記 錄

11回大会以前・15回大会以降（アウトドア）

2006年3月18日現在

【男子の部】

TOTAL	青山 哲也	1266 (279・318・325・344)	愛知・愛知大三河・第17回大会
90m	幾田 将人	293	埼玉・大宮開成・第24回大会
70m	田中 勝美	321	神奈川・横浜・第9回大会
50m	島村 健一	327	埼玉・大宮開成・第20回大会
30m	上平 章弘	347	青森・名久井農業・第19回大会

【女子の部】

TOTAL	瀬川 ゆかり	1244 (296・315・299・334)	兵庫・甲南女子・第20回大会
70m	板野 綾乃	306	大分・大分東明・第23回大会
60m	池田 敦美	316	山形・天真学園・第7回大会
50m	合澤 さや香	320	大分・大分東明・第19回大会
30m	林 勇氣	342	兵庫・松蔭・第20回大会

12回大会以降～14回大会（インドア）

【男子の部】

TOTAL	松田 浩行	1288 (296・322・322・348)	福岡・柏陵・第13回大会
90m	松田 浩行	296	福岡・柏陵・第13回大会
70m	園田 孝史	322	神奈川・横浜・第12回大会
50m	板倉 幹郎	322	神奈川・三浦学園・第12回大会
30m	松田 浩行	348	福岡・柏陵・第13回大会

【女子の部】

TOTAL	今福 織江	1297 (291・314・304・328)	大分・大分東明・第12回大会
70m	今福 織江	315	大分・大分東明・第12回大会
60m	小出 美沙都	325	大分・明星・第12回大会
50m	今福 織江	318	大分・大分東明・第12回大会
30m	熊谷 愛	344	福岡・柏陵・第12回大会

日本高校記録

2006年3月18日現在

OUTDOOR RECURVE 男子

OUTDOOR RECURVE 女子

FITA ROUND

144 FITA ROUND	大井 隼	富山県立泊高校	1320	1999年
90M FITA ROUND	赤坂 清	米谷工業高校	316	2002年
70M FITA ROUND	加藤 桂規	愛知産大三河高校	331	1998年
50M FITA ROUND	守屋 龍一	岸和田産業高校	336	2002年
30M FITA ROUND	島村 健一	大宮開成高校	354	2002年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	松本 康太 守屋 龍一 赤坂 清	1299 1275 1252	3826	2002年 日本

FITA ROUND

144 FITA ROUND	濱田 紘代	日本	1312	2005年
70M FITA ROUND	瀬川ゆかり	日本	320	2001年
60M FITA ROUND	大平 泉	愛知産大三河高校	332	1996年
50M FITA ROUND	長田 直美	愛知産大三河高校	327	2000年
30M FITA ROUND	大塚 妙子	清水ヶ丘高校	350	2003年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	瀬川ゆかり 馬場可那子 林 勇気	1289 1270 1270	3829	2002年 日本

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	田畠 隼剛	東海大付属相模高校	654	2005年
18 Elim.Match	青山 哲也	愛知産大三河高校	168	1999年
12 Final Match	岩本 雅英	宮代高校	114	2005年
36 Final Total	天野 良太	菟道高校	327	2005年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	菊地 栄樹 大石 哲寛 永田 雅也	650— 646— 618—	1914	2004年 日本
3×9 Team Match	金村 賢 木下 翔平 船本 武宏 藤間 寛人	菟道高校	246	2005年
2×27 Team Match Final Total	福田 圭宏 橋本 千秋 大野 貴慎 矢島 博	日本	479	2005年

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	新田 智訪	泊高校	640	2005年
18 Elim.Match	新田 智訪	泊高校	167	2005年
12 Final Match	梅田 舞	氷川高校	110	1998年
36 Final Total	梅田 舞	氷川高校	312	1998年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	松下紗耶未 村上亜裕美 山路 陽子	613— 586— 585—	1784	2000年 日本
3×9 Team Match	瀬川ゆかり 末陰 章奈 林 勇気	国体兵庫県チーム	239	2001年
2×27 Team Match Final Total	瀬川ゆかり 末陰 章奈 林 勇気	国体兵庫県チーム	465	2001年

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	甲斐 祐樹	大分東明高校	685	1997年
50M	甲斐 祐樹	大分東明高校	336	1997年
30M	牧山 雅文	佐賀県立厳木高校	353	1997年
50・30M ROUND Team Total	長村 邦彦 山本 祥詩 大石 哲寛	667— 658— 657—	1982	2002年 佐賀県立北大津高校

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	川内紗代子	福岡県立折尾高校	667	1996年
50M	小出美沙都	大分明星高校	322	1996年
30M	横田 知子	大分東明高校	346	1994年
50・30M ROUND Team Total	横田 知子 今福 織江 三浦 洋子	646— 645— 616—	1907	1994年 大分東明高校

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	島村 健一	大宮開成高校	2587	2002年
----------------	-------	--------	------	-------

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	小出美沙都	大分明星高校	2539	1995年
----------------	-------	--------	------	-------

日本ジュニア記録

2006年3月18日現在

OUTDOOR RECURVE 男子

OUTDOOR RECURVE 女子

FITA ROUND

144 FITA ROUND	大井 隼	富 山	1320	1999年
90M FITA ROUND	赤坂 清	宮 城	316	2002年
70M FITA ROUND	古川 高晴	日 本	335	2003年
50M FITA ROUND	守屋 龍一	大 阪	336	2002年
30M FITA ROUND	島村 健一	埼 玉	354	2002年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	松本 康太 守屋 龍一 赤坂 清	1299 1275 1252	3826	2002年

FITA ROUND

144 FITA ROUND	濱田 紘代	日 本	1312	2005年
70M FITA ROUND	圖師未希絵	広 島	326	2005年
60M FITA ROUND	大平 泉	愛 知	332	1996年
50M FITA ROUND	長田 直美	愛 知	327	2000年
30M FITA ROUND	大塚 妙子	神 奈 川	350	2003年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	瀬川ゆかり 馬場可那子 林 勇氣	1289 1270 1270	3829	2002年

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	田畠 隼剛	神 奈 川	657	2005年
18 Elim.Match	青山 哲也	愛 知	168	1999年
12 Final Match	岩本 雅英	埼 玉	114	2005年
36 Final Total	金村 賢	京 都	327	2005年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	菊地 栄樹 大石 哲寛 永田 雅也	650 646 618	1914	2004年
3×9 Team Match	金村 賢 木下 翔平 船本 武宏 藤間 寛人	京 都	246	2005年
2×27 Team Match Final Total	福田 圭宏 橋本 千秋 大野 貴慎 矢島 博	日 本	479	2005年

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	新田 智訪	富 山	640	2005年
18 Elim.Match	新田 智訪	富 山	167	2005年
12 Final Match	梅田 舞	熊 本	110	1998年
36 Final Total	梅田 舞	熊 本	312	1998年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	松下紗耶末 村上亞裕美 山路 陽子	613 586 585	1784	2000年
3×9 Team Match	瀬川ゆかり 末陰 章奈 林 勇氣	兵 庫	239	2001年
2×27 Team Match Final Total	瀬川ゆかり 末陰 章奈 林 勇氣	兵 庫	465	2001年

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	甲斐 祐樹	大 分	685	1997年
50M	甲斐 祐樹	大 分	336	1997年
30M	牧山 雅文	佐 賀	353	1997年
50・30M ROUND Team Total	長村 邦彦 山本 祥詩 大石 哲寛	667 658 657	1982	2002年

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	川内紗代子	福 岡	667	1996年
50M	小出美沙都	大 分	322	1996年
30M	横田 知子	大 分	346	1994年
50・30M ROUND Team Total	横田 知子 今福 織江 三浦 洋子	646 645 616	1907	1994年

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	島村 健一	埼 玉	2587	2002年
----------------	-------	-----	------	-------

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	小出美沙都	大 分	2539	1995年
----------------	-------	-----	------	-------

日本記録・FITA世界記録

OUTDOOR TARGET ARCHERY
OLYMPIC DIVISION
MEN
FITA ROUND

2006年3月18日現在

FITA ROUND	山本 博	(埼玉)	1352	2002年	OH,Kyo-Moon	KOR	1379	2000年
90M	山本 博	(日本)	326	2002年	JANG,Young-Ho	KOR	337	2003年
70M	山本 博	(埼玉)	344	1990年	CHOI,Young-kwang	KOR	347	2002年
50M	山本 博	(埼玉)	344	2000年	KIM,Kyung Ho	KOR	351	1997年
30M	山本 博	(埼玉)	358	2002年	KYE,Dong-hyun	KOR	360/17	2002年
TEAM FITA ROUND (3×144)	山本 博 松下 和幹 加藤 秀人	1333 1320 1295	3948	1999年	JANG,Young-Ho CHOI,Young-kwang IM,Dong-Hyon	KOR	4074	2003年

OLYMPIC ROUND

O.R.MATCH TOTAL (72)	松下 和幹	(埼玉)	672	2000年	IM,Dong-Hyon	KOR	687	2004年
O.R.MATCH (18)	茂木 健二	(北海道)	171	1997年	JANG,Yong-Ho	KOR	177	2001年
O.R.MATCH (12)	山本 博	(埼玉)	117	2002年	CHOI,Won-Jong	KOR	120	2005年
O.R.MATCH TOTAL (36)	山本 博	(埼玉)	346	2002年	PAEK,Jong-Min	KOR	346	2001年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	山本 博 末口 広宜 脇野 智和	661 658 634	1953	2001年	JANG,Young-Ho KIM,Bo-Ram OH,Kyo-Moon	KOR	2031	1996年
O.R.TEAM MATCH (3×9)	山本 博 濱野 裕二 古川 高晴	(日本)	254	2004年	HONG,Sung-Chil JANG,Yong-Ho KIM,Bo-Ram	KOR	260	1999年
O.R.TEAM MATCH (3×27)	山本 博 塙田 浩一 井上 嘉正 濱野 裕二	(日本)	495	2002年	JANG,Yong-ho KIM,Bo-ram HONG,Sung-chil	KOR	510	1999年

50, 30M ROUND

50,30m ROUND	山本 博	(神奈川)	690	1988年
50M	山本 博	(神奈川)	336	1988年
30M	山本 博	(神奈川)	354	1988年
TEAM TOTAL	山本 博 松下 和幹 石鉢 利明	680 669 669	2018 (埼玉)	1995年

〈日本最高記録〉

DOUBLE FITA ROUND

DOUBLE FITA ROUND	山本 博	(埼玉)	2663	2002年
70M	山本 博	(埼玉)	633	2002年
60M	松下 和幹	(神奈川)	664	1987年
50M	松下 和幹	(日本)	669	1985年
30M	松下 和幹	(日本)	707	1990年
TEAM DOUBLE FITA ROUND	山本 博 松下 和幹 古橋 照司	2581 2580 2535	7696 (日本)	1988年

女子

FITA ROUND 日本

世界

FITA ROUND	浅野 真弓	(佐賀)	1344	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	1405	2004年
70M	浅野 真弓	(佐賀)	331	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	305	2004年
60M	浅野 真弓	(日本)	340	2001年	KIM,YuMi	KOR	351	2004年
50M	浅野 真弓	(佐賀)	335	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	350	2003年
30M	浅野 真弓	(佐賀)	355	1999年	LEE,Hee-Jeong	KOR	360/14	2001年
TEAM FITA ROUND (3×144)	浅野 真弓 松下紗耶未 山路 陽子	1321 1317 1292	3930 (日本)	2002年	PARK,Sung-Hyun YUN,Mi-jin YUN,Ok-Hee	KOR	4129	2005年

OLYMPIC ROUND

O.R.MATCH TOTAL(72)	川内紗代子	(日本)	654	2000年	PARK,Sung-Hyon	KOR	682	2004年
O.R.MATCH (18)	川内紗代子	(日本)	167	1997年	Kin,Won-Jeong	KOR	175	1998年
O.R.MATCH (12)	浅野 真弓	(学連)	113	1997年	SONG,Mi-Jin	KOR	118	2001年
O.R.MATCH TOTAL(36)	浅野 真弓	(佐賀)	317	2002年	CHOI,Nam-Ok	KOR	345	2000年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	河崎由加里 浅野 真弓 松下紗耶未	(日本)	1889	2003年	PARK,Sung-Hyun LEE,Sung-Jin Yun,Mi-Jin	KOR	2030	2004年
O.R.TEAM MATCH (3×9)	浅野 真弓 松下紗耶未 山路 陽子 渡部 千里	(日本)	241	2002年	PARK,Sung-Hyun LEE,Sung-Jin	KOR	258	2004年
O.R.TEAM MATCH (2×27)	浅野 真弓 松下紗耶未 山路 陽子 渡部 千里	(日本)	476	2002年	PARK,Sung-Hyun LEE,Sung-Jin	KOR	505	2004年

50, 30M ROUND

50,30m ROUND	浅野 真弓	(学連)	672	1998年
50M	浅野 真弓	(学連)	327	1998年
30M	児玉 晶子	(神奈川)	349	1987年
TEAM TOTAL	浅野 真弓 児玉 紗枝 濱本 統子	671 640 612	1923 (佐賀)	1996年

〈日本最高記録〉

DOUBLE FITA ROUND

DOUBLE FITA ROUND	浅野 真弓	(学連)	2653	1997年
70M	浅野 真弓	(佐賀)	650	2002年
60M	児玉 晶子	(日本)	664	1986年
50M	浅野 真弓	(佐賀)	659	2003年
30M	浅野 真弓	(学連)	700	1997年
TEAM DOUBLE FITA ROUND	児玉 晶子 柴田 晶与 石津 裕子	2531 2495 2463	7489 (日本)	1986年

INDOOR TARGET ARCHERY
OLYMPIC DIVISION

男 子

18m (60)	山本 博	(日本)	593	1999年	FRANGILLI,Michele	ITA	597	2001年
25m (60)	山本 博	(埼玉)	592	1994年	FRANGILLI,Michele	ITA	598	2001年
O.R.MATCH (18)	山本 博	(埼玉)	178	1996年	BISIANI Matteo	ITA	180	1996年
O.R.MATCH (12)	末口 広宣	(大阪)	119	2000年	JOHNSON,Richard	USA	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	濱野 裕二	(学連)	351	2000年	FRANGILLI,Michele	ITA	358	2002年
O.R.TEAM MATCH (27) (3×9)	山本 博 古川 高晴 稻本 雅由	(日本)	259	2005年	TOLLIS,Richard PARKER,Shane WUNDERLE,Victor	USA	268	1999年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					FRANGILLI,Michele CASSAVECCHIA,Mario GALIAZZO,Marco	ITA	533	2002年

女 子

18m (60)	榎本 静香	(学 連)	586	2004年	HERASYMENKO,L.	UKR	591	1997年
25m (60)	池垣 優子	(北海道)	569	1994年	ERICSSON Petra	SWE	592	1991年
O.R.MATCH (18)	川内紗代子	(福 岡)	177	2004年	BURDEYNAY,Natalia	UKR	179	1999年
O.R.MATCH (12)	馬場可那子	(学 連)	119	2005年	VALEEVA Natalia	MLD	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	河崎由賀里	(広 島)	346	2002年	VALEEVA Natalia	ITA	358	2002年
O.R.TEAM MATCH (27)	川内紗代子 浅野 真弓 大塚 妙子	(日 本)	256	2005年	ERDYNIEVA,Gerelrna KOZLOVA,Oxana POUTTSEVA,Anna	RUS	265	2003年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					NULLE,Wiebke PFOHL,Cornelia SACHSE,Sandra	GER	520	1997年

記録収集について

競技委員会

記録収集の意義につきましては組織の歴史であり、同時に将来的な発展の最も大きな原動力となるべきものであります。競技力の向上、組織の活性化、競技の普及拡大、すべてこの記録無しには考えられません。つきましては記録送付及び記入要領は下記のとおりお願いします。

【1】送付記録は原則としてコンピュータデータの形式とする。

【2】種別、種目、項目は次の通りとする。

男女別 個人 歴代100傑 (シングル)、シングルラウンド

70mWラウンド、インドアー18m (W) 旧年度分

【3】各都道府県で【2】の2種別、8種目について競技者のランキングを作成し、そのデータを送付する。

【4】送付用フロッピーは競技委員会より配布するので、その中に入力する。

【5】記録送付競技会

(1) 全国高体連に登録した競技会 (3競技) } 年間事業計画様式 [1]
(2) 全ア連公認競技会 (他県の競技会は不可) } で提出してあること。

データ入力上の注意

【1】各項目への入力について

- (1) 配布されたフロッピーの“例”に従って入力すること。
- (2) 各項目の氏名は1人1回になるように各県で整理をしてください。
- (3) ランクは消去して下さい。
- (4) 登録番号は必ず入力して下さい。
- (5) 氏名

全角左詰めとします。(全角6文字)

例	氏2文字	名2文字	□□	□□
	氏2文字	名1文字	□□	□
	氏1文字	名2文字	□	□□□
	氏3文字	名3文字	□□□	□□□
	氏3文字	名1文字	□□□	□

(6) 記録入力期間

当該年度の 4月1日～11月20日迄とする。

【2】得点記録集計のフロッピーについて

- (1) エクセルで作成されたデータとする。
- (2) フロッピーは3.5インチ (2HD) を使用する。
- (3) フロッピーは必ずコピーディスクにラベルをつけ、県名、入力責任者、学校名、電話番号を記入して送付する。

- (4) フロッピーの返却はしないので、必ずバックアップを取ってください。
- (5) Eメールの添付ファイルでの送付も可。

メールアドレス

nogami67@yahoo.co.jp

【3】送付締切期日

締切期日 当該年度の**11月20日** (必着)

受け付けは11月1日～ 遅れると入力されませんので注意してください。

【4】送付先

〒 770-0006 徳島市北矢三町2丁目1番1号

徳島工業高校

住友 和雄 宛

TEL 088-631-4185

FAX 088-631-1110

★ 問い合わせ・質問は出来るだけFAX又は郵便でお願いします。

【5】ランキング表購入依頼

- (1)ランキング表は1冊1000円です。
- (2)全国高体連に登録されている学校は、最低一冊以上の購入をお願いします。
- (3)全国総合体育大会専門委員長会議の時点で注文部数は決定する。
- (4)支払いは全国高体連アーチェリー専門部ランキング担当の口座 (P86参照) に振込むか、又は全国選抜アーチェリー大会会場にてお渡しください。

【6】Eメールでデータ送付の注意事項

- (1)エクセルで作成されたデータとする。
- (2)夏の専門委員長会議で配布したフロッピーの中に入力すること。
上記のデータでないと集計はできません。
- (3)記録担当者は、データが完成したら各校へFAXを送るなどして確認を取ること。

高 校 公 認 記 錄 規 程

- 第1条 全日本アーチェリー連盟（以下「全ア連」という。）規約第6章第138条にもとづき、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「本専門部」という。）事業計画（様式Ⅰ）により提出し認められたもの。
- 第2条 本連盟の加盟・登録者が、この規定の定めるところにより、その加盟学校および登録構成員が、以下にかかげる諸条項のもとに行われた競技会において作られた記録に限り公認申請することができる。
- 第3条 日本高校記録は、全ア連競技規則第138条の外、次の条件を満たすこと。
- 1) 当該年の4月1日現在18歳未満の高校生の記録であること。ただし、定時制生徒は19歳未満とする。
 - 2) (1)全ア連が公認した競技会における記録。
(2)各都道府県単位または地域高校競技会の記録。
ただし、印刷したプログラムがあり、競技委員長・審判長・射場長は公認審判員であること。
 - (3)50M・30Mラウンド及びハーフラウンド団体の記録は、ハーフラウンドの競技会の記録であること。
- 第4条 個人の距離別の記録公認については、第3条に規定された競技会において樹立されたものを申請することができる。
- 第5条 前条に定める競技会の記録公認申請は、競技の日より原則として1カ月以内に主催または主管団体長が前条の確認をなし、全ア連所定の記録承認申請書（連盟様式一6）に必要事項を記載し、全ア連事務局に提出するものとする。
- 第6条 全ア連理事会で審査の結果、新記録として承認されたときは、その旨を本専門部においても発表し、高等学校記録証を交付する。
- 第7条 毎年12月10日付をもって、各都道府県高体連ア専門部または各都道府県ア協会は第3条に定めた競技会による当該都道府県の高等学校最高記録を保管し、その写しを毎年12月20日までに本専門部事務局まで送付しなければならない。
- 第8条 本規定は、本専門部理事会において改廃する。
- 第9条 本規定は昭和57年5月9日より施行する。

昭和60年4月1日一部改正

昭和63年2月11日一部改正

平成6年8月5日一部改正

平成8年3月26日一部改正

申請書送付先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内 全日本アーチェリー連盟 宛

平成 年 月 日

全日本アーチェリー連盟

會長 殿

主 催 者 名

主管团体名

會長名

会長名 印

新記録の樹立承認申請書の送付について

(申 請)

標記のことについて、下記の通り新しい記録が樹立されましたので、
ここに関係書類を添えて申請いたします。

なお、関係書類の到着のうえは、書類内容の点検をいただくとともに念のため受領確認書を送付くださるようお願いします。

記

1. 内容記録：記録申請
 2. 送付書類：
 - ア) 記録承認申請書…………… 1 部
 - イ) スコアーシート（写） …… 1 部
 - ウ) 競技会プログラム…………… 1 部
 - エ) 競技会成績表…………… 1 部

以上

受 領 確 認	全 日 ア 連	受付月日： ----- -----	月 日
		確認者： ----- -----	
		氏 名： ----- -----	㊞

(上記記入のうえ、複写書類を返送下さい)

(競技・様式第4号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

競技団体名 _____

競技団体会長名 _____ 印

新記録承認申請書

下記の競技会において、新記録〔日本記録、日本国際記録、日本ジュニア記録、日本高校記録（参考記録）〕が作られましたので、この記録の承認を申請・報告いたします。

競技会名								
開催日								
競技会場								
(所在地)	都道府県			市町村（区）				
競技責任者	印（競技委員長の署名・捺印）							
競技種目					得点記録			
(選手名又はチーム名)			(勤務先名又は学校名) 個人記録の時のみ記入					
記録内容	区分	選手名	登録番号	m	m	m	m	
	個人							
	団体	①						
		②						
		③						
(備考)	1. 申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 新記録対象項目を丸印で囲むこと。 2. 添付書類の ①スコアカード ②競技会プログラム ③競技会成績一覧表を必ず提出すること。							

本連盟は、上記の記録を承認いたしました。

平成 年 月 日

社団法人 全日本アーチェリー連盟

会長 海部俊樹 印

専門部競技会計画

平成18年度（2006年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《奈良県》

第25回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

第9回世界ジュニア選手権大会《会場・期日 未定》

平成19年度（2007年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《佐賀県》

第26回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

アジア・ジュニア選手権大会《会場・期日 未定》

平成20年度（2008年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《埼玉県》

第27回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

第10回世界ジュニア選手権大会《会場・期日 未定》

平成21年度（2009年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《滋賀県》

第28回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

大会開催地（予定）

和歴	西歴	I H・選手権	選抜大会	国体
平成18年	2006	奈 良	静岡県・掛川市	兵庫県・滝野町
平成19年	2007	佐 賀	静岡県・掛川市	秋田県・阿仁町
平成20年	2008	埼 玉	静岡県・掛川市	大分県・挾間町
平成21年	2009	滋 賀	静岡県・掛川市	新潟県・吉田町

I Hは、東 地区・・・北海道・東北・関東地区（15都道府県）

中 地区・・・北信越・東海・近畿地区（15府県）

西 地区・・・中国・四国・九州地区（17県）

のローテイション（東・中・西）で9年に1回の開催。

平成18年度全国高等学校アーチェリー選手権大会競技方法について

高円宮賜牌 第39回全国高等学校アーチェリー選手権大会

主 催 (財)全国高等学校体育連盟・(社)全日本アーチェリー連盟
奈良県・奈良県教育委員会・橿原市・橿原市教育委員会
後 援 文部科学省・(財)日本体育協会・NHK
(財)奈良県体育協会・橿原市体育協会
主 管 (財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部
千奈良県高等学校体育連盟・奈良県アーチェリー連盟
協 賛 コカ・コーラ

1. 期 日

(1) 公式練習	平成18年8月4日（金）	12時30分～14時30分
(2) 開会式	平成18年8月4日（金）	15時30分～16時15分
(3) 競 技	平成18年8月5日（土）～7日（月）	3日間
(4) 閉会式	平成18年8月7日（月）	競技終了後

2. 会 場

(1) 開会式	奈良県立橿原公苑陸上競技場 所在地 〒634-0065 奈良県橿原市畠傍町53番地 TEL0744-22-2462
(2) 競 技	橿原公苑陸上競技場
(3) 閉会式	橿原公苑陸上競技場 (荒天時 橿原公苑第1体育館)
(4) 練習会場	橿原公苑野球場

3. 競技種目

競技の種目・種類・種別は次のとおりとする。

(1) 種 目	リカーブ部門、団体競技・個人競技
(2) 種 類	予選ラウンドにおいては、団体戦・個人戦ともにFITA70m予選ラウンドとし、決勝ラウンドでは団体戦・個人戦ともにマッチラウンドとする。
(3) 種 別	男子の部・女子の部

4. 競技日程

日 程	実 施 内 容	時 間 帯	摘 要
	8月3日(木)	10:00~16:00	練習会場開設
1日目	8月4日(金) 団体・個人競技 予選ラウンド	10:00~11:00	監督会議
		12:30~14:30	公式練習・弓具検査
		15:30~16:15	開会式
		9:00~14:00	練習会場開設
2日目	8月5日(土) 団体・個人競技 予選ラウンド	8:40~12:30	男子 予選ラウンド
		13:20~17:10	女子 予選ラウンド
		13:10・17:50	男子・女子予選通過校(選手)発表 (掲示発表による)
		9:00~17:00	練習会場開設
		8:40~ 9:30	個人男女1回戦1組目
3日目	8月6日(日) 個人競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 準々決勝より 男女交互進行による 表彰式	9:55~10:45	個人男女1回戦2組目
		11:10~11:45	個人男女2回戦
		12:00~12:35	個人男女3回戦
		13:20~13:50	個人男女準々決勝戦
		14:05~14:35	個人男女準決勝戦
		14:50~15:20	個人男女3位決勝戦
		15:30~16:00	個人男女優勝決勝戦
		16:30~	個人戦表彰式
		9:00~17:00	練習会場開設
3日目	8月7日(月) 団体競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 準々決勝より 男女交互進行による 表彰式・閉会式	8:40~ 9:25	団体男女1回戦1組目
		9:45~10:30	団体男女1回戦2組目
		10:50~11:20	団体男女準々決勝戦
		11:35~12:00	団体男女準決勝戦
		12:15~12:40	団体男女3位決勝戦
		12:50~13:15	団体男女優勝決勝戦
		14:10~15:00	団体表彰式・閉会式

5. 競技規則

200◆~200◆年(社)全日本アーチェリー連盟競技規則および大会運営による。

6. 競技方法

(1) 予選ラウンド

ア 1レーン2標的で、1標的同時2人2立(AB・CD)とする。

イ 行射はAB・CD/CD・ABとし、得点記録・矢取りは1エンド6射毎に行う。

全国高体連アーチェリー専門部部活動要綱(安全対策)

1. 活動目的

クラブ活動としてアーチェリーを正しく真剣に学び、技術の向上をはかるとともに、心身を練磨して、礼節を尊び、自己の修養に努め、立派な人間形成を目指すものとする。また、部活動を通じ、先輩後輩の集団生活の中から、和の大切さを学び、部員相互の親睦を深めることをもって目的とする。

2. 活動内容

- (1) 練習日 学校長または顧問の承諾を得た日とする。
- (2) 合宿 学校長の承諾を必要として以下のとおりとする。
 - 1) 学校(部活)主催の合宿
 - 2) 各都道府県アーチェリー協会主催の合宿
 - 3) 各都道府県高体連主催の合宿
- (3) 対外試合
 - ・高体連主催の各種大会
 - ・県または市協会(競技団体)が主催し、県高体連が共催する大会
 - ・競技団体が主催し、一體連が共催する大会
 - ・全国高体連主催の大会
 - ・競技団体が主催し、全国高体連が共催する大会
 - ・国民体育大会及び予選大会
 - ・教育委員会が主催する都道府県内の市区町村大会
 - ・競技水準の高い者を選抜して開催する大会
 - ・学校長の(承諾を得て参加する)練習試合及び招待試合

3. 練習内容

- ・練習内容は、主将が他の役員と相談し、顧問教員の許可を得て決定する。
- ・随時筋力トレーニング、ランニング等のトレーニングを導入する。
- ・部員は、いかなる場合も指導教員及びコーチの指示に従わなければならない。

4. 安全対策(アーチェリーメンバーの遵守項目)

- ・弓具は常に点検すること(特に弦切れ)
- ・他人の弓具に無断でふれること
- ・アームガード等は、必ず使用すること
- ・ストリンガーで弦を張るとき、弓の真上に顔をおかないようにする
- ・身体にフィットした服装で行射する事(上着のポケットに物を入れたりして行射しないこと)
- ・的の方向に人がいたら決して行射しないこと
- ・人のいる方向に向いてたとえ矢をつがえてなくても弓をひかないこと
- ・セットアップの時、弓を頭の高さより上段に構えて引き込み(ドローイング)を行わない。

- ・空引き（矢をつがえずに弦を離すこと）はしない
- ・矢取りは、全員同時に合図をもって行うこと
- ・矢を抜くとき、矢の後方に人がいないことを確認してから抜くこと（他人の目をつくことがある）
- ・的の後方に矢取りに行くときは安全を確認しておこなうこと
- ・弓矢は土の上におかず、グランドクイーバー等を使用する。

5. 健康管理

- ・体調の悪い場合は無理に参加しないこと。
- ・練習中気分が悪くなったら先生にすぐに知らせること。
- ・日々規則正しい生活をし、各自健康に留意すること。

6. その他

- ・練習を遅刻、欠席する場合は責任者に届け出ること。
- ・先生、先輩はもちろん、お互いにきちんと挨拶をかわすこと。
- ・アーチャーとして気品ある行動をとること。

服 装 規 定

競技部 競技委員会 細則
昭和62年2月11日改定
平成5年3月26日改定
平成8年7月31日改定
平成12年8月8日改定
平成17年8月10日改定

I ユニフォームは、チーム内で統一されていること。統一の範囲は上衣・下衣とする。

1、上 衣

学校名は背面もしくは前面に、都道府県名は右腕の袖口に、それぞれ1ヶ所明示しなければならない。なお、いずれも弓具装着時に視認できる位置に表示する。
その他の名称等は表示してはならない。

(その他の名称等には学校名、クラブ等の愛称も含む)

長袖、短袖は同一デザインならば、混在し着用できる。シャツの裾は下衣の中にいれ、外に出してはならない。

2、下 衣

スポーツにふさわしいスタイルのウェアを着用すること。無地（单一色）で男子はスポーツスラックス又はショートパンツとし、女子はスポーツスラックス又はスカート・ショートパンツを着用する。

ショートパンツについては、競技者が腕を垂らした時に指先より長く、かつ膝頭が見えること。スラックスとショートパンツの混在は認めない。

なお、綿パン、オーバーサイズ、バギーパンツ、スエット、デニム等は競技用として認めない。

II 靴、靴下に関して

すべて白を基調としたものとする。

1、靴

アーチェリー競技に適した運動シューズとする。

(カジュアル、ダンス、タウン等の競技に適さないと認められるものは使用できない。)

2、靴下

ルーズソックス等は認めない。

III その他

1、チームとは登録選手、マネージャーとする。

2、監督が競技場内に立ち入るときは、選手と同じ上衣を着用しなければならない。

下衣については上記規定を厳守することが望ましい。靴は白地を基調とする運動シューズとする。

3、使用頻度、経年による上衣等の退色等は認める。

4、大会の場にふさわしくない服装は認めない。

5、視認できる部分の商標の大きさ基準は縦、30cm以内とする。

6、帽子は、白を基調とし、統一する。

IV 上記の規定外の服装に関しては、審判長および大会実施責任者の裁定に委ねる。

V 競技用ゼッケンの装着位置

上衣背面に四隅で止め、ゼッケンにより学校名等の視認が妨げられない位置に装着すること。下衣に装着してはならない。

主催者側で用意するゼッケンは縦15cm、横25cm。

尚、本規定は平成18年4月1日より実施するものとする。

得点記録の方法についての一部変更

本専門部が定める得点記録方法を下記規定に変更し、平成18年4月1日より実施する。

全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技会大会要項

VI 得点記録について

- ・その矢を所有する競技者の呼称にしたがって、高い得点から順にスコアカードに記入する。
その標的の他の競技者は、呼称・記録される矢の得点を確認する。
- ・矢の所有者および他の同一標的を使用する全選手が、それぞれを分担して確認を行い、適正確実に実施するものとする。
- ・競技者自身が関与する得点記録業務の内容は、他の競技者の得点記録や順位に関する権利にも影響を及ぼす部分である。それぞれが、下記の順序と各々の分担業務を確実に行うこと。役割等を拒んだ場合は、競技会への参加権利を失うものとする。虚偽が発生した場合は、該当選手又は同標的選手全員を失格とすることもある。
- ・全国大会(学校総合体育大会)では得点記録は、主管地で配置する記録補助生徒が記入をおこなう。

順序	得点記録の順序／業務分担例	ゼッケンA	ゼッケンB	ゼッケンC	ゼッケンD
1	Aの得点記録	得点呼称	呼称確認	記入確認	呼称確認
2	Bの得点記録	呼称確認	得点呼称	呼称確認	記入確認
3	Cの得点記録	記入確認	呼称確認	得点呼称	呼称確認
4	Dの得点記録	呼称確認	記入確認	呼称確認	得点呼称

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約

第 1 章 名 称

第1条 本専門部は全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は部長指定の学校に置く。

第 2 章 目 的

第3条 本専門部は全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」と称する）規約第3条に基づき、高等学校におけるアーチェリー競技の健全な育成発展を図ることを目的とする。

第 3 章 事 業

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国大会開催に関する事項の審議並びに執行。
- (2) アーチェリーの普及並びに競技力の向上に関する事項。
- (3) アーチェリーの講習及び調査研究。
- (4) 関係団体との連絡。
- (5) その他目的達成に必要な事項。

第 4 章 組 織

第5条 本専門部は全国高体連規約第6条に基づき、各都道府県アーチェリー専門部をもつて組織する。

第 5 章 役 員

第6条 本専門部は次の役員を置く。

- (1) 役員
 1. 部長 1名
 2. 副部長 若干名
 3. 委員長 1名
 4. 副委員長 若干名
 5. 常任委員（ブロック代表9名+若干名）
 6. 委員（各都道府県より1名）
 7. 監事 2名
 8. 事務局長 1名
- (2) 本専門部は顧問を置くことができる。

第7条 役員の任期は2ヶ年とする。但し、再任は防げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本専門部の役員は校長、教諭より選出する。但し、顧問を除く。

- (1) 部長及び副部長は委員の推薦により、全国高体連理事会の承認を得て、部長これを委嘱する。
- (2) 常任委員は全国9ブロック（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）において選出された1名と若干名の推薦者を部長これを委嘱する。
- (3) 委員は各都道府県高体連アーチェリー専門部より1名を選出する。
- (4) 委員長及び副委員長並びに事務局長は常任委員会にて選出し、全国専門委員長会（以下委員会と称する）にて承認する。
- (5) 監事は委員会で選出する。
- (6) 顧問は委員会で推举することができる。

第9条 役員の任務及び構成は次のとおりとする。

- (1) 部長は本専門部を代表し、会務を統轄し全国高体連理事会に出席する。
副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 三役は三役会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長）を構成し代表者会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、競技委員長、強化委員長、審判委員長、総務委員長）とともに本専門部の企画、立案する。
- (3) 常任委員は、常任委員会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、常任委員）を構成し、本専門部の企画立案するとともに委員会の承認をえてその執行にあたる。
- (4) 委員は委員会（各都道府県代表、部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、監事、顧問）を構成し、本専門部の重要事項を審議決定する。
- (5) 監事は本専門部の会計を監査し、その結果を委員会に報告する。
- (6) 顧問は本専門部の組織運営について委員会並びに常任委員会の諮問に応ずる。

第 6 章 会 議

第10条 委員会は年1回部長が召集し、次の事項を審議する。但し、部長が必要と認めた場合または委員の1/3以上から会議の目的事項を示して請求があった場合は、速やかに委員会を召集しなければならない。

- (1) 会議では次の事項を審議する。
 - ア. 事業報告並びに計画
 - イ. 決算並びに予算
 - ウ. 役員の選出
 - エ. 規約の改正
 - オ. その他の重要事項

第11条 常任委員会は必要に応じ、部長がこれを召集する。常任委員は常任委員会の開催を要請できる。

第12条 委員会及び常任委員会は総会の $\frac{1}{2}$ 以上の（委任状を含む）の出席がなければ開くことができない。すべての会議は部長が議長となる。

第 7 章 専門委員会

第13条 本専門部の事業遂行のため、各種の専門委員会を設けることができる。

(1) 専門委員会の名称・目的及び委員は委員会の決議を経て部長が定める。

(2) 専門委員会の規定は別にこれを定める。

第 8 章 事務局

第14条 本専門部に事務局をおく。事務局の規定は別にこれを定める。

第 9 章 規約の変更

第15条 本専門部の規約は委員会において、委員の $\frac{2}{3}$ 以上の同意を得て変更することができる。

第 10 章 会計

第16条 本専門部の経費は補助金・助成金その他の収入によってこれをあてる。

第 11 章 付則

第17条 規約の施行については必要な事項は委員会の議決を経て部長が定める。

附則 この規約は平成元年2月11日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

総務委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき総務委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第4条の事業に必要な資金を調達すること。
 2. 優秀選手の表彰に関すること。
 3. 関係功労者の表彰に関すること。
 4. 規約改正に関すること。
 5. 機関誌の発行に関すること。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

競技委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき競技委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会に関する基本方針を確立すること。
 2. 全国高等学校アーチェリー選手権大会および選抜大会の実施方法その他の重要事項を審議すること。
 3. 本専門部関係の競技会の調整をはかること。
 4. 各競技会の記録整理および認定保存をはかること。
 5. その他競技に関する必要事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

審判委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき審判委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会への審判員派遣に関する基本方針を確立すること。
 2. 審判員養成および研修事業に関すること。
 3. 審判資格修得および更新に関すること。
 4. その他、競技規則および審判に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 全国9地区（ブロック）の審判委員会委員長および専門部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
 2. 委員会で推薦された若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

強化委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき強化委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 強化ならびに普及活動に関する計画立案と、その推薦および指導に関すること。
 2. 国際競技等に代表選手を派遣すること。
 3. 指導者の養成および活動に関すること。
 4. その他、強化、普及に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

事務局規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第14条に基づき事務局に関する規定を定める。

第2条 事務局は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟との連絡等に関すること。
2. 各大会における関係機関への連絡等に関すること。
3. 全日本アーチェリー連盟と各都道府県アーチェリー協会（連盟）との連絡等に関すること。
4. 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部との連絡に関すること。
5. 会員登録に関すること。
6. その他部長が指定する事項を処理する。

第3条 事務局には次の職員を置く。

事務局長 1名 事務員 若干名

第4条 事務局長は、事務局を統轄し、事務局員を指導監督する。

第5条 事務局員の数並びにその任命は常任委員会の承認を得て事務局長が行う。

第6条 事務局員は事務局長の命を受け、本専門部会の事務を処理する。

第7条 事務局長の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

アーチェリー専門部表彰 規 程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下専門部と称する）では、表彰に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し表彰する。
- 第2条 この規程は全国高等学校体育連盟アーチェリー競技の普及振興に功績があった者等に対し表彰を行うとともに、全国高等学校体育連盟表彰規程の被表彰者の推薦母体に資することを目的とする。
- 第3条 前条に定める被候補は、次の各号から推薦するものとする。
1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
 2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
 3. その他。
- 第4条 表彰者の選考は部長・副部長・委員長・副委員長・事務局長があたり、常任委員会の承認を受けるものとする。
- 第5条 表彰は、常任委員会または全国高等学校アーチェリー選手権大会において行う。
- 第6条 本規程表彰者推薦のための基準は次の通りとし、重複表彰はしない。
1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
 - 1) 専門部役員については、3期（6年）以上とする。
 2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
 - 1) 専門委員長については6年以上とする。
 3. その他、特に功績のあった者。
- 第7条 推薦手続きは毎年4月中旬・10月中旬までに本専門部事務局宛に提出する。
- 第8条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

平成3年7月25日一部改正。

アーチェリー専門部慶弔 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「専門部」と称する）では、慶弔に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し敬意を表わすことができる。

第2条 その基準と範囲は次のとおりとする。

1) 慶事に関して

ア) 功績者および関係役員等が、他からの栄誉を称えられた場合。

2)弔事に関して

ア) 功績者および関係役員等に不幸が生じた場合。

3) 範囲

ア) 記念品または弔慰金等およびこれらの電文とする。

第3条 その他、この規程に定めない特別の場合については、常任委員会の承認を得て敬意を表すことができる。

ただし、緊急の場合は部長がこれを出し、常任委員会に報告・承認を得るものとする。

第4条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は、平成2年4月1日より施行する。

連絡先および口座番号

1. 事務局

〈登録担当〉

〒330-8567 埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615 大宮開成高校内
TEL 048-641-7161
FAX 048-647-8881

2. 競技部

〈記録登録〉

○住 友 和 雄 〒770-0006 徳島市北矢三町2丁目1-1
徳島工業高校
TEL 088-631-4185
FAX 088-631-1110

3. ランキング表支払い口座

(銀行名) 阿波銀行 佐古支店 (店番102)
(預金種目・口座番号) 普通預金 1019910
(口座・代表者名) 住 友 和 雄

4. (財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局の口座

(銀行名) 埼玉りそな銀行大宮支店 (店番369)
(預金種目・口座番号) 普通預金 5362792
(名称) (財)全国高体連アーチェリー専門部事務局
ザイ) ゼンコクコウタイレンアーチェリーセンモンブ

5. 全日本アーチェリー連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育馆4F
TEL 03-3481-2402

競技会の公認についての連絡

全国高体連アーチェリー専門部
事務局

全国高等学校アーチェリー選抜大会の要項を発送致しましたが、各都道府県で実施している全日本アーチェリー連盟公認試合の申請及び結果報告についてさまざまな問題が発生しております。

通達や登録用紙送付・全国委員長会議等において指示をして参りましたが、依然として申請並びに結果報告に問題があり、出場資格の公認において重大なるミスが明らかになっている都道府県があります。特に、ランキング表上位20名の出場審査におきまして、全日本アーチェリー連盟に結果報告書の提出されていない大会があります。

今回に限り、全日本アーチェリー連盟競技部の特別の計らいにより参加を認めましたが、次年度大会より公認申請と結果報告がなされていない記録に関しては失格とする処置を取ります。

生徒の将来にかかる重大な問題でもありますので、くれぐれも公認規定と各種の報告書の処理を熟読・理解し対処をお願い致します。

◎高体連事務局に年間行事計画を提出 4／20締め切り (指定用紙)

◎全日本アーチェリー連盟に競技公認申請書 4月下旬までに提出 (指定用紙)

☆大会終了後速やかに ・公認競技会成績報告書 ・プログラム

・成績一覧表

全日本アーチェリー連盟に原本 全国高体連事務局にその写しを送付

以上

高体連主催競技会の公認について

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

高体連主催の競技会を本連盟の公認を得たい場合は次の要領で手続きをおこなってください。また、本連盟の公認競技会とするには本連盟の競技規則に基づいて競技会が運営されていなければならない。(特に競技役員は公認審判員で構成する必要がある。)

1. 公認競技会の回数と公認料について

高体連主催の競技会は県大会は年3回、地区大会は年1回の公認料は免除する。これを超えて開催したい場合は規定の公認料(1試合につき10,000円)が必要となる。

2. 県大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

県高体連は5月下旬(選手登録〆切期日)までに「競技会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請してください。

その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

県高体連は公認競技会が終了した1ヶ月以内に「公認競技会成績報告書」に競技会成績表を添えたものを県協会の承認を得てから本連盟事務局へ送付・報告をおこない全国高体連事務局へは成績表のみ送付する。

3. 地区大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

地区大会を主管する県高体連は5月下旬までに「地区大会公認申請書」必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請をおこなってください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

公認競技会の成績報告については主管団体が2.(2)と同様の処理をおこなうものとする。

4. 大会の申込期日近くに開催した公認競技会の処理方法について

出場申込をする大会の申込期日近くに開催した公認競技会の得点記録をその大会の申請点とする場合は、FAXによる(仮)報告をおこなってください。後日、正式な報告をおこなってください。

以上

(注 意)

この手続(競技会公認申請・成績報告)がされていない場合、この競技会の記録は公認されないことになり、この記録で本連盟主催の選手権大会等に出場申込をした場合、失格する場合がありますのでご注意ください

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

公認競技会(公認記録)について

本通達は、全日本アーチェリー連盟(以下、本連盟という。)が、日本記録等の認定並びに本連盟が主催する選手権大会等の選手選考の対象となる公認記録について次のように定める。

1. 公認記録

公認記録とは、本連盟が公認した競技会で記録された得点記録のことであり、本連盟に記録の報告があつたものをいう。

2. 公認競技会

本連盟が公認する競技会は次のものである。

- [1] オリンピック、世界選手権大会等のFITAが公認した競技会
- [2] 本連盟を代表として参加した国際競技会 [3] 本連盟の承認を得て参加した国際競技会
- [4] 本連盟が主催または共催する競技会 [5] 本連盟が後援する競技会…各地区大会
※申請手続き等は「地区大会の競技会公認申請・成績報告についての説明文」を参照する。
- [6] 本連盟の加盟団体が主催する競技会で、事前に本連盟の公認を得ており、本連盟の競技規則、その他の規定に基づいて実施されている競技会

3. 申請手続

(1) 加盟団体の本連盟への競技会公認申請手続きは次のとおりである。

- ①各都道府県アーチェリー協会(連盟)(以下、県協会という。)

年初(4月末まで)に競技会公認申請書(競技・様式第2号)により公認料を添えて申請する。なお、県協会の構成団体が本連盟の公認を得たい場合は下記の条件を満たしていること。公認申請は県協会が自協会分と合わせて申請すること。

- ・県協会の共催および主管を得ていること。
- ・競技会は本連盟の競技規則、その他の規定に基づいて実施されていること。

- ②全日本学生アーチェリー連盟(以下、学連という。)

年初(4月末まで)に各地区学連分も合わせて競技会公認申請書により公認料を添えて申請する。

- ③各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部(以下、県高体連という。)

県高体連は5月下旬(選手登録締切日)までに競技会公認申請書を県協会の承認を得てから公認料を添えて申請すること。

(2) 公認競技会の追加申請

公認競技会を追加したい場合、その競技会の開催日の1か月前までに競技会公認申請書を提出されなければならない。公認料は全て有料である。

(3) 雨天等により公認競技会の延期または中止した時の処理

速やかに公認競技会中止・変更(延期)届書(競技・様式第5号)を提出すること。

4. 公認料

公認料の金額および免除回数は理事会において別途定めて通達する。

5. 申請単位

公認競技会の申請単位は開催日が複数日であっても連続していれば1競技会と計算する。

そして、開催日が異なる場合はどんな場合でも別の競技会と見なす。

以上

日本記録、日本国際記録および日本高校記録の承認手続および記録管理要領

日本記録、日本ジュニア記録・日本高校記録の承認手続および管理は次の要領でおこなうものとする。

1.記録の種類

全日本アーチェリー連盟(以下本連盟という。)で公認する日本記録、日本国際記録、

日本ジュニア記録および日本高校記録は(別表-1)のとおりとする。

2.新記録の対象記録

新記録の対象となる得点記録は本連盟が公認している競技会の得点記録でなければならない。

3.新記録の申請手続方法

公認競技会の種類により申請手続は次のとおりとする。

①オリンピック・世界大会、国際大会および本連盟主催競技会(選考会も含む)

記録が更新された時点で直ちに承認をおこない、後日開催される理事会において確認する。(新記録の申請は不要)

②上記以外の公認競技会

競技会を主催(または主管)した団体が新記録承認申請書(競技・様式第4号)にスコア・シート、競技会プログラムおよび成績表を添えて次のタイミングにより本連盟に申請する。

記録更新日	申請締切日	最終締切日
4月1日～6月30日	記録樹立後1ヶ月以内	7月31日
7月1日～9月30日	"	10月31日
10月1日～12月31日	"	1月31日
1月1日～3月31日	"	4月30日

4.新記録の承認手続

本連盟競技委員会は申請締切日からの1ヶ月間で提出された申請書に基づき「日本記録承認願」を作成し、理事会の承認を得るものとする。

ただし、理事会の開催時期の都合により、文書による場合がある。

5.新記録の広報

本連盟競技委員会は理事会で新記録が承認されたら、「日本記録一覧表」の更新をおこない、各加盟団体に送付する。

6.記録の保存管理

本連盟競技委員会は年度末には日本記録一覧表(3月31日現在)と主要競技大会の成績表のダイジェスト版で「年度競技会報告書」を作成し、各加盟団体に送付する。

ただし、本連盟が保存するものについては、主要競技大会の成績表(全)を添付するものとする。

7.日本国際記録

日本国際記録については次のような取扱いをするものとする。

①日本国内で開催された公認競技会において、本連盟に競技者登録をおこなっている外国籍の選手および海外からの招待選手が日本国内において日本記録を更新した場合、日本国際記録として公認をおこない、日本記録がその国際記録を更新するまで管理を行う。

②記録の申請および承認手続は日本記録と同様の処理とする。

以上
(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員会

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

高体連主催競技会の公認について

高体連主催の競技会を本連盟の公認を得たい場合は次の要領で手続をおこなってください。また、本連盟の公認競技会とするには本連盟の競技規則に基づいて競技会が運営されていなければならない。(特に競技役員は公認審判員で構成する必要がある。)

1. 公認競技会の回数と公認料について

高体連主催の競技会は県大会は年3回、地区大会は年1回の公認料は免除する。これを超えて開催したい場合は規定の公認料(1試合に付き10,000円)が必要となる。

2. 県大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

県高体連は5月下旬(選手登録〆切期日)までに「競技会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請してください。

その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

県高体連は公認競技会が終了した1ヶ月以内に「公認競技会成績報告書」に競技会成績表を添えたものを県協会の承認を得てから本連盟事務局へ送付・報告をおこない全国高体連事務局へは成績表のみ送付する。

3. 地区大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

地区大会を主管する県高体連は5月下旬までに「地区大会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請をおこなってください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

公認競技会の成績報告については主管団体が2.(2)と同様の処理をおこなうものとする。

4. 大会の申込期日近くに開催した公認競技会の処理方法について

出場申込をする大会の申込期日近くに開催した公認競技会の得点記録をその大会の申請点とする場合は、FAXによる(仮)報告をおこなってください。後日、正式な報告をおこなってください。

以上

(注意)

この手続(競技会公認申請・成績報告)がされていない場合、この競技会の記録は公認されないことになり、この記録で本連盟主催の選手権大会等に出場申込をした場合、失格する場合がありますのでご注意ください。

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

競 技 会 公 認 申 請 書

○公認料

(公認競技会回数 回 - 免除回数 3回) × 10,000円 = 円

○公認申請競技会

日 程	競 技 会	競 技 会 場	種 目

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

地 区 大 会 公 認 申 請 書

下記の競技会について、貴連盟の公認を申請いたします。

大 会 名			
主 催			
主 管			
開 催 日		公 認 料	要 ・ 不 要
種 目			
種 別 (定 員)			
參 加 資 格			
選手選考方法			

平成 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

公 認 競 技 会 成 績 報 告 書

下記の競技会について、添付成績表のとおり記録公認を申請いたします。

競 技 会			
主 催			
主 管			
開 催 日			
氣 象 状 況			
競 技 会 場			
(所 在 地)	都道府県		市町村 (区)
競技会責任者	印 (競技委員長の署名・捺印)		
競 技 役 員	担 当	氏 名	公認審判員 (級)
	競 技 委 員 長		
	D O S		
	審 判 長		
	審 判 員		

THE SCIENCE OF SHOOTING FEEL

W&W WS600

「私はこのサイトを
待っていた」

チョン・ジェホン（2005年世界チャンピオン）

WORLD CHAMPION WITH WIN&WIN

WS600（カーボンエクステンション）

◆ カラー：ブラック、シルバー

◆ RH, LH

コンビニエントチューンシステムで滑らかな動き。もっとも再現性の高いサイトボックスシステムを採用。安定性に優れたスマートかつ頑丈なデザイン。



有限会社ウイン・ジャパン

〒543 - 0013 大阪市天王寺区玉造本町7-15-101
TEL. 06 - 6767 - 5525 FAX. 06 - 6767-3700
e-mail japan@win-archery.com

W&W Japan

飯綱東高原 合宿プラン



霊仙寺湖総合グランド

飯綱東高原ペンション利用

1泊3食付 学生(お一人様) **6,500円~**
一般(お一人様) **7,000円~**

いいづなりソートケビン利用

1泊3食付 お一人様 **4,000円~**
施設利用料 一人1日 **1,000円~**

無料送迎致します。(長野駅から30分)



電車 JR 東日本信越線 / 長野駅・牟礼駅下車
東京→長野 新幹線あさま : 1時間30分
新大阪→長野 東海道新幹線→名古屋乗換→中央本線 : 4時間10分
名古屋→長野 中央本線 : 2時間50分

マイカー 長野市街地から約25分
信州中野 IC から約15Km 25分
信濃町 IC から約13Km 20分



むれ温泉
天狗の館

営業時間
10:00 ~ 23:00
最終入館 22:30
休館日 毎月第3火曜日
(祝日の場合は翌日)

天狗の館 入館料 / 大人 500円、小学生 300円



ケビン
寝具、調理器具完備



テニスコート

営業時間
AM 9:00 ~ 12:00
PM 13:00 ~ 16:00

料金 (1面)
1時間 1,300 円
半日 3,500 円
1日 6,800 円

他にもバーベキュー・ゴルフ
パターゴルフ・マレットゴルフ
ボート・釣りなど楽しむ施設が
充実しています。

くお問い合わせく

いいづなりソート

TEL: 026-253-3210 FAX: 026-253-2477

〒389-1226

長野県上水内郡飯綱町大字川上 2755-345

E-mail snow@iizuna-resort.com

URL http://www.iizuna-resort.com/

(競技・様式第4号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____

印

新記録承認申請書

下記の競技会において、新記録〔日本記録、日本国際記録、日本ジュニア記録、日本高校記録(参考記録)〕が作られましたので、この記録の承認を申請・報告いたします。

競技会名								
開催日								
競技会場 (所在地)	都道府県			市町村(区)				
競技会責任者	印 (競技委員長の署名・捺印)							
競技種目				得点記録	点			
(選手名又はチーム名)		(勤務先名又は学校名)個人記録の時のみ記入						
記録内容	区分	選 手 名	登録番号	m	m	m	m	
	個人							
	団体	①						
		②						
③								
(備考) 1.申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 新記録対象項目を丸印で囲むこと。 2.添付書類の ①スコア・カード(コピー可) ②競技会プログラム ③競技会成績一覧表を必ず提出すること。								

本連盟は、上記の記録を承認いたしました。

平成 年 月 日

社団法人 全日本アーチェリー連盟
会長 海部俊樹印

(競技・様式第5号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

公認競技会（変更・中止・延期）届

下記対象競技会の（変更・中止・延期）をご報告いたします。

○中止対象競技会名（公認申請済み競技会）

日 程	競技会名	競技会場	種 目

○変更、延期報告

申請済み日程・競技会名・変更前：「報告内容」欄に届出内容を記入する。

日 程	競技会名	競技会場	種 目	報告内容

変更後の状況報告・変更後

日 程	競技会名	競技会場	種 目

ネクストアーチェリー

矢速とドローイングの滑らかさを兼ね備えてねじれにも強いリム

初心者から上級者のレベルアップに貢献するリム

エヌ・プロ ホイット ウィン サミック などのハンドル対応リム

それが RADERxxxTX(レーダートリプルエックス)

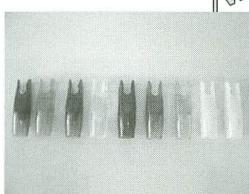


販売価格 126,000円
リムカラー ホワイト、シルバーがあります。
ショート・ミディアム・ロング

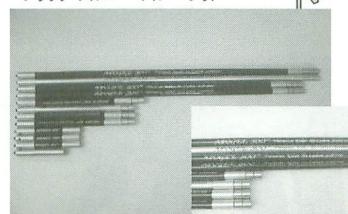


RADERxxxTX

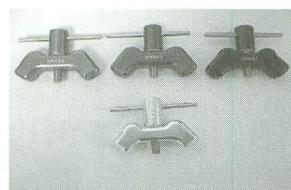
アポジーX10用アウトサートノック ¥210
ブラック・ルビー・モスグリーン・グリーン
ブラウン・ブルー・オレンジ・ホワイト・イエロー



アポジー2カーボンスタビライザー
センターロッド 26°28° ¥18,900
サイドロッド 10°11° ¥9,450
エクステンダー 4.5°6° ¥6,300
ブラック・シルバー・ブルー・レッド



アポジーVバー ¥6,300
ブルー・レッド・ブラック・シルバー 43×0 39×0 33×0



ネクストコンパクトターゲットマット
約500mm×500mm×55mm
100%ワラ使用 屋内の近射に最適、持ち運び簡単
1枚 2,100円(送料別途)



ネクストターゲットマット 11,550円
一枚物量(送料別途)
1300mm×1300mm×55mm

ネクストカウンターバランス
約150g 約100g
1個 5,250円



ネクストアンカーパット付コードバンタブ ¥3,780
ネクストスペアータブ ¥2,625
アンカーパットのみ ¥1,155



ホームページで楽々ショッピングぜひ覗いて見て下さい。
ホームページアドレス <http://www4.ocn.ne.jp/~nexta/>
メールアドレス nexta@chive.ocn.ne.jp
通信販売をしております。メール・電話・FAXでお気軽にお連絡下さい。
NPO法人ネクストスポーツクラブのレンタルもご利用下さい。
入会金10,000円、年会費3,000円で会員にご入会いただければ
3ヶ月レンタル3,150円 6ヶ月レンタル6,300円 1年レンタル12,600円
3種類のレンタルがご利用いただけます。



ネクストアーチェリー
870-0921 大分県大分市萩原3-15-3
TEL 097-551-3183 FAX 097-551-3287

ネクスト4脚 52,500円
移動が簡単で便利
(送料別途)

好評発売中

HASCO 軽量薄型 アーチェリータイミングデバイス

当社発売の従来型アーチェリータイマーをモデルチェンジ。より進化させた新モデル誕生。

軽量薄型で見やすい！

乗用車でも運べる手提げサイズ。

■ 従来の文字サイズをほとんど

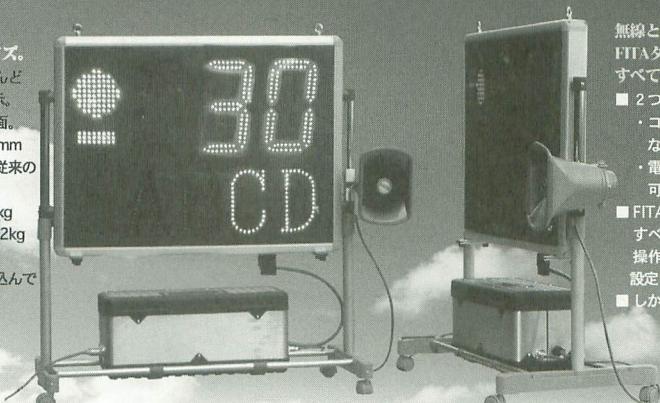
変えず、見やすいLED表示。

■ 限界まで大きくした表示面。

■ 縦590×横780×厚さ65mm
の薄型サイズで、厚みは従来の
半分以下になりました。

■ 重量も従来品の半分15.5kg
(表示板6.5kg、スタンド2kg
電源装置7kg)

■ 乗用車の後部座席に積み込んで
運べるサイズです。



無線と有線の2タイプがあります。

FITAターゲットアーチェリーの
すべてのルールに対応。

■ 2つの操作方式をご用意しました。

- ・コードがなく設置が非常に簡単
な無線コントロール方式

- ・電波状況の悪い場所でも使用
可能な有線コントロール方式

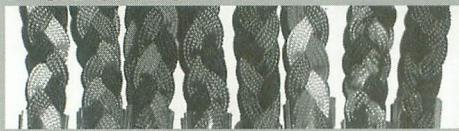
■ FITAターゲットアーチェリーの
すべてのルールに対応しており、
操作盤上で簡単に競技モードを
設定できます。

■ しかも従来の約1/3のコストダウン

※無線タイプのデモ機を用意
しております。当社まで
お問い合わせください。

個性が引き立つアイテムを手に入れよう。

パラドックス Paradox ボウスリング



P-11 P-12 P-13 P-14 P-15 P-16 P-17 P-18

■ 登山用ザイルと同様の丈夫なコードを使用。

■ 肌触りがソフトで、装着したときのフィット感が抜群です。

■ 3カラーのコードが編み込まれた、美しいデザイン。

■ フィンガースリングとリストスリングの2タイプがあります。



■ フィンガースリング (¥893) ■ リストスリング (¥1,155)

HASCO バランスコントロールタブ

ハスコ バランスコントロールタブ のエライところ知ってますか？

ハスコバランスコントロールタブはタブ自体の重さを変えることで、それぞれの選手に合ったリリースフィーリングを作り出す
ことができるタブです。バックテンションの強さの感覚とタブ自体の重さのバランスをシンクロさせることによって、リリース
からフォロースルーの流れをスムーズにし、常に良い感覚でリリースすることができます。

上下だけでなく、アゴ骨に接する角度も
調整可能なアンカーパッド。

汚れても交換可能な
スペアーコード付。

指の長さに合わせて
前後に微調整が可能
なカンタビンチ

交換用のスペアレザーは
タブフェイスとバックス
キンがセットで1,890円。
ランニングコストが低い
ので経済性が抜群！



バランスウェイト
約10gずつのプレートで
タブ自体の重さを3段階
に調整可能なので、選手
に合ったフィーリングが
得られます。

HASCO ARCHERY

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目5-4
TEL.06-4305-1666 FAX.06-4305-1686

定休日：日・月曜・祝祭日

e-mail : info@hasco-archery.com http://www.hasco-archery.com

ASAHI

www.asahi-archery.co.jp

ARCHERY

Welcome!
To the Asahi Archery website..

アサヒ弓具が
あなたの部屋にやって来た

<http://www.asahi-archery.co.jp>

PCの前に座ればそこはアサヒ弓具



170-0005 東京都豊島区南大塚 3-23-3

Tel: 03-3986-2301

Fax: 03-3986-2302

Email: asahi@asahi-archery.co.jp

招待状

高校生の皆さんへ

全

日本学生アーチェリー連盟… 全国の大学生アーチャーが所属
“インカレ”は大学生が運営しています【知ってましたか?!】
大学のアーチェリーは自分たちで築き上げていくアーチェリーです！
高校を卒業しても、また大学へ入ってアーチェリーを
したいなあ、と考えてるみなさんを学連は全力で応援します！

一、組織図

全日本アーチェリー連盟

北海道学生アーチェリー連盟
東北学生アーチェリー連盟
関東学生アーチェリー連盟
北信越学生アーチェリー連盟
東海学生アーチェリー連盟
関西学生アーチェリー連盟
中国四国学生アーチェリー連盟
九州学生アーチェリー連盟

学連に加盟している大学は約160校(HP参照)
加盟している大学生は約3800名
また、大学にアーチェリー部がなくても
加盟できます(HP参照)

二、おしながき

全日本学生アーチェリー連盟の試合

- 一、インカレターニメント【“インカレハイ”の大学編】
- 二、インカレンドア【決勝ラウンドはトーナメント】
- 三、インカレフィールド【決勝ラウンドはトーナメント】
- 四、大学五値決定戦【4人団体オリンピックラウンド形式】
- 五、東西対抗、OBOG対抗戦【シングルラウンド形式】
- 六、東日本・西日本大会【シングルラウンド形式】
- 七、AJSAFカップ【アカデミックラウンド形式】

八地区の学連試合

- 一、大学対抗リーグ戦

その他多様…

その他イベント

- 一、実例紹介会【学連の話(会い)]

その他省略[?!]

三、推薦制度のある大学

【チチュー】

東北学院大学 北陸大学
日本体育大学 近畿大学
早稲田大学 同志社大学
拓殖大学 宝都産業大学
亞細亞大学 徒手門大学
聖修大学 南洋大学
日本大学 南南女子大学
愛知大学 吉備国際大学
石川県立大学 内山理科大学
中京大学 広島国際大学
愛知工業大学 別府大学
名古屋南洋大学 桐本学園大学
日本福祉大学 九州東海大学

※なお、推薦の方法については大学ごとに異なりますので、
詳細を知りたいという方は直接大学に問い合わせてください。
※2005年7月現在

四、最後に

学連は… 大学生が役員として活動している団体です

あとがき…

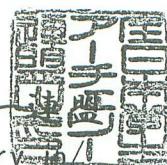
私はからアーチェリーをはじめ、その後一般入試にて大学に入りました私は、その大学にアーチェリー部があるのかないかを探してしまいました。入学後、アーチェリー部があることをわかったり、さくら入部しました。今は、選手かつ全日本学生アーチェリー連盟の役員として充実した日々を過ごしています。私は、大学に入るとさき、大学でのアーチェリーがどんなものなのかをまったく知らない状態でした。だからこそ、高校生のみなさんにはぜひ情報をお伝えしたいな、と思いました。これから大学に進まれる高校生の皆さんの選択肢の一についにアーチェリーを考えていただければと思っています。

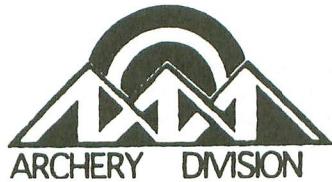
平成十八年二月

平成十八年 二月



全日本学生アーチェリー連盟
<http://www.student-archery.jp/>





For Archers' Minded

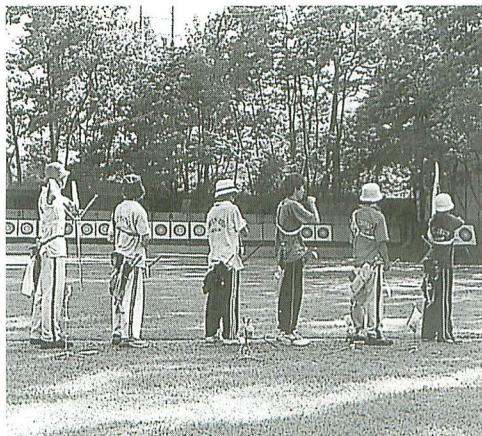
株式会社 アイ・コーポレーション

〒561-0817 豊中市浜1丁目28番12号

TEL 06(6333)9023

FAX 06(6334)3124

みそら野館洋弓場



い・い・汗・青・春・合・宿

北アルプス連峰を一望する白馬山麓にある
当館専用射場 巾40M
長さ100M

30m、50m、70m、90m
オールラウンド可能常設レンジ。
宿舎より約300mの場所にあり
アカシアの木々の緑に囲まれた
気持ちのよい洋弓場です。

〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村大字北城450

みそら野館

TEL 0261-72-2800 (FAX兼)

矢を速く、低く、遠くへ飛ばす新次元のボウストリング&サービング登場！

ANGEL SPECIAL BOWSTRING ASB Majesty



世界初の熱接着性樹脂加工ストリング

熱接着性樹脂加工のASBマジェスティは、粘性が非常に低いのが特徴です。この樹脂加工により、他のストリングより30%以上の軽量化と1.8倍もの初期弾性率を実現。驚異的な矢速と素晴らしいグルーピングを世界のアーチャーに贈ります。

一般的に、初めて使うストリングは“引き揃え”をすると、重なり合った部分やソイストした部分の長さが均一になります。ワックス加工が施されていないASBマジェスティは、ストランド間の摩擦が大幅に軽減され、とても迅速に安定するので、たった十数射で引き揃えられます。他のストリングのように、長い時間を要し“伸びに似た現象”が長く続くことはありません。

ASBマジェスティ・ストリングは皮革などでしごいて使用してください。摩擦熱により樹脂が軟化し、表面が均一にコーティングされて、雨の浸透や紫外線による劣化からストリングを保護します。

また、べつつかない樹脂は衣服等への移着が少なく、ホコリなども付きにくいので、ストリングの重量の変化が最小限に抑えられます。ASBマジェスティは、ストリング・コンディションが一定で、長期間優れた性能を維持します。

8インチ前後のプレースハイトを推奨

初期弾性率が高いASBマジェスティ・ストリングは、従来のストリングで推奨されているプレースハイトではリムのリカーブ部やカムの動きを抑えてしまい、ストリングの性能を発揮できないだけでなく、弓本来が持つ性能も十分に発揮できません。ASBマジェスティ・ストリングを使用するときは、他のストリングを使用するよりも約5~20mm低く、プレースハイトを設定してください。また、伸び率が低い（他のストリングよりも1.2%低い）ため、ASBマジェスティ・ストリングのサイズは、他のストリングよりも1%以上長めのものを選んでください。

ASBマジェスティ・ストリングの適正ストランド数は、スマールサイズのノックの場合は18ストランド、ラージサイズのノックの場合には20ストランドが適当です。

*初めて使うストリングは、まず20~40回ねじり、引き揃えをしてください。次にストリングをねじりプレースハイトを微調整し、引き揃えをしてからノッキングポイントを作ってください。最後に皮革などでしごき、ご使用ください。

ASB Majesty

- マジェスティ・ストリング原糸（ブラック・ホワイト）
2300m巻（22,050円）／750m巻（7,560円）
250m巻（2,625円）
- マジェスティ完成弦（ブラック・ホワイト） 2,100円
- マジェスティ・サービング糸（ブラック・ホワイト）
300デニール／250デニール
1000m巻（23,625円）／100m巻（2,625円）

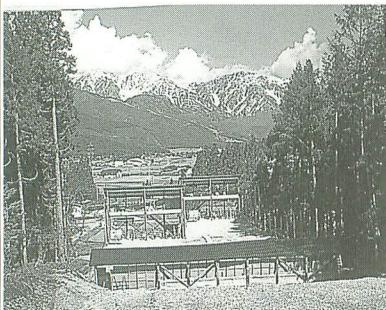
株式会社エンゼル

E-mail: info@angel-japan.net

http://www.angel-japan.net

〒110-0015 東京都台東区東上野1-7-12 德永ビル2F

TEL.03-3833-4972 FAX.03-3833-4772



白馬三山を背景に

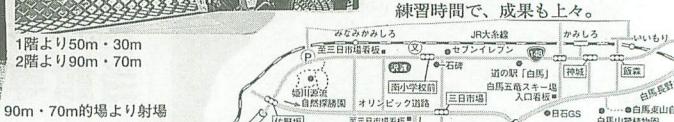


1階より50m・30m
2階より90m・70m

90m・70mの場より射場

Big Scale

気迫のこもった一矢を
北アルプスのさわやかな風が
やさしく包み込む。そんな抜群の
ロケーションと自由自在な
練習時間で、成果も上々。



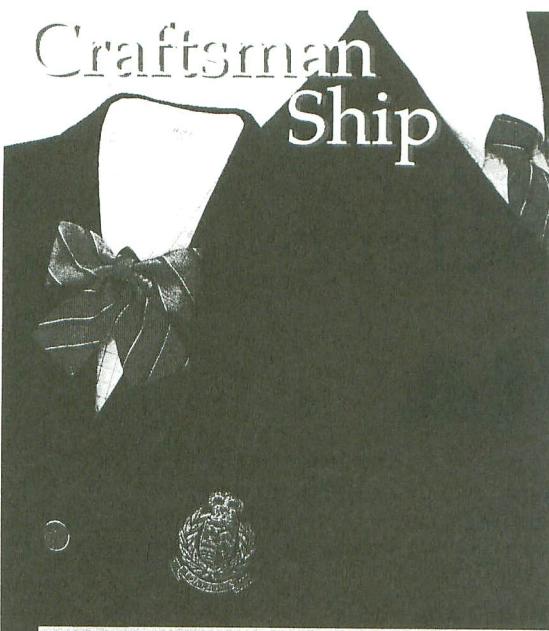
木曽 専用アーチェリー施設



旅館 もくしん
木曽

T 090-9211-長野県北安曇郡白馬村木曽町木曽

TEL 0261-75-2375 FAX 0261-75-2022



製品を大切にする
誠実な物づくり。

株式会社 トアレディス

東京支店 福岡支店 新潟営業所 宮崎営業所 鹿児島営業所

本社/大阪店 〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目4番23号 西本町NTビル3F
Tel. 06(6533)1201 (代表) Fax. 06(6533)1203



リゾートで楽しむ 合宿プラン

お得なアーチェリー合宿
プランがございます

ね む さ と

ヤマハリゾート



合宿の郷

志伊
摩勢

お問合せは

〒517-0403 三重県志摩市浜島町大崎半島

詳しくはホームページをご覧下さい

0120-207-808

<http://www.nemunosato.com>

ほんとうの高性能。
ほんとうの低価格。

PRO Select & **AVIA**

PRO Selectのカーボンアロー本来が持つべき高性能。スタビライザーに初めて部分的剛性の変更という性能を付与したParabolic Stabilizer。アルミより安いカーボンアロー**AVIA**。これまでアーチャーが望んでも手に入らなかったハイパフォーマンスをわたしたちは日本のすべてのアーチャーに届けたかったのです。まずは一度シートしてみてください。なぜこれほど多くの支持を受けているのか、すぐに納得がいくはずです。そしてあなたが使っていた道具が決してベストチョイスではなかったことが理解できるはずです。

PRO Select / **AVIA** 日本輸入代理店

東北エンゼル

TEL・FAX 022-227-8042

国民宿舎 金剛輪寺荘

宿舎前庭にアーチェリー場 徒歩0分

★競技スペース 8, 450m² ★夜間照明施設有り

☆学生アーチェリー合宿パック☆

★お一人 7, 000~ (1泊3食税込)

※アーチェリー場使用料別途

※ミーティングルーム無料

※夏季の夕食バーベキュー可

※最寄駅JR稻枝駅より送迎有り

貸し切り使用料 小・中・高校生

	午前	午後	夜間
--	----	----	----

県外	1,620円	2,445円	3,255円
----	--------	--------	--------

県内	1,080円	1,630円	2,170円
----	--------	--------	--------

※夜間照明使用料 県外 525円／1時間

県内 350円／1時間

☆お問い合わせ・ご予約☆

TEL 0749-37-3521 FAX 0749-37-3919

<http://www.ohmitetudo.co.jp/>

滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺908-14

車 / 名神彦根ICから12.5km、八日市ICから13km

電車・バス / JR稻枝駅から送迎有り(要予約)

汗する人、頑張る人、応援します！アーチェリー応援ショップ！

五
葉

目指せ頂点！

川辺
栗東市民
体育館



P
栗東中学校
市役所

安賀寺
Tel 077-551-4649
Fax 077-551-4639
月曜定休 ~19:30

ビッグ・スポーツ

栗東市川辺197-3 [栗東中学西側]



For Your Travel & Life

修学旅行・校外学習から
国際交流のお手伝いまで

教育旅行のご相談はぜひ当社へ

J T B 德山支店営業課 ☎ 0834-22-0808

〒745-0032 周南市銀座1-12 FAX: 0834-22-0899

合宿 大歓迎！！

□

- ☆ ターゲットアーチェリーレンジ完備・・・・・・90mまでOK！
 - ☆ 40名様までの合宿可能
 - ☆ JR宮内串戸駅からの送迎バスあり
 - ☆ 宿舎がレンジに隣接
 - ☆ フィールドコースもあります
-
- ★ ターゲットレンジにはすべて屋根がついているので雨が降っても大丈夫！！
 - ★ 1泊3食5,000円（射場使用料込み・的紙別）

佐伯国際アーチェリーランド

広島県廿日市市津田500番地 TEL 0829-72-0437 FAX 0829-72-0782
e-mail:saiki@archeyland.Com

あとがき

「がんばれ 王 ジャパン」これは三月に、WBCことワールド・ベースボール・クラシックの折りに日本中で叫ばれた言葉である。その視聴率は50%に達する勢いで、その時にテレビを見ていた人の割合では七割の人が見ていた計算になるそうである。巷での混乱ぶりも相当なものであったようで、各地からいろいろなニュースが伝えられていた。また、準優勝に終わったキューバ選手団を出迎えたカストロ首相の選手たちのねぎらいの言葉も感動的であったし、予選で日本よりも優秀な成績を上げながらも不運に泣いた韓国が、いろいろな思いがありながらも王ジャパンに送ってくれたエールと称賛はとてもすがすがしく感じたものであった。

アーチェリーの世界では日韓相互の交流は大変盛んで、本専門部でもたびたび韓国の指導者をお招きしてセミナーを開催してまいりました。また、高校の現場にも韓国の優秀な指導者がおられ、日本の高校生がその教えを請うています。今後、韓国のみならず広くアジアの人々との交流の輪を広げ、よき隣人として、またライバルとしてよりいつそう親密な関係を結び、WBCでアジアパワーを示したように、アーチェリーでもアジアパワーを示してゆきたいものです。

(佐幸)

発行日 平成18年4月

編 集 総務委員会

発行所 (財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

事務局 〒330-8567 埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615

大宮開成高等学校内 TEL(048)641-7161

FAX(048)647-8881

印刷所 (株)シバタプロセス印刷

〒526-0015 滋賀県長浜市神照町499-1

TEL (0749) 63-6860(代)

表紙の色 一唐紅(からくれない)一

ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川 からくれなゐに 水くくるとは

(在原業平朝臣 古今集 秋 二九四)

KVANES

フレッチャーを使えばどれだけ正確に羽が貼れるかを知っている人達と
フレッチャーを使えばどれだけ正確に羽が貼れるか忘れてしまった人達へ

www.kprobaymetal.com



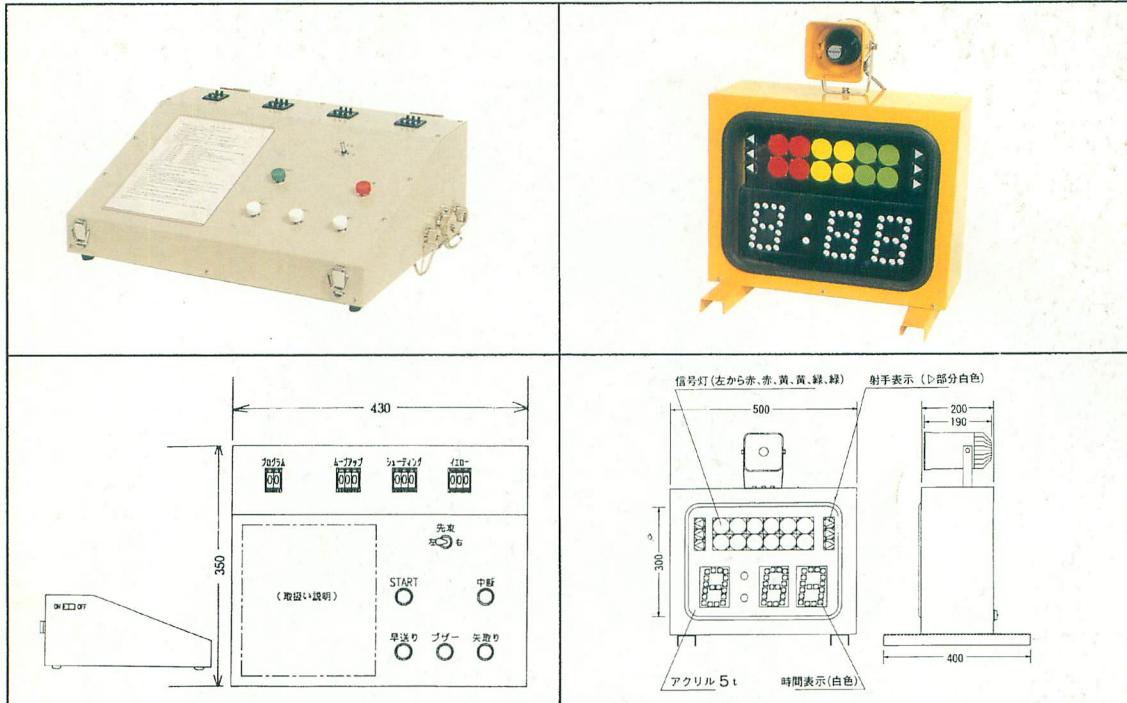
www.kprobaymetal.com

K
kprobaymetal

Miyamasuzaka Building 1001, 2-19-15 Shibuya Shibuyaku Tokyo
TEL/FAX 03-3797-7645

アーチェリー競技用表示装置

(全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 御推薦)

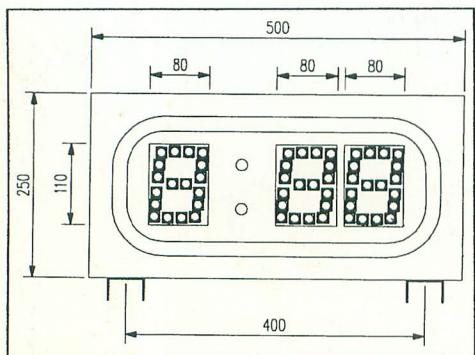


操作器

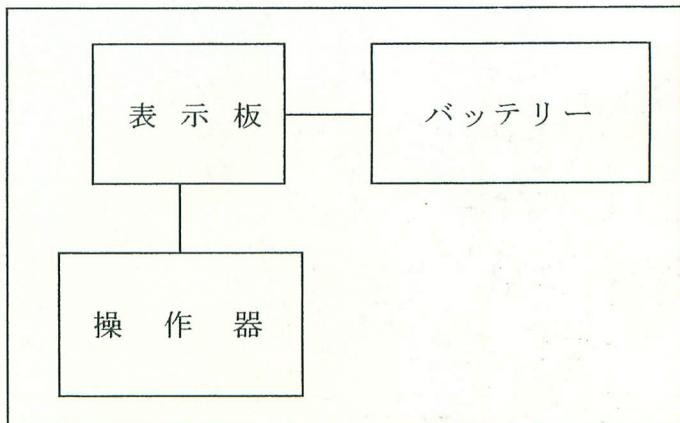
(1) 操作器 1台 365,000- (2) 表示板 1面 463,000- (3) ケーブル 50m 41,500-

表示板

アーチェリータイム表示装置



表示板



システム構成

(1) 表示板 1台 153,000- (2) 操作器 1台 32,000- (3) バッテリー 23,000-

販売元

西尾レントオール(株) イベント特機課
〒583-0001
大阪府藤井寺市川北1-44-1
TEL (0729) 73-3913
FAX (0729) 73-3914

製造元

株式会社 啓明電装
〒546-0041
大阪市東住吉区桑津2丁目6番4号
TEL (06) 6719-4504
FAX (06) 6719-5073